

2024 年度

文学部 便覧



国士館大学

2024 年度

文学部便覧

(履修要項)

この学部便覧は、みなさんが学業を進めていく上で
必要不可欠な、学部の基本的な事項を
収録したものです。

卒業まで紛失しないように大切に保管して下さい。
ただし、日程、金額、その他については
変更される場合があります。

目次

建学の由来と理念	iv
文学部の教育研究上の目的	vi
文学部の3つのポリシー	viii
関係施設窓口案内	xiv
学生ポータルサイト「Kaede-i」講義支援システム「manaba」	xvi

I 単位・授業・試験・進級及び卒業

① 授業と単位制	2
(1) 授業	2
(2) 単位算定の基準	2
(3) 出席・欠席・公欠	3
(4) 休講	3
(5) 補講	3
② 履修登録	4
(1) 履修登録の流れ	4
(2) 履修上の注意事項	5
③ 試験	6
(1) 定期試験	6
(2) レポート・小試験等	6
(3) 追試験	6
(4) 再試験	7
(5) 試験に関する諸注意	7
④ 成績評価	8
(1) 成績評価と単位の認定	8
(2) GPA 制度	8
(3) 成績通知書	9
⑤ 進級・留年及び卒業	10

II 授業科目と履修要領

① 授業科目と履修要領	14
(1) 共通教育科目	15
(2) 外国語科目	22
(3) 専門科目	35
(4) 科目ナンバリングについて	56
(5) 首都圏西部大学単位互換	56
(6) 世田谷6大学コンソーシアム連携授業	56
(7) 入学前に他大学等で修得した単位について	57
(8) 副専攻について	57
② 文学部で取得できる教員免許状	59
③ 諸資格取得のための科目履修要領	63
(1) 社会教育主事の資格	64

(2)博物館学芸員の資格	65
(3)考古調査士の資格	67
(4)測量士補の資格	68
(5)GIS 学術士の資格	69
(6)地域調査士の資格	71
(7)図書館司書・学校司書・学校図書館司書教諭の資格	73

III 学籍と学費

① 休学・復学・退学・除籍・復籍・再入学	78
(1)休学	78
(2)復学	78
(3)退学	78
(4)除籍	79
(5)復籍	79
(6)再入学	79
② 学費の納入	80
(1)納入期限	80
(2)納入方法	80
(3)延納制度について	80
(4)納入金	81
③ 願出・届出の手続きについて	82
(1)学籍異動に関する願出	82
(2)身上項目変更の届出	82

IV 学則及び諸規程

① 国士館大学学則・諸規程	84
---------------	----

V キャンパス案内

建物配置図	86
-------	----

VI 付録

① オフィスアワーについて	112
② 大学からのお知らせについて	112
③ 諸届及び各種証明書手続料等について	113
(1)諸届等	113
(2)教職及び諸資格関連の受講料及び実習費の納入について	114
(3)各種証明書及び手数料	115
④ 学生保険	116
⑤ 学会費について	116
⑥ 専任教員研究室一覧	117

大学の歴史、教育研究上の理念

建学の由来と理念

日本は明治維新後、西洋文明を積極的に受容し、社会の近代化を急速に推進してきました。このため社会はおおいに伸張を遂げましたが、あまりに急激な近代化であったため、伝統文化を破壊し、軽視する風潮さえ生じました。日露戦争後には、国内問題が悪化し国民意識が変化するなかで、さまざまな社会問題が発生し、深刻な社会不安が引き起こされました。

このような当時の社会状況を憂い、柴田徳次郎ら有志は、日本の「革新」をはからんと、「社会改良」と「青年指導」を目的として1913（大正2）年「青年大民団」を組織し、1917（大正6）年「活学を講ず」の宣言とともに、私塾「国土館」を創立するに至りました。

創立者たちのねらいは、吉田松陰の精神を範とし、教学の適地として世田谷の松陰神社隣接地に学舎を建設し、「国土館設立趣旨」でうたわれているように、日々の「実践」のなかから心身の鍛練と人格の陶冶をはかり、国家社会に貢献する智力と胆力を備えた人材「国土」を養成することにありました。

以来、「国土」養成を理念として、学ぶ者みずからが不断の「読書・体験・反省」の三綱領を実践しつつ、「誠意・勤労・見識・気魄」の四徳目を涵養することを教育理念に掲げ、さまざまな分野で活躍する人材を世に輩出してきました。

今日、国土館は、このような建学の志を大切に継承しながら、新たに発展を遂げた研究教育の諸領域でも、知識と実践の水準を高めつつ、世界の平和と進運を目指し、現代社会に積極的に貢献する真摯な努力を続けています。

建学の精神

「物質文明」を統御する「精神教育」を重視し、「心身の修練」と「知徳の精進向上」を目指し、国家社会の将来を思い、世界の平和と国家社会の改革向上に貢献する人材、即ち「国を思い、世のため、人のために尽くせる人材『国土』の養成」を目指す。

教育理念

「国土」養成のため、四徳目「誠意・勤労・見識・気魄」を兼ね備える教育を行う。

「誠意」とは、真心と慈悲の心で、世のため、人のために尽くすこと

「勤労」とは、向上心を持って、誠実に仕事をする事

「見識」とは、道理のもと、物事を見抜く力をもつこと

「気魄」とは、信念と責任を持って強い心でやり通す力のこと

教育指針

四徳目を備えるには、不断の「読書・体験・反省」を実践し「思索」すること。

「読書」とは、善き書物に学び、世の中や自然界の真を理解すること

「体験」とは、智恵を持って善悪を判断し、善なる判断を実行すること

「反省」とは、何事も行った後、その行為を省みること

「思索」とは、省みた内容を検討し、次なる目標を立案すること

I. 1966～1975年：はじめの10年

国士館創立49年目にあたる1966年に、文学部は産声を上げました。当時は、総長柴田徳次郎による週1回の館長訓話、学生による学園警備、学生監制度、制服の着用など、いわゆる国士館独自の校風が根強く残っていた時代でした。スタートは3学科7専攻で、「剣道」、「柔道」、「国語」、「漢文」に大きな時間がさかれるなど武と徳の教育に重点を置いたカリキュラムでした。その後1967年に、「国史学専攻」に「考古学コース」、そして1969年に「初等教育専攻」が増設されて、3学科8専攻の体制になりました。1969年には、教員免許状（幼稚園・小学校・中学校）授与資格が認められました。また、『人文学会紀要』（『国士館人文学』に改称）も創刊されて、教育や研究の成果が公表されるようになりました。

II. 1976～1985年：変革の時代

1973年に始まった改革は、国士館大学の近代化に一定の成果を上げました。1976年には、「漢学専攻」が「中国文学専攻」と改称されました。1984年文部省の指導のもとで大学に新体制が導入され、翌年には初の学長選挙が実施されるなど、国士館の刷新が始まりました。

III. 1986～1995年：昭和から平成へ

いわゆる第2次ベビーブーム世代の成長に伴う大学進学者の大幅増加に対応するため、1991年より文学部の入学者定員は300人から390人へと増員されました。学内では「国士館将来計画検討委員会」が設置され、文学部でも「文学部短中期構想に関する検討委員会」のもとで、『国士館大学文学部学生・教員意識調査結果報告』作成されました。1995年1月には、「国士館自己点検・評価委員会」が発足し、文学部の現状と課題に対する対応が求められるようになりました。

IV. 1996～2005年：変わる世田谷キャンパス

1996年の教養部の解体に伴い、翌年に旧教養部所属教員を文学部にむかえました。1999年に交換留学生の派遣、受入が開始され、海外の学生が国士館で学ぶ機会が設けられました。2000年からは首都圏西部大学単位互換協定が導入されました。1996年に10号館の全面改修が実施され、1998年創立80周年事業のシンボルとして中央図書館と体育武道館が竣工しました。2002年には1号館と建学の森が整備され、それまで学内を囲んでいた塀をすべて撤去して1号館食堂を地域住民にも開放するなど、地域に開かれた国士館のイメージへと転換を図りました。この間、2001年には大学院人文科学研究科修士課程が開設され、2003年には博士課程も開設されました。2004年には「国史学専攻」が「考古・日本史学専攻」、「地理学専攻」が「地理・環境専攻」、「中国文学専攻」が「中国語・中国文学専攻」、「国語国文学専攻」が「日本文学・文化専攻」と名称の変更が行われました。2005年からは、学生による授業評価が全学的に導入されました。

V. 2006～2015年：大きな節目である50年目を迎える。

2008年に、都立明正高校の跡地に梅ヶ丘校舎が新しく建設されました。その完成により、1977年から続いていた1・2年は鶴川キャンパス、3・4年は世田谷キャンパスという分裂状態が30年ぶりに解消され、文学部の1～4年の授業がすべて世田谷キャンパスで行われるようになりました。2016年に文学部は創設50周年を迎えました。

VI. 2016年～：新たな一歩へ

2019年に平成から令和に時代が変わり、さらにその翌年には新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックが発生し、新しい生活様式を模索する時代に入りました。文学部は、幾度の改革を経て、2018年度入学生から3学科5コース（教育学科：教育学コース、初等教育コース、史学地理学科：考古・日本史学コース、地理・環境コース、文学科：日本文学・文化コース）に整えられました。

文学部の教育研究上の目的

文学部の理念と目的は、「人文科学を中心に深遠な学術を教授研究し、豊かな教養と高潔な人格を養い、文化の創造力をつけ、社会福祉の増進や国際社会の進展に寄与できる人材を養成する」ことにある。これは単に専門的な知識や技術の伝授にとどまることなく、教養科目を重視する大学の伝統を踏まえて「心の教育」と「人間形成」を根幹として「人を育成する」ものである。その理念・目的を達成するために学部内に「教育学科」・「史学地理学科」・「文学科」の3学科を置く。「教育学科」には教育学コース、初等教育コースの2コースを、「史学地理学科」には考古・日本史学コース、地理・環境コースの2コースを、「文学科」には日本文学・文化コースの1コースを置いている。学科・コース間でそれぞれ有機的・発展的に広く基礎を学び、深く専門領域を極め、現代社会に寄与する徳と叡智を涵養できるよう、綿密なカリキュラムを編成している。

教育学科

教育学科は、教育学コース、初等教育コースの2コースによって構成されている。本学科では、各コースそれぞれの専門性を「人を育成する」ということから直結させ、教育学コースでは「人間形成」の学としての教育学の追求を、初等教育コースでは教員として「豊かな人間性、社会性や実践的能力を備えた人材の養成」を、それぞれ目的としている。根本的な判断力と能力の育成を実現するという本学科各コース共通の理念・目的は、学部における大学教育の根本でもあり、これを達成するべく、各コースは熟慮された専門カリキュラムを編成している。

教育学コース

教育学コースは、教育の果たすべき社会的役割を認識しつつ、広く人間形成の学という展望にたった諸学問の研究と教授、社会に貢献できる人材の育成を理念・目的にしている。本コースの専門教育では、教育に関する理論的研究を行うとともに、教育の実践的な経験に基づく知見や教育技術を集積し、その知識と方法論を体系的に学べるよう、カリキュラムを編成している。教育学の関連分野として、心理学、社会学や運動生理学などの視点や方法論も取り入れ、幅広く学習できるようにしている。教育関係の職を志望する学生のために、中等教育課程として、中学校の社会科、保健体育科、高等学校の地理歴史科、公民科、保健体育科の教員や養護教諭および特別支援学校教諭の育成、また社会教育主事の資格取得などにも力を入れ、常に変化していく社会や教育現場に柔軟に対応し、高度な知的探求ができる人材を育成する。

初等教育コース

初等教育コースは、初等教員としての実践的指導力を具備した人材の育成を目的としている。本コースでは、教科・教職に関する専門的な知識と技能を段階的に身につけ、理論と実践に関する教育研究を進める。同時に、教育実践に関する科目を通して、教育者としての責任に加え、豊かな人間性や社会性を身につけた初等教員を育成する。

史学地理学科

史学地理学科は、考古・日本史学コース、地理・環境コースの2コースによって構成されている。本学科では、本大学における建学の理念や文学部における教育・研究理念を共通の目的として、各コースの独自性を尊重しながら、各コース相互の専門科目を取り入れ、有機的連関性を持ったコースのカリキュラムを編成している。また、本学科は、実証的な教育・研究を各コース共通の柱とし、さらに、教育・研究理念ならびに教育目標を達成させるために卒業論文の準備・作成を

重視し、入念な指導を実施している。このほか、考古・日本史学コースにおいては、考古学と日本史学の両者によって日本文化の探究を実践している。地理・環境コースにおいても、現実社会の状況を判断し対処できる人材育成を念頭に置き「環境」や「防災」という現代社会が直面している課題に挑戦し、実践している。

考古・日本史学コース

考古・日本史学コースの目的は、日本の歴史研究をとおして日本文化の特色を把握し、国際社会との協調と発展に貢献しうる有為な人材を育成することにある。この目的を実現するための教育方針として以下の3点を立てている。①世界史のなかで、日本史をとらえる視点の養成 ②文献史料・考古資料を調査・収集して、分析・表現する能力の養成 ③社会に通じる、総合的な実務能力の養成

地理・環境コース

地理・環境コースでは、史学地理学科の教育の目的を、地理・環境分野における地域調査に根ざした実践的カリキュラムを中心に学ばせることによって達成することを、教育の目的としている。この目的を実現するための基本方針は、「人間と自然に関する幅広い視野をもった上で、地理・環境分野における科学的な地域調査に根ざした学びを通して自ら調査・研究を実践できる力を身につけた学生を育てる」というものである。

文学科

文学科は、日本文学・文化コース1コースによって構成されている。本学科では、本大学の建学の理念および文学部の教育研究上の目的に基づき、古代から現代に至る日本の文学・文化現象について幅広く学ぶという知的な作業を通じて、人間的な成長を遂げ、社会に貢献できる人材を育成することを目的としている。

本学科では、日本語で創作された言語文化を中心に、思想、芸能、映像文化などを、研究教育の対象領域とする。

日本には古代以来、永きにわたる文化の積み重ねがあり、それらは我が国のみならず、広く世界に開かれた資産としての価値をもっている。また日本語で表現された文学・文化は、日本人のみならず人間全体に通じうる営みや思索を表出した貴重な資産である。本学科では、文学部に開講された幅広いカリキュラムの学習を踏まえ、これら日本の文化的資産の理解・読解という作業を通じて、人間の営みへの知的な理解力、および共感へと至る感性を磨き、高めるのみならず、現代を生きる社会人に必須な表現力・情報発信能力を備えた知的総合能力を鍛えることによって、日本文学を中心にした、総合的な教養人として社会に有為な人材を育てる教育を行う。また資格科目としては、教職免許に関わる「国語科教育」に特に力を入れ、実践的な教育を行っている。

日本文学・文化コース

日本文学・文化コースは、日本語および日本文学・文化を多面的に学ぶことを通じて、日本文学・日本文化に関する幅広く体系的な教養を身に付け、現実の様々な問題についての明晰な判断力・想像力を獲得し、現代の社会生活に活用できる人材を育成することを目標にしている。

文学部の3つのポリシー

卒業認定・学位授与の方針「ディプロマ・ポリシー」(DP)

文学部では、大学の卒業認定の方針に加えて、教育学、歴史学および地理学、文学の素養を備え、所定の課程を経て所定の単位を修め、必修科目履修等の条件を満たすことで、学科が求める次の資質・能力を有しているとして卒業を認定し、学士（文学）の学位を授与します。

【教育学科】

教育学科では、教育学の素養を備え、所定の課程を経て所定の単位を修め、必修科目履修等の条件を満たすことで、次の資質・能力を有しているとして卒業を認定し、学士（文学）の学位を授与します。

- DP1. 専門領域において学んだ人間形成と教育に関する基礎的な知識と幅広い教養および関連する諸情報を収集・分析・整理する能力を有し、学びに対する真摯な態度と困難に立ち向かう強い意志を身に付けている。
- DP2. 社会に生きる人間として、とりわけ初等・中等教育課程の教員として、課題の意味を理解・吟味し、その課題解決へ向けた適切な意思決定・行動選択をするとともに、自らの意思を表現する力を持っている。
- DP3. 教職をはじめとして、教育に携わる人間に求められる責任感と倫理観を持ち、謙虚に学び続け自らを高めようとする姿勢とその学びを活かして主体的に社会に貢献しようとする意欲を持っている。
- DP4. 教育学の学修を通じて、他者を尊重しつつ、責任ある行動を取ることのできる豊かな人間性を身に付け、協働的に社会や他者と関わろうとする意欲を有している。

【史学地理学科】

史学地理学科では、歴史学および地理学の素養を備え、所定の課程を経て所定の単位を修め、必修科目履修等の条件を満たすことで、次の資質・能力を有しているとして卒業を認定し、学士（文学）の学位を授与します。

- DP1. 歴史学および地理学の深い専門的知識と幅広い教養および世界的視野と総合的判断力を有し、学びに対する真摯な態度と困難に立ち向かう強い意志を身に付けている。
- DP2. 歴史学および地理学の知識・技能を活用し、諸課題について調査・研究することができ、学術的諸問題を体系化して論理的に相手に伝えるときにも相手の意見を理解する能力を身に付けている。
- DP3. 歴史学および地理学を将来にわたって不断に研鑽し、そこから得た知識・技能と独創的な発想力をもとに、積極的に社会に貢献する意欲と行動力を有している。
- DP4. 歴史学および地理学の学修を通じて、他者を尊重しつつ、責任ある行動を取ることのできる豊かな人間性を身に付け、協働的に社会や他者と関わろうとする意欲を有している。

【文学科】

文学科では、文学の素養を備え、所定の課程を経て所定の単位を修め、必修科目履修等の条件を満たすことで、次の資質・能力を有しているとして卒業を認定し、学士（文学）の学位を授与します。

- DP1. 古代から現代に至る日本の文学や文化、および日本語について、深い専門知識と幅広い教養を有し、学びに対する真摯な態度と困難に立ち向かう強い意志を身に付けている。
- DP2. 歴史の中ではぐくまれてきた文学作品や文化、および日本語を理解する感性と、それを筋道立てて組み立てる論理性を生かして、社会人としてふさわしい思考力や判断力、コミュ

ニケーション能力を身に付けている。

DP3. 文学・文化の学修を通じて、他者を尊重しつつ責任ある行動を取ることのできる豊かな人間性と、協動的に他者と関わり能動的に社会に貢献しようとする意欲を涵養している。

教育課程編成・実施の方針「カリキュラム・ポリシー」(CP)

文学部は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)で掲げる能力や態度を身に付けるために教育課程を編成し、それらの系統的な履修によって教育目的を達成します。

教育内容、教育方法、学修成果の評価については、次のように定めます。

【教育学科】

1 教育課程と内容

- (1)幅広く深い教養と総合的判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、専門分野と調和・発展させることを目的とした「全学共通教育科目」を設けています。
- (2)「全学共通教育科目」には、「外国語科目」を設け、英語や他の言語を学び、コミュニケーション能力の充実を図ります。
- (3)「専門科目」は、「教育学コース」と「初等教育コース」の2コースにより、体系的に専門性を高める課程の編成をしています。

① 教育学コース

人間形成と教育に関する洞察力を身に付ける科目を設置し、「教育学の基礎」や「人間と教育」、「教育学研究」、「教育学演習」等を必修としています。また、中等教育課程の教職と教育に関連する科目を有機的に配置しています。

② 初等教育コース

小学校教諭、幼稚園教諭の免許取得を目指した専門教育を行うため、教職基礎、授業実践、生徒指導、学校・学級運営、現場実習、教育動向の6つの柱を体系的に学修する必修科目及び選択科目を設けています。

2 教育方法

- (1)即戦力として社会で活躍するための基礎的能力の育成を目的に、講義による知識や技能の教授を行っています。
- (2)専門性を高め、課題解決へ向けた実践的能力をつけるために、実習や模擬授業は、アクティブ・ラーニング形式で授業を展開しています。

3 学修成果の評価

- (1)各授業科目については、到達目標や成績評価の基準と具体的評価方法をシラバスに明示して学生に周知したうえで、公正で厳格な成績評価を実施します。
- (2)学生の4年間の学修成果は、必修の「卒業論文」によって行い、提出された卒業論文等をもとに総合的評価を行います。

【史学地理学科】

1 教育課程

- (1)幅広く深い教養と総合的判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、専門分野と調和・発展させることを目的とした「全学共通教育科目」を設けています。
- (2)「全学共通教育科目」には、「外国語科目」を設け、英語や他の言語を学び、コミュニケーション能力の充実を図ります。
- (3)「専門科目」は、「考古・日本史学コース」と「地理・環境コース」の2コースにより、体系的に専門性を高める課程の編成をしています。

① 考古・日本史学コース

歴史学の体系的な知識や方法論を学び、研究の基礎を固める必修科目をはじめ、幅広く文献史料や考古資料に触れる実習科目等を設けています。

② 地理・環境コース

地域における実践的な学びを重視した人文地理系科目と自然地理系科目を体系的に配置しており、特に「地理学野外実習」では、野外における科学的な地域調査を行いその成果をまとめ、調査・分析能力を高める必修科目としています。

2 教育内容と方法

(1)行動力及び責任ある意識決定ができる思考力や判断力を育成する一つとして、実習やフィールドワークによる調査・分析能力の養成など学外研修を多く取り入れています。

(2)演習科目や卒業論文の指導では、少人数でのきめの細かい指導を行っています。

3 学修成果の把握

(1)各授業科目については、到達目標や成績評価の基準と具体的評価方法をシラバスに明示して学生に周知したうえで、公正で厳格な成績評価を実施します。

(2)学生の4年間の学修成果は、必修の「卒業論文」によって行い、提出された卒業論文等をもとに総合的評価を行います。

【文学科】

1 教育課程と内容

(1)幅広く深い教養と総合的判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、専門分野と調和・発展させることを目的とした「全学共通教育科目」を設けています。

(2)「全学共通教育科目」には、「外国語科目」を設け、英語や他の言語を学び、コミュニケーション能力の充実を図ります。

(3)「専門科目」は、「日本文学・文化コース」として、日本の古代から現代にいたる文学・文化について幅広く学ぶ多彩な科目群を配置しています。「日本文学・文化入門」は、各時代領域のエッセンスを集中的に教示する必修科目として設けています。

2 教育方法

(1)演習科目は専門分野をより深く研究でき、主体的に学修にとりくめるように、少人数制で実施しています。

(2)講義、分析、調査、実地踏査、発表、討論などをバランスよく組み合わせて学修成果を高めます。

3 学修成果の評価

(1)各授業科目については、到達目標や成績評価の基準と具体的評価方法をシラバスに明示して学生に周知したうえで、公正で厳格な成績評価を実施します。

(2)学生の4年間の学修成果は、必修の「卒業論文」によって行い、提出された卒業論文等をもとに総合的評価を行います。

入学受入れの方針「アドミッション・ポリシー」(AP)

文学部では、教育学、歴史学および地理学、文学と関連諸科学の知識・技能を習得し、それを基礎とする思考力、判断力と表現力を身に付け、さらに主体性を持って広く社会に貢献することを目指す学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、教育学科・史学地理学科・文学科のそれぞれにおいて、学科ごとに掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

【入学前に身に付けておくべきこと】

1. 国語、英語、地理歴史、公民、数学、理科など、高等学校等で身に付けるべき基礎的な能力を身に付けていること。

2. 教育問題に関するニュースを見る習慣や、地理や歴史に関して興味を持った事柄を調べる習慣、小説や随筆などの文学作品を読む習慣を身に付けていること。

【教育学科】

教育学科では、教育学と関連諸科学の知識・技能を習得し、それを基礎とする思考力、判断力と表現力を身に付け、さらに主体性を持って広く社会に貢献することを目指す学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、次に掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

AP1. [知識・理解・技能]

教育学科の教育を受けるために必要な基礎学力としての知識を有していること、あるいは秀でた実技能力を有している。

(AP1-1) 高等学校等で身に付ける標準的知識を有している。特に、国語、英語、地理歴史、公民、数学、理科などの基礎的な能力を身に付けている。

(AP1-2) スポーツ活動や文化的な活動、資格・検定の取得等の経験をいかし、入学後も学内外の学習活動等を行っていく意志を有している。

AP2. [思考力・判断力・表現力]

人文・社会の諸問題について関心を持ち、学んだ知識や得られた経験から思考し、判断し、自分の考えを的確に表現できるようになるための、人間としての成長に対する真摯な姿勢を有している。

AP3. [主体性・多様性・協働性]

自ら進んで行動する能力を有するとともに、他者の多様な価値観を受け入れ尊重し、他者とともに生きることの大切さを理解している。

入学前に身に付けておくべきこと

1. 英語、国語、地理歴史、公民、数学、理科など、高等学校等で身に付けるべき基礎的な能力を身につけていること。
2. 教育問題に関するニュースを見る習慣、地理や歴史に関して興味を持った事柄を調べる習慣や小説や随筆などの文学作品を読む習慣を身に付けていること。

【史学地理学科】

史学地理学科では、歴史学および地理学と関連諸科学の知識・技能を習得し、それを基礎とする思考力、判断力と表現力を身に付け、さらに主体性を持って広く社会に貢献することを目指す学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、次に掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

AP1. [知識・理解・技能]

史学地理学科の教育を受けるために必要な基礎学力としての知識を有していること、あるいは秀でた実技能力を有している。

(AP1-1) 考古・日本史学コース：高等学校等で身に付ける標準的知識を有している。特に考古学を含む歴史に興味関心があり、実習や研修に積極的に参加し、知見を深めていく意欲を持っている。

地理・環境コース：高等学校等で身に付ける標準的知識を有している。特に地理や環境問題に興味関心があり、実習や研修に積極的に参加し、知見を深めていく意欲を持っている。

(AP1-2) スポーツ活動や文化的な活動、資格・検定の取得等の経験をいかし、入学後の学習活動を行っていく意志を有している。

AP2. [思考力・判断力・表現力]

人文・社会の諸問題について関心を持ち、学んだ知識や得られた経験から思考し、判断し、自分の考えを的確に表現できるようになるための、人間としての成長に対する真摯な姿勢を有している。

AP3. [主体性・多様性・協働性]

自ら進んで行動する能力を有するとともに、他者の多様な価値観を受け入れ尊重し、他者とともに生きることの大切さを理解している。

入学前に身に付けておくべきこと

1. 英語、国語、地理歴史、公民、数学など、高等学校等で身に付けるべき基礎的な能力を身に付けていること。
2. 教育問題に関するニュースを見る習慣、地理や歴史に関して興味を持った事柄を調べる習慣や小説や随筆などの文学作品を読む習慣を身に付けていること。

【文学科】

文学科では、文学と関連諸科学の知識・技能を習得し、それを基礎とする思考力、判断力と表現力を身に付け、さらに主体性を持って広く社会に貢献することを目指す学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、次に掲げる観点から、多様な方法による入学選抜を実施します。

AP1. [知識・理解・技能]

文学科の教育を受けるために必要な基礎学力としての知識を有している。あるいは秀でた実技能力を有している。

(AP1-1) 高等学校等で身に付ける標準的知識を有している。特に小説や随筆などの文学作品を読む習慣を身に付けている。

(AP1-2) スポーツ活動や文化的な活動、資格・検定の取得等の経験をいかし、入学後も学内外の学習活動等を行っていく意志を有している。

AP2. [思考力・判断力・表現力]

人文・社会の諸問題について関心を持ち、学んだ知識や得られた経験から思考し、判断し、自分の考えを的確に表現できるようになるための、人間としての成長に対する真摯な姿勢を有している。

AP3. [主体性・多様性・協働性]

自ら進んで行動する能力を有するとともに、他者の多様な価値観を受け入れ尊重し、他者とともに生きることの大切さを理解している。

入学前に身に付けておくべきこと

1. 英語、国語、地理歴史、公民、数学など、高等学校等で身に付けるべき基礎的な能力を身に付けていること。
2. 教育問題に関するニュースを見る習慣、地理や歴史に関して興味を持った事柄を調べる習慣や小説や随筆などの文学作品を読む習慣を身に付けていること。

関係施設窓口案内

学生生活を過ごすにあたって各種情報や注意事項は、『国士館大学手帳』（学生部発行）に記載されているのでよく確認すること。

■関係施設窓口案内

窓口	受付内容	場所	電話	受付時間	
				月～金	土・授 業休講 日
教務課	学生証・ 学費・証明書 担当 教室担当 教職担当	世田谷 5号館1階	03-5481-3202 (学費・証明書) 03-5481-3203 (教室) 03-5481-3204 (教職)	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
		町田 鶴川メイプル ホール1階	042-736-2331	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
	政経学部担当	世田谷 5号館1階	03-5481-3159	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
	理工学部担当	世田谷 5号館1階	03-5481-3159	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
	法学部担当	世田谷 5号館1階	03-5481-3159	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
	文学部担当	世田谷 5号館1階	03-5481-3159	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
	経営学部担当	世田谷 5号館1階	03-5481-3159	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
	21世紀アジア学部 事務課	町田 30号館1階	042-736-1050	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
	体育学部事務課 こどもスポーツ 教育学科担当	町田 14号館1階	042-736-2330	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
	体育学部事務課	多摩 18号館1階	042-339-7202	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
学生・厚生課	学生生活全般をサポートする 手続、指導、相談、掲示 等を行っています。 課外活動、奨学金（奨学生 制度）、遺失物・拾得物、 アルバイト情報、学生保険、 学生寮、アパート関係など	世田谷 34号館A棟 1階	03-5451-8114	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
		町田 13号館1階	042-736-2316	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
		多摩 18号館2階	042-339-7225	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
学生相談室	教職員、家族、友人等に相 談しにくい問題など、専門 のカウンセラーが直接相談 に応じます。電話での相談 や家族からの相談も受け付 けています。	世田谷 34号館A棟 1階	03-5451-8116	※カウンセ ラーの在 室日は学 生相談室 入口の掲 示板でお 知らせし ます。確 認の上、 相談に來 てください。	原則と して閉 室
		町田 11号館1階	042-736-5498		
		多摩 21号館1階	042-339-7365		

窓口	受付内容	場所		電話	受付時間	
					月～金	土・授業 休講日
国際交流 センター	海外研修や交換留学など、 海外へ留学を希望する学生 へのアドバイスや外国人留 学生へのサポートを行って います。	世田谷	7号館1階	03-5481-3206	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
		町田	鶴川メイプル ホール2階	042-736-2317	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
		ホームページ	http://www.kokushikan.ac.jp/research/IC/			
キャリア形成 支援センター	学生の進路に関する各種支 援を行っています。業種別 企業ファイルや就職情報誌 等の資料を自由に閲覧でき るほか、求人票及び各種セ ミナーの案内等を行ってい ます。また、就職活動にお ける悩みを相談できるスタ ッフも常時待機していま す。	世田谷	8号館1階	03-5481-3308	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
		町田	12号館1階	042-736-2318	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
		多摩	18号館2階	042-339-7230	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
		ホームページ	http://www.kokushikan.ac.jp/career/			
		Eメールアドレス (全キャンパス共通)	career@kokushikan.ac.jp			
健康管理室	校医や看護師等を配置し て、応急処置や健康相談、 健康診断証明書の発行、健 康情報の発信等を行ってい ます。なお、校医の健康相 談や診察を希望する場合 は、各キャンパスの健康管 理室にお問い合わせくださ い。	世田谷	34号館A棟 1階	03-5451-8115	9:00～ 21:00	9:00～ 19:00
		町田	11号館1階	042-736-2319	9:00～ 18:00	9:00～ 17:00
		多摩	21号館1階	042-339-7206	9:00～ 18:00	9:00～ 17:00
図書館・ 情報メディア センター	蔵書はもちろん、学外情報 検索のための各種データ ベースや電子デバイス等の 設備、視聴覚や閲覧・学習 施設等が完備されていま す。蔵書は3キャンパスど こでも貸出・返却ができま す。なお、図書館入館の際 には学生証が必要です。	世田谷	中央図書館 1～5階	03-5481-3216	8:30～ 20:30	8:30～ 18:00
		町田	鶴川メイプル ホール2～4階	042-736-2341	8:30～ 19:00	8:30～ 18:00
		多摩	18号館1階	042-339-7204	8:30～ 19:00	8:30～ 18:00
		ホームページ	http://www.kokushikan.ac.jp/education/library/			
地域連携・ 社会貢献推進 センター	学生のスキルアップと就職 のための資格講座を実施し ています。	世田谷	梅ヶ丘校舎 地域交流文化 センター1階	03-5451-1921	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
		町田	鶴川メイプル ホール1階	042-736-2327	10:00～ 17:00	10:00～ 17:00
		多摩	18号館1階	042-339-7372	10:00～ 17:00	10:00～ 17:00
		ホームページ	http://www.kokushikan.ac.jp/research/LLC/			

※受付時間は、大学行事開催日等は閉室または時間が変更となる場合があります。

※詳しい内容は、各部署まで直接お問い合わせください。

学生ポータルサイト「Kaede-i」 講義支援システム「manaba」

【学生ポータルサイト「Kaede-i」】

授業に関する情報など、大学生活に必要な情報については「Kaede-i」から確認することができる。Kaede-iのID及びパスワードは、入学後のオリエンテーションに出席することで配布され、IDと大学が発行したメールアドレスは卒業するまでの間、原則として変わらない。紛失しないように注意すること。

- ・ 授業の休講、補講、教室変更などの情報
- ・ 大学からのお知らせ（※掲示板にも掲示される）
- ・ 履修登録（履修登録期間のみ）
- ・ My 時間割（履修科目の一覧）の確認
- ・ プロファイル（学生情報）の確認・変更（住所、電話番号、学費納入者の変更など）
- ・ 成績確認（春期成績は9月中旬、秋期成績は3月下旬から） など

◆ Kaede-i へのアクセス方法

大学ホームページから「在学生・保護者の皆さま」→「学生ポータルサイト（Kaede-i）」をクリック

URL : <https://kaedei.kokushikan.ac.jp/>



QRコード
(Kaede-i)

◆ プロファイル（学生情報）の確認・変更方法

学生ポータルサイト「Kaede-i」TOPページから、「プロフィール」→「プロフィール（学生情報）」欄の「確認・変更する」をクリック。変更箇所を修正し、最後に「登録」ボタンをクリック。なお、学生本人だけでなく、保証人や学費納入者の住所、緊急連絡先等の変更ができる。

※住所・電話番号は、怪我や病気をした時や災害時の連絡など緊急時に連絡する際に必要となるため、変更が生じた場合には速やかに最新の情報に変更すること。

【講義支援システム「manaba」】

「manaba」は、講義資料の配布や掲示板等のやりとり、課題レポートやアンケートの提示・提出等を行える機能がある。また、各部署からの案内やお知らせなども掲載している。このシステムを利用するには、入学時に配付されるユーザIDとパスワードが必要となる。

◆ manaba へのアクセス方法

大学ホームページから「在学生・保護者の皆さま」→ページ中ほどにある「manaba」をクリック

URL : <https://kokushikan.manaba.jp/ct/login>



QRコード
(manaba)

I

単位・授業・試験・ 進級及び卒業

1 授業と単位制

1. 授業
2. 単位算定の基準
3. 出席・欠席・公欠
4. 休講
5. 補講

2 履修登録

1. 履修登録の流れ
2. 履修上の注意事項

3 試験

1. 定期試験
2. レポート・小試験等
3. 追試験
4. 再試験
5. 試験に関する諸注意

4 成績評価

1. 成績と単位の認定
2. GPA 制度

5 進級・留年及び卒業

1

授業と単位制

大学における学修は「単位制」によって行われている。

単位制とは、一定の基準により単位を付与された各授業科目を履修要領等にしたがって履修し、所定の試験またはこれにかわるものに合格することによって単位を修得していく制度である。

授業科目の履修は、すべて単位制による。卒業は、休学期間を除いて4年以上8年まで在学し、履修要領に従って所定の単位を修得することによって認められ、卒業により学士の学位が授与される。(学則第52・53条参照)

1 授業

授業科目は、各科目とも1時間に1回1時限(継続90分)が配当されている。

1年は、「春期」15週、「秋期」15週に区別され、年間の授業日数(週数)は、原則として、1科目につき15週(半期科目:週1回×15時限)、または30週(通年科目:週1回×30時限)実施される。

授業時間は次の通りである。

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
時間	09:00～10:30	10:45～12:15	12:55～14:25	14:40～16:10	16:25～17:55

※副免許に関する授業は6時限目(18:05～19:35)に開講する場合がある。

2 単位算定の基準

授業は、「講義」「実習」「実技」等の方法で行われ、各科目には単位が付与されている。大学において「1単位」と計算される学修時間は45時間であり、この時間数は教室における授業時間だけでなく、各自が行う自習(予習・復習等)時間を含め計算される。

各科目には次の基準により単位が付与されている

		授業時間	授業時間外に必要な学修	単位数
講義科目	半期科目	毎週1時限 2時間×15週	4時間×15週	計6時間×15週÷45時間=2単位
	通年科目	毎週1時限 2時間×30週	4時間×30週	計6時間×30週÷45時間=4単位
演習科目 ※科目によって単位数等が異なります。	半期科目	毎週1時限 2時間×15週	4時間×15週	計6時間×15週÷45時間=2単位
		毎週1時限 2時間×15週	1時間×15週	計3時間×15週÷45時間=1単位
	通年科目	毎週1時限 2時間×30週	4時間×30週	計6時間×30週÷45時間=4単位
		毎週1時限 2時間×30週	1時間×30週	計3時間×30週÷45時間=2単位
外国語科目	半期科目	毎週1時限 2時間×15週	1時間×15週	計3時間×15週÷45時間=1単位
	通年科目	毎週1時限 2時間×30週	1時間×30週	計3時間×30週÷45時間=2単位
実験・実習・実技科目等		体育実技、実験及び実習については、学修はすべて体育館や実験室等で行われるものとし、30時間又は45時間の授業をもって1単位とする。		

※時間割上の1時限は1時間30分であるが、制度上2時間とみなされている。

3 出席・欠席・公欠

○出席

履修登録したすべての授業に原則として出席しなければならない。総授業数（試験を含む）の3分の2以上の出席がなければ単位が付与されない。

授業の出席の確認は、出席記録システム（学生証を使用）により行われる。また、出席カードの提出または点呼等により行われる場合もある。

○欠席

病気・怪我等、やむを得ない理由により7日以上欠席する（した）時は、教務課学部担当窓口にてその旨を報告し、欠席届を各科目担当教員へ提出すること。また、正当な理由がなく、無届で3か月以上連続して欠席した場合、除籍（学則第20条）の対象となる。

○公欠（公認欠席）

次の場合は公欠となるので、「公欠願」に必要事項を記入し認印を受けたうえで各科目担当教員へ願い出るものとする。公欠は欠席として取り扱われるが、科目担当教員の判断により、配慮が受けられる場合がある。（「公欠に関する取扱要領」参照）

公欠事由		認印をもらう人	添付書類
1	大学・学部行事	教務課：学部担当 学部教員	
	学生・厚生課関連	学生・厚生課	
2	教育実習・介護等体験	教務課：教職担当	
	他の学外実習	教務課：学部担当 学部教員	
3	対外公式試合・コンクール等登録出場者として出場する場合	学生・厚生課	（学生・厚生課への大会参加願の事前提出が必要）
4	学生の親族が死亡した場合（※忌引基準による）	教務課：学部担当	会葬礼状など葬儀日程が分かる書類
5	裁判員制度によって従事した場合	教務課：学部担当	従事したことを証明する書類
6	その他特に学部長が必要と認めた事由	学部長 （教務課学部担当経由）	関連資料、証明書等

4 休講

大学の行事または科目担当教員の都合等により授業が休講になることがある。休講情報は Web サイト（学生ポータルサイト「Kaede-i」）で確認すること。なお、授業開始後 30 分を経過しても科目担当教員もしくは教務課からの連絡、指示がない場合は、教務課各学部担当窓口まで連絡し、指示があるまで待機すること。

5 補講

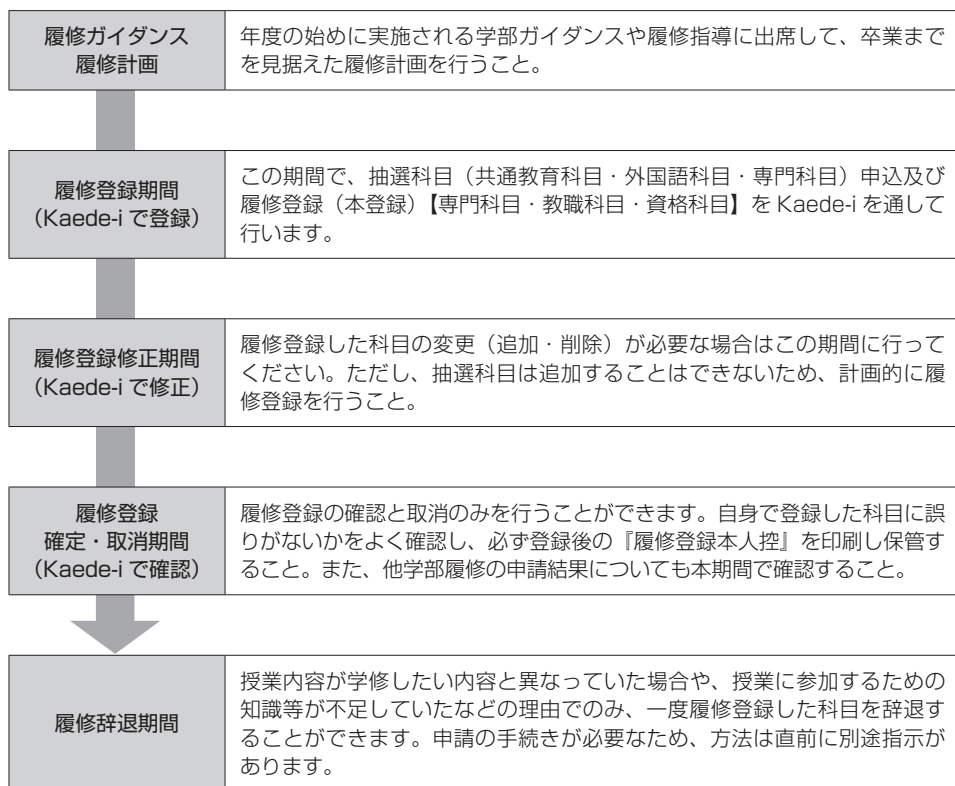
休講等により授業時間数の不足を補う必要が生じた場合は、補講を行うことがある。この場合、メールまたは学生ポータルサイト「Kaede-i」で連絡するので、指示に従い出席すること。

2

履修登録

履修登録とは、学びたい科目や卒業するために必要な科目の単位（卒業所要単位）を修得するために、学生自身が卒業までの計画を立て、各期で履修したい科目を学生ポータルサイト（Kaede-i）にて登録することです。履修登録を行うためには、学部便覧、シラバス、時間割表を参考にし、卒業までの履修計画を立てること。

1 履修登録の流れ



※『履修登録本人控』については、登録や変更が完了した時点で印刷し、保管しておくこと。

※各期で設定された期間外の履修登録は、いかなる場合でも認められません。

2 履修上の注意事項

① 上級年次配当の科目履修について

自分より下級年次に配当されている科目は履修できるが、上級年次に配当されている科目を履修することはできない。

② 重複履修について

次に示すような履修は重複履修と呼ばれ、登録することができない。

- ・ 同一時限の他の科目を履修すること。
- ・ 同一科目を同一学期内に並行履修すること。
- ・ 既に単位を修得した科目を再び履修すること。

③ 世田谷キャンパスと町田・多摩両キャンパス間における履修について

町田または多摩キャンパスの科目を履修し、同一日に世田谷キャンパスでも科目を履修する場合、最低1時限分の移動時間を設けなければならない。昼休みをはさみ、2時限と3時限の履修も認められない。

④ 抽選科目

授業科目の中で定員の定まっている科目について、履修希望者が多数の場合は抽選によって履修者を決定することがある。

1 定期試験

定期試験は、春期及び秋期それぞれの学期末に実施される。各科目の具体的試験日程は、試験前に掲示等で発表される。この試験結果等により評価されるが、演習（ゼミ）等の一部科目については、試験に代えてレポート、論文または平常の成績により評価される。

なお、正当な理由が無く試験を欠席した場合は、該当科目を放棄したものとみなされる。

2 レポート・小試験等

定期試験以外に、授業時に小試験が実施される場合やレポートの提出が指示される場合がある。

いずれも通常は、授業時に担当教員からの指示によって実施される。また、同様に掲示板等で指示される場合もあるので、あわせて留意すること。

3 追試験

追試験は、次の表に該当する事由により、やむを得ず定期試験を受験できなかった場合にのみ実施される。ただし、担当教員の判断により、出席不良等の事由で追試験を受験できない場合がある。また、定期試験において30分を超える遅刻、日程表の見間違え等本人の不注意により受験できなかった場合は、追試験は一切認められない。

◆追試験が認められる事由

事由	必要書類
病気・怪我	医療機関発行の診断書等 学校感染症の場合は、学校感染症治癒証明書（大学ホームページからダウンロード可能）または医療機関発行の診断書
忌引き	会葬礼状など葬儀日程が分かる書類
公共交通機関の遅延等	鉄道会社等で発行する遅延証明書又は事故証明書
その他	その他正当な事由がある場合は、教務課学部担当窓口へ申出

◆追試験の手続き方法

- ①電話等により、欠席した試験当日中に教務課学部担当窓口（5号館1階）に連絡する。
- ②後日、定められた期限までに、追試験申請を行い、事由に伴う「必要書類」を添えて教務課学部担当窓口へ提出する。

4 再試験

文学部においては、再試験は原則として実施しない。ただし、秋期試験後において、履修している専門科目のうち第2年次生においては2単位、第4年次生においては4単位について、進級または卒業（9月卒業候補者は除く）に抵触する者から受験希望の願いが提出され、当該科目の担当教員がその必要を認めた場合にかぎり、実施することがある。

5 試験に関する諸注意

◆受験資格（文学部内規一部抜粋）

各授業科目について出席すべき時間数（試験時間を含む）の3分2以上出席した者でなければ受験することができず、当該授業科目の単位の認定を受けることができない。

実験・実習（体育実技を含む）、演習等の単位認定は平常の成績で行うことができる。

◆受験上の注意（心得）（文学部内規一部抜粋）

1. 試験は公正に行われるべきであり、不正な行為は厳に慎まなければならない。
2. 受験者は試験開始10分前に試験場に入場し指定された座席に着席の上、常に学生証を机上の通路側見やすいところにおくものとする。
3. 受験者は試験中、次の各事項を守らなければならない。
 - (1)試験開始後30分を経過した遅参者は受験することはできない。
 - (2)ノート、書籍等の参考資料を机上においてはならない。ただし、当該担当教員において特に認めた参考資料は除く。
 - (3)試験開始後30分を経過しなければ退場できない。
 - (4)当該試験の終了者は答案提出後ただちに試験場から退場しなければならない。
 - (5)前号の場合において白紙答案であってもこれを持ち帰ることはできない。

◆定期試験（定期試験に準ずるものを含む）における不正行為

試験は公正に行われるべきものであり、次に示す行為は不正行為とみなされる。

- ・あらかじめ机等に書き込んだり、カンニングペーパー等を持ち込んだりすること
- ・あらかじめ許可されたもの以外の資料、電子機器等を持ち込むこと
- ・言語、動作等をもって、受験者相互に連絡すること
- ・他の学生の答案を見て答案を作成すること
- ・身代わり受験をすること、あるいはその依頼をすること
- ・他人の答案を作成することまたは不正に作成された答案を提出すること
- ・許可なく、みだりに席を離れる、または監督者の指示に反する行為をすること
- ・不正行為と疑われるような行為をすること、または試験中に物品の貸し借りをすること

試験中にこのような行為をした者に対しては、監督者が学生証、答案、その他の証拠品を取り上げ、退場を命じた上で、事後の試験は受けさせない。追試験、再試験も同様の扱いとする。

不正行為者は、当該期の中全履修科目の単位認定がなされない（通年科目を含む）。あわせて学則第73条に基づき、懲戒処分の対象となる。

4

成績評価

1 成績評価と単位の認定

- ①成績は 100 点法をもって評価され、成績評価は秀、優、良、可、不可及び欠席と表記される。また、「認定」とは点数評価をせずに単位を認定する成績評価を指す。点数と成績評価の関係は下表のとおりとなる。

点数		100～90	89～80	79～70	69～60	59以下	評価不能	—
成績 評価	Kaede-i の表示	秀	優	良	可	不可	欠席	認定
	成績通知書の表示	秀	優	良	可	不	欠	認
	成績証明書の表示	秀	優	良	可	—	—	認
合否		合格				不合格		合格

※総授業数の3分の2以上の出席がない場合や定期試験を放棄した場合などは、成績評価に値せず、点数は評価不能となり成績評価は「欠席」となる。

※編転入などにより、他大学等で修得した単位を本学の単位として認めたものを「認定」とする。

※成績証明書には合格した科目及び単位認定された科目のみ記載される。

- ②再試験の評価は、可または不可となる。(再試験が行われる場合のみ。)

2 GPA 制度

本学では、学生の学修意欲を高めることを目的として GPA (Grade Point Average : 成績点平均値) を導入している。この GPA とは、科目ごとの評価をそれぞれ点数化することにより、学修状況を客観的にみられるようにするための数値であり、全履修科目の平均を算出したものである。

◆ GPA の計算方法

- ① GPA 計算式

$$\text{GPA} = \frac{\text{(評価を受けた科目の GP} \times \text{その科目の単位数) の合計}}{\text{履修登録科目単位数の合計}}$$

※ GPA は四捨五入して、小数第 2 位まで表します。

- ② GP (Grade Point)

GP は、履修登録した科目の成績 (秀、優、良、可、不可、欠席) を数値に置き換えたもの。

合否	成績評価	点数	GP
合格	秀	100～90	4
	優	89～80	3
	良	79～70	2
	可	69～60	1
不合格	不可	59以下	0
	欠席	評価不能	0
合格	認定	—	対象外

※不合格の科目を再履修して合格した場合および再び不合格の場合、いずれにおいても再履修前の成績評価については、総 GPA には算入しない

◆ GPA の対象

次の科目は GPA の対象とならない。

- ①成績評価が「認定」の科目
- ②卒業要件の対象とならない科目（教職科目や随意科目など）

◆ GPA の利用

GPA によって、年間もしくは半期の学修成果を自分自身で把握することが可能となり、主体的かつ充実した学修成果をあげることも目的としている。また、履修指導や学修指導において指針とするほか、成績優秀者、留学や奨学金対象者の選考等の判断基礎資料として活用する。

原則として、単年度 GPA が 1.0 未満の時は、個別面談等学修指導を実施する場合がある。また、単年度の GPA が 3.5 以上のときは、年間成績優秀者として表彰する。

◆ GPA の通知

Kaede-i 及び成績通知書に学期（春期・秋期）GPA、年間 GPA、総 GPA の 3 種類を表記する。

◆ 履修登録の修正および辞退

授業内容が学修したい内容と異なっていた場合や、学修するにあたっての知識が不足していたなどの理由で、履修登録した科目を辞退することができる。

辞退を希望する場合には、春期・秋期のそれぞれ指定された期間に指定された方法で手続きを行うこと。なお、辞退した科目は GPA の計算対象から除外される。

指定された期間内に手続きを行わず、自らの判断で履修を放棄した場合は「不合格」となり、GPA の値が下がるので注意すること。

◆ GPA の計算の一例

科目名	単位数	成績評価	GP
政治学 A	2	優	3
A I とサイエンス	2	秀	4
英語 1	1	可	1
中国語 1	1	不可	0
地方自治入門	2	優	3
簿記論（基礎）	2	良	2

計算式に当てはめると以下のとおり。

$$\frac{2 \times 3 + 2 \times 4 + 1 \times 1 + 1 \times 0 + 2 \times 3 + 2 \times 2}{2 + 2 + 1 + 1 + 2 + 2} = 2.50$$

この学生の GPA は、2.50 となる。

3 成績通知書

成績通知書は、春期（9月上旬頃）と秋期（3月上旬頃）にそれぞれ保証人宛に郵送される。次年度の履修登録や卒業・進級の状況を確認する上で必要なものとなるので、各自大切に保管をしておくこと。いかなる場合においても成績通知書の再発行は行わない。

成績通知書には過去に修得した科目の成績が累計記載されている。ただし、不合格となった科目については、履修した年度のみ不合格である旨の記載がされる。

5

進級・留年及び卒業

卒業所要単位は 124 単位であるが、科目区分ごとに必要単位数を修得し、4 年間で卒業するためには、各年次に計画的に科目を履修し、単位を取得することが必要である。

出席不足、成績不良により取得単位が著しく少ない学生には、必要に応じて面接等を行う。

なお、休学期間を除き、8 年を超えて在学することはできない（学則第 41 条）。休学期間は在学年数に算入されない（学則第 18 条）。休学者は、休学期間が満了する次の期に復学することができるが、半期休学者が次学年へ復学する場合には、学部が定めた単位数を修得していなければならない（学籍管理規程第 7 条第 6 項）。

進級・留年

4 月に入学して、次年度の 4 月には通常 1 学年進級し、4 年間で卒業する。

1 年間の修得単位数が少ない場合、当該学年に留年になる。

各学年の留年について（卒業所要単位を対象とする）

1 年	修了時に 12 単位以上修得していない者	原級に留めおくことがある
2 年	修了時に 54 単位以上修得していない者	原級に留めおく（留年）
3 年	修了時に 76 単位以上修得していない者	原級に留めおくことがある
4 年	修了時に卒業に必要な 124 単位以上修得していない者	原級に留めおく（留年）

卒業

卒業には、8 セメスター修了することと、卒業所要単位として 124 単位が必要である。

なお、各コースごとの必要単位数を下表に示す。

授業科目区分及び 最小単位数		授業科目区分						卒業 所要 単位
		全学共通教育科目				専門科目		
		共通教育科目		外国語科目				
		26		8		90		
学 科	コ ー ス	必修	選択	必修	選択	必修	選択 (選択必修 を含む)	
教育学科	教育学	4	22	4	4	26	64	124
	初等教育					43	47	
史学地理 学科	考古・日本史学					16	74	
	地理・環境					29	61	
文学科	日本文学・文化					32	58	

卒業論文

- ①文学部では、大学教育の成果のしめくりとして卒業論文の提出を義務づけている（ただし、初等教育コース「卒業研究Ⅱ」（2単位）は別要領で実施する）。
- ②卒業論文は、綿密な構想と計画のもとに、長時間にわたる資料の収集整理を必要とし、学術的にも高度で密度の高いものでなければならない。
- ③卒業論文提出までの手続きと取扱いの基準は次のとおりである。
 - a. 論文は、4年次の12月10日午後3時までに、1部を提出する。論文の受付は12月10日の1週間前から始められる。提出の際は、審査指導料の納入票を添えなければならない。
 - b. 論文の量は、20,000字以上とする。
 - c. 12月10日午後3時までに提出されなかった論文は、原則として受理しない。
ただし、締め切り当日から遡って1週間以内において、次の事由に該当する事態が発生した場合は、事由発生後、ただちにその事態を大学（教務課文学部担当窓口）に届け出（電話連絡可）、学部長に提出期限の猶予を願い出ることができる。
締め切り時間までに届け出がないものについては、いっさい猶予しない。

事由

- 1 当該期間中に本人が病気等の加療のため入院している場合
 - 2 当該期間中に両親・祖父母・兄弟姉妹が死亡した場合
 - 3 本人の居住地が、当該期間中に火災・風水害・地震等の大規模な災害に見舞われ、なおも重大な被害が継続していると判断される場合
 - 4 交通機関等の重大な事故のため、やむを得ず締め切り時間に間に合わない場合
 - 5 学校感染症（インフルエンザ等）に罹患した場合（疑わしい場合も含む）
- ④上記③cの事由が発生した場合は、指示された日時までに、卒業論文と事由の公的証明を提出しなければならない。

4年次修了時に、卒業論文の単位が未修得の者のうち、次年度の春期に完成の見込みがあると指導教員から認められ、9月卒業を希望する者は、3月10日までにコース主任に願い出ることにより、9月卒業が認められる場合がある。

* 9月卒業に関する詳細については、所属のコースまたは教務課文学部担当窓口にお問い合わせのこと。

II

授業科目と履修要領

1 授業科目と履修要領

1. 共通教育科目
2. 外国語科目
3. 専門科目
4. 科目ナンバリングについて
5. 首都圏西部大学単位互換
6. 世田谷 6 大学コンソーシアム連携授業
7. 入学前に他大学等で修得した単位について
8. 副専攻について

2 文学部で取得できる教員免許状

3 諸資格取得のための科目履修要領

1. 社会教育主事の資格
2. 博物館学芸員の資格
3. 考古調査士の資格
4. 測量士補の資格
5. GIS 学術士の資格
6. 地域調査士の資格
7. 図書館司書・学校司書・学校図書館司書教諭の資格

授業科目と履修要領

各学年の履修の目安

大学生活を送るにあたって履修の目安を例示する。

各年次の履修上限単位は 48 単位（再履修科目を含む）とする。ただし教員免許状取得のための科目および諸資格取得のための科目で、卒業所要単位にならない科目を除く。

● 1・2 年次

1 年次は、これから大学生活を送るにあたって重要な学年となるので、履修にあたっては細心の注意を必要とする。特に、卒業単位以外に教職・資格などの受講も影響してくるので、便覧やシラバス等を通して 4 年間全体を見通した履修をするよう心掛ける。

1・2 年次においては、主に共通教育科目（保健体育科目を含む）26 単位、外国語科目 8 単位、及び各専門科目 90 単位の一部が配当されている。受講内容としては、2 年次以降専門科目が多くなることを考慮して、共通教育・外国語等の科目について、できるだけ低学年（特に 1 年次）に比重をおいて履修しておくことが望ましい。

授業科目の履修にあたっては、上級学年に配当されている科目は、履修できない。また、クラス指定された授業があり、この場合は必ず指定された授業を履修登録し受講すること。

共通教育科目・体育・スポーツ実習科目、外国語科目、情報関連科目等については、事前に抽選が行われるため、ガイダンス計画やシラバスを確認しておくこと。

2 年次から 3 年次への進級にあたっては、卒業所要単位になる科目 54 単位以上を修得していない場合は、留年となるので未修得が無いよう、しっかりとした履修計画を立てる必要がある。

● 3・4 年次

1・2 年次に比べより高度な専門科目が多く配当される上、就職活動や卒業論文作成、諸資格受講などで学習が制約されることから、4 年次配当の科目以外は、できるだけ 3 年次に履修しておくことが望ましい。特に 4 年次においては、卒業単位に不足を生じないように履修しておくこと。

また、資格受講者では、3 年次までに指定された科目を修得していないと 4 年次の実習への参加ができない科目もあるので注意すること。

◆ 他学部履修制度

他学部履修制度は、自学部開講以外の他学部開講授業科目を履修することにより、学習・研究の達成度を高めるための制度である。履修申し出の理由が正当であると文学部教授会が判断した科目についてのみ他学部履修が可能（無料）である。

(1) 他学部授業科目の確認

他学部で開講されている授業科目は、各学部の時間割表・シラバス等で確認する。

(2) 履修制限

教職・資格・実験・実習・演習科目等、開放していない授業科目があるので、各学部担当窓口で確認をする。また、文学部での各年度における上限 48 単位を越えて履修することはできない。

(3)単位について

文学部では他学部で開放された授業科目を第3言語科目、海外演習科目、首都圏西部単位互換科目と合わせて8単位まで共通教育科目の選択単位として卒業所要単位とすることができる。

(4)履修方法

履修制限科目でないことを確認した上で、履修登録し、指示に従い手続きをする。手続きが完了していないと履修が認められず、削除される。

1 共通教育科目

①共通教育科目は、大学生として必要な知識を修得することや自主的・総合的な判断力を養成すること、そして社会人として必要な教養を身につけるための科目である。

1年次から4年次に配当されており、卒業所要に26単位必要である。中でも、「国士館を知る(建学の精神と教育理念)」、「A1とサイエンス」は必修科目なので、卒業までに、必ず修得しなければならない。

②小学校、中学校、高等学校、養護教諭及び幼稚園の教員免許を取得するためには以下の科目の修得が必要である。「日本国憲法」、「体育実習」および「AIとサイエンス」

③「日本の歩み」、「日本の国際化」、「日本の自然環境」は外国人留学生対象の科目である。

④情報処理関係資格修得者は、次の要領により「コンピュータリテラシー」2単位の単位認定を受けることができる。

対象者：独立法人情報処理推進機構（IPA）主催のITに関する基礎知識を測る資格試験（基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ITパスポート試験、ITストラテジスト試験）の合格者

条件：単位認定申請時に、認定の対象となる試験のいずれかに合格していること。

要領：単位認定を希望する学生は、試験の合格証のコピーを当該年度の4月末日までに、教務課文学部担当窓口へ提出し、認定を受ける。

⑤保健体育科目は、身体や身体運動に関する幅広い知識を授け、学問的な思考態度を養うとともに、身体や身体運動の合理的実践を通して知的、道徳的、身体的教養を育成し、心身ともに健康でゆとりある生活を実現する能力や態度を育てることをねらいとしている。

■共通教育科目

【必修科目】

科目名	年次及び単位数				備考
	1年次	2年次	3年次	4年次	
国士館を知る (建学の精神と教育理念)	2				
AIとサイエンス	2				

【選択科目】

科目名	年次及び単位数				備考
	1年次	2年次	3年次	4年次	
国士館を語る (継承する精神文化の探究)	2				
国士館ゼミ			1		
防災リーダー養成論			2		
防災リーダー養成論実習			2		
文章表現の基礎			2		
社会人基礎スキル			2		
現代の論理			2		
哲学と現代			2		
宗教と人生			2		
人間と倫理			2		
人生と教育			2		
からだと心のつながり			2		
心の理解と対応			2		
日本の文学			2		
世界の名作			2		
中国の古典を読む			2		
現代の政治			2		
経済のしくみ			2		
社会と人間			2		
法と社会			2		
日本の歴史と文化			2		
アジアの歴史と文化			2		
ヨーロッパの歴史と文化			2		
アメリカの歴史と文化			2		
イスラムの歴史と文化			2		
アフリカの歴史と文化			2		
地理と人間生活			2		
仕事と社会			2		
保育理論			2		
ジェンダーと社会			2		
文化と人間			2		
現代社会論			2		
持続可能な社会と生活			2		
日本国憲法			2		

科目名	年次及び単位数				備考
	1年次	2年次	3年次	4年次	
グローバル社会を学ぶ			2		
人と宇宙			2		
数学入門			2		
数学（線形代数）			2		
数学（微分積分）			2		
数学（多変数関数の微積分）			2		
統計学入門			2		
確率論入門			2		
生物とその進化を探る			2		
変動する地球			2		
人間と地球環境			2		
データサイエンス基礎			2		
データエンジニアリング基礎			2		
A I 基礎			2		
A I 基礎演習			1		
データリテラシー			2		
コンピュータリテラシー			2		
コンピュータネットワーク			2		
プログラミング基礎			2		
Webデザインの基礎			2		
栽培			2		
基礎物理学			2		
物理学			2		
スポーツと人体			2		
スポーツと社会			2		
体育実習			2		
スポーツ実習A		2			
スポーツ実習B			2		
スポーツ実習C				2	
スポーツ実習 I	1				町田キャンパス開講
スポーツ実習 II	1				町田キャンパス開講
スポーツ実習 III		1			町田キャンパス開講
スポーツ実習 IV		1			町田キャンパス開講
スポーツ実習 V			1		町田キャンパス開講
スポーツ実習 VI			1		町田キャンパス開講
スポーツ実習 VII				1	町田キャンパス開講
スポーツ実習 VIII				1	町田キャンパス開講
書の世界			2		
アニメの世界			2		
日本の伝統芸能			2		
芸術の世界			2		
英語で学ぶ教養			2		
ドイツ語で学ぶ教養			2		
フランス語で学ぶ教養			2		
中国語で学ぶ教養			2		
韓国語で学ぶ教養			2		

科目名	年次及び単位数				備考
	1年次	2年次	3年次	4年次	
日本の歩み			2		留学生のみ履修可
日本の国際化			2		留学生のみ履修可
日本の自然環境			2		留学生のみ履修可
総合講座			2		世田谷6大学コンソーシアム連携授業科目
ボランティア実践Ⅰ			1		単位認定科目
ボランティア実践Ⅱ			1		単位認定科目
ボランティア実践Ⅲ			1		単位認定科目
ボランティア実践Ⅳ			1		単位認定科目
インターンシップ			2		単位認定科目

保健体育科目

1. 保健体育教育のねらい

本学における保健体育教育は、身体や身体運動に関する幅広い知識を授け、学問的な思考態度を養うとともに、身体や身体運動の合理的実践を通して知的、道徳的、身体的教養を育成し、心身ともに健康でゆとりある生活を実現する能力や態度を育てることをねらいとしている。

2. 保健体育教育のカリキュラム

1) 保健体育教育のカリキュラムと配当年次

	保健体育教育の授業科目	単位数	配当年次				
			1	2	3	4	
共通教育科目 保健体育科目	実技と理論（通年）	体育実習	2	○			
		スポーツ実習 A	2		○		
		スポーツ実習 B	2			○	
		スポーツ実習 C	2				○
	講義（半期）	スポーツと人体	2		○		
		スポーツと社会	2		○		

2) 各授業科目の概要

ア) 体育実習（実技と理論：1年次）

主に実技を中心として行われる授業であり、開講されている各種目の合理的実践を通して、スポーツや運動に親しみながら、身体運動の幅広い知識を身に付けるとともに、生涯スポーツの獲得を目指す。

イ) スポーツ実習（実技と理論：2～4年次：毎年履修可）

主に実技を中心として行われる授業であり、開講されている各種目の合理的実践を通して、身体運動、特に各スポーツ種目特有の技術の仕組みやその理論を深めるとともに、技術の向上を図ることをねらいとしている。施設などの諸事情により、A、B、Cの合同授業としている。

ウ) スポーツと人体・スポーツと社会（講義）

講義を中心として行われる授業（1～4年次開設の選択科目）であり、身体や身体運動の基本的な方法論とその機能的側面や歴史的・社会的・文化的側面に関する理論を教授し、それを通して学問的な思考態度を養うことをねらいとしている。

(2) 体育実習スポーツ実習の種目と評価

①体育実習の種目、定員および準備するもの

世田谷キャンパス	種目コード	種目	定員	準備する衣服・用具
	01	柔道	20	柔道着
	04	剣道	15	剣道着・袴
	06	合気道	20	合気道着（柔道着可）
	37	空手道	20	空手道着
	12	サッカー	40	サッカーを行うのに相応しいウエアとシューズ
	14	バレーボール	30 (40)	バレーボールを行うのに相応しいウエアとシューズ
	15	バスケットボール	33	バスケットボールを行うのに相応しいウエアとシューズ
	16	バドミントン	30	バドミントンを行うのに相応しいウエアとシューズ
	17	卓球	40	卓球を行うのに相応しいウエアとシューズ
	26	ニュースポーツ	26	運動を行うのに相応しいウエアとシューズ
	31	T. E.	若干名	運動を制限されている学生の授業 (個々の身体的条件に適する諸運動を行う)
	32	フィジカルコンディショニング (ボディメイクエクササイズ)	32	運動を行うのに相応しいウエアとシューズ
	38	アクアフィットネス	25	水着、スイミングキャップ、ゴーグル
	39	ダンスエクササイズ	35	運動を行うのに相応しいウエアとシューズ
40	ピラティス (呼吸法・体幹エクササイズ)	32	運動を行うのに相応しいウエアとシューズ	
41	ヘルスケアトレーニング	25	運動を行うのに相応しいウエアとシューズ、タオル(2枚)	
42	フィジカルトレーニング	40	運動を行うのに相応しいウエアとシューズ、タオル(2枚)	

() の定員は体育武道館 3 階アリーナで開講する場合の定員

※「T.E.」は、一般の種目の実施が難しい身体的・精神的状況の場合に限り履修が可能となるので、診断書を提出するとともに、自己の症状について担当教員へ詳細に説明すること。

②体育実習の評価

体育実習の評価は、技能程度・進歩度、理解（ペーパーテストなど）、態度、運動の実践状況等によって総合評価するが、とりわけ実践状況を重視する。

②スポーツ実習の種目、定員および準備するもの

世田谷キャンパス	種目コード	種目	定員	準備する衣服・用具
	01	柔道	20	柔道着
	04	剣道	15	剣道着、袴
	06	合気道	20	合気道着（柔道着可）
	12	サッカー	45	サッカーを行うのに相応しいウエアとシューズ
	14	バレーボール	(45)	バレーボールを行うのに相応しいウエアとシューズ
	15	バスケットボール	33	バスケットボールを行うのに相応しいウエアとシューズ
	16	バドミントン	(40)	バドミントンを行うのに相応しいウエアとシューズ
	17	卓球	40	卓球を行うのに相応しいウエアとシューズ
	22	スキー（秋期から学内で授業＋集中授業）	20	運動を行うのに相応しいウエアとシューズ
	32	フィジカルコンディショニング	32	運動を行うのに相応しいウエアとシューズ
38	アクアフィットネス	25	水着、スイミングキャップ、ゴーグル	

（ ）の定員は体育武道館 3 階アリーナで開講する場合の定員

町田キャンパス	01	柔道	40	柔道着
	11	テニス	32	テニスを行うのに相応しいウエアとシューズ
	12	サッカー	40	サッカーを行うのに相応しいウエアとシューズ
	14	バレーボール	40	バレーボールを行うのに相応しいウエアとシューズ
	15	バスケットボール	40	バスケットボールを行うのに相応しいウエアとシューズ
	16	バドミントン	40	バドミントンを行うのに相応しいウエアとシューズ
	20	ゴルフ	25	ゴルフを行うのに相応しいウエアとシューズ、手袋、帽子
	22	スキー（秋期から学内で授業＋集中授業）	20	運動を行うのに相応しいウエアとシューズ
	34	複合スポーツ	30	運動を行うのに相応しいウエアとシューズ

②スポーツ実習の評価

スポーツ実習の評価は、技能程度・進歩度、理解（ペーパーテストなど）、態度、運動の実践状況等によって総合評価するが、とりわけ技能を重視する。

2 外国語科目

		科目名	年次及び単位数			
			1年次	2年次	3年次	4年次
英語	必修	英語 1	1			
		英語 2	1			
		英語 3		1		
		英語 4		1		
	選択	TOEIC Listening & Reading1			1	
		TOEIC Listening & Reading2			1	
		英会話 1			1	
		英会話 2			1	
		英語プレゼンテーション・スキル			1	
		英語ライティング・スキル			1	
		英語リスニング・スキル		1		
		英語リーディング・スキル		1		
ドイツ語	必修	通常	ドイツ語 1	1		
			ドイツ語 2	1		
		速修	ドイツ語インテンシヴ 1		2	
	選択	速修	ドイツ語インテンシヴ 2		2	
			ドイツ語 3		1	
			ドイツ語 4		1	
			ドイツ語会話 1		1	
			ドイツ語会話 2		1	
			ドイツ語スキルアップ A			1
			ドイツ語スキルアップ B			1
			ドイツ語スキルアップ C			1
			ドイツ語スキルアップ D			1
フランス語	必修	通常	フランス語 1	1		
			フランス語 2	1		
		速修	フランス語インテンシヴ 1		2	
	選択	速修	フランス語インテンシヴ 2		2	
			フランス語 3		1	
			フランス語 4		1	
			フランス語会話 1		1	
			フランス語会話 2		1	
			フランス語スキルアップ A			1
			フランス語スキルアップ B			1
			フランス語スキルアップ C			1
			フランス語スキルアップ D			1
中国語	必修	通常	中国語 1	1		
			中国語 2	1		
	選択	速修	中国語インテンシヴ 1		2	
		速修	中国語インテンシヴ 2		2	
			中国語 3		1	
			中国語 4		1	
	中国語会話 1		1			

		科目名	年次及び単位数			
			1年次	2年次	3年次	4年次
中国語	選択	中国語会話 2		1		
		中国語スキルアップ A		1		
		中国語スキルアップ B		1		
		中国語スキルアップ C		1		
		中国語スキルアップ D		1		
韓国語	必修	韓国語 1	1			
		韓国語 2	1			
		速修 韓国語インテンシヴ 1		2		
	選択	速修 韓国語インテンシヴ 2		2		
		韓国語 3		1		
		韓国語 4		1		
		韓国語会話 1		1		
		韓国語会話 2		1		
		韓国語スキルアップ A		1		
		韓国語スキルアップ B		1		
		韓国語スキルアップ C		1		
		韓国語スキルアップ D		1		
		スペイン語	必修	スペイン語 1	1	
スペイン語 2	1					
選択	スペイン語 3			1		
	スペイン語 4			1		
	スペイン語会話 1			1		
	スペイン語会話 2			1		
ロシア語	必修	ロシア語 1	1			
		ロシア語 2	1			
		ロシア語 3		1		
		ロシア語 4		1		
日本語 ※留学生のみ履修可	必修	日本語リーディング 1	1			
		日本語リーディング 2	1			
		日本語ライティング 1	1			
		日本語ライティング 2	1			
		日本語スピーキング 1		1		
	選択	日本語スピーキング 2		1		
		時事日本語 1			1	
		時事日本語 2			1	
		ビジネス日本語 1			1	
		ビジネス日本語 2			1	
		日本語スキルアップ 1			1	
日本語スキルアップ 2			1			

■海外演習・外国語検定試験単位認定

	科目名	年次及び単位数			
		1年次	2年次	3年次	4年次
海外演習	海外演習 1			2	
	オンライン海外演習 1			1	
外国語検定試験 単位認定科目	検定英語 1			1	
	検定英語 2			1	
	検定英語 3			1	
	検定英語 4			1	
	検定ドイツ語 1			1	
	検定ドイツ語 2			1	
	検定ドイツ語 3			1	
	検定ドイツ語 4			1	
	検定フランス語 1			1	
	検定フランス語 2			1	
	検定フランス語 3			1	
	検定フランス語 4			1	
	検定中国語 1			1	
	検定中国語 2			1	
	検定中国語 3			1	
	検定中国語 4			1	
検定韓国語 1			1		
検定韓国語 2			1		
検定韓国語 3			1		
検定韓国語 4			1		

■町田キャンパス開講

		科目名	年次及び単位数			
			1年次	2年次	3年次	4年次
英語	選択	基礎英語 1	3			
		基礎英語 2	3			
		実用英語 1		3		
		実用英語 2		3		
		応用英語 1			3	
		応用英語 2			3	
中国語	選択	基礎中国語 1	3			
		基礎中国語 2	3			
		実用中国語 1		3		
		実用中国語 2		3		
		応用中国語 1			3	
		応用中国語 2			3	

		科目名	年次及び単位数			
			1年次	2年次	3年次	4年次
韓国語	選択	基礎韓国語 1	3			
		基礎韓国語 2	3			
		実用韓国語 1		3		
		実用韓国語 2		3		
		応用韓国語 1			3	
		応用韓国語 2			3	
タイ語		基礎タイ語 1	3			
		基礎タイ語 2	3			
		実用タイ語 1		3		
		実用タイ語 2		3		
		応用タイ語 1			3	
		応用タイ語 2			3	
ベトナム語	基礎ベトナム語 1	3				
	基礎ベトナム語 2	3				
	実用ベトナム語 1		3			
	実用ベトナム語 2		3			
	応用ベトナム語 1			3		
	応用ベトナム語 2			3		
インドネシア語	基礎インドネシア語 1	3				
	基礎インドネシア語 2	3				
	実用インドネシア語 1		3			
	実用インドネシア語 2		3			
	応用インドネシア語 1			3		
	応用インドネシア語 2			3		
ビルマ語	基礎ビルマ語 1	3				
	基礎ビルマ語 2	3				
	実用ビルマ語 1		3			
	実用ビルマ語 2		3			
	応用ビルマ語 1			3		
	応用ビルマ語 2			3		
日本語 ※留学生のみ	基礎日本語 1	3				
	基礎日本語 2	3				
	実用日本語 1		3			
	実用日本語 2		3			
	応用日本語 1			3		
	応用日本語 2			3		

1. 外国語科目のねらい

外国語を知ることは、自分の国やその中で育った自分自身を違った角度から見つめることとなる。大学に入学したのを機に、さらに英語の力に研ぎをかけると共に、ぜひもう一つの新たな外国語にも触れることを強く勧める。それによって、より一層、多角的な視点を身につけることができるだろう。また、外国語の力を養うことで、外国語で発信された各人の専門領域についての情報を入手できるようになり、その分野における知識を深めることにもなる。

これらのことを考慮し、どの言語を学びたいかよく考え、以下の外国語の履修要領やシラバスを参考に履修する科目を選んでほしい。

2. 外国語科目の履修要領

(1) 単位

外国語科目は基本的に1科目1単位、卒業所要単位8単位である。8単位を超えて取得した単位は、学部ごとに以下の扱いとなる。

政経学部：共通教育科目と外国語科目の30単位の区分あるいは自由選択枠

理工学部：自由選択枠

法学部：自由選択枠

文学部：共通教育科目

経営学部：自由選択枠

(2) 言語コース

外国語履修には、1言語コースと2言語コースが用意されている。1言語コースは英語（留学生は日本語）のみ8単位を履修する。2言語コースは英語4単位（留学生は日本語）と、ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・スペイン語・ロシア語から1つ選択した第2外国語4単位を履修する。1年次の履修登録時にいずれかのコースを選択する。

(1 言語コース)

	1 年次履修科目	2 年次履修科目
一般の学生	「英語 1」*・「英語 2」*	「英語 3」*・「英語 4」*
	英語選択科目	英語選択科目
留学生	「日本語リーディング 1・2」* 「日本語ライティング 1・2」*	日本語選択科目
	日本語選択科目	

- ・*のついた科目は指定クラス。履修登録時には、指定されたクラスを履修登録する。
- ・選択科目は「(3)-② 選択科目」を参照。

(2 言語コース)

	1 年次履修科目	2 年次履修科目
一般の学生	「英語 1」*・「英語 2」*	「英語 3」*・「英語 4」*
	第 2 外国語〇〇語 1・〇〇語 2	第 2 外国語〇〇語選択科目
留学生	「日本語リーディング 1・2」* 「日本語ライティング 1・2」*	日本語選択科目
	第 2 外国語〇〇語 1・〇〇語 2	第 2 外国語〇〇語選択科目

- ・*のついた科目は指定クラス。履修登録時には、指定されたクラスを履修登録する。
- ・留学生の第 2 外国語には、英語も含まれる。
- ・選択科目は「(3)-② 選択科目」を参照。

(言語コース組み合わせ表)

外国語履修の組み合わせ					
一般の学生	英語のみ		留学生	日本語のみ	
	英語	ドイツ語		日本語	英語
	英語	フランス語		日本語	ドイツ語
	英語	中国語		日本語	フランス語
	英語	韓国語		日本語	中国語
	英語	スペイン語		日本語	韓国語
	英語	ロシア語		日本語	スペイン語
				日本語	ロシア語

- ・2 言語コースでは、2 つの言語を各 4 単位以上ずつ履修する。たとえば、「英語 5 単位 + ドイツ語 3 単位」では、8 単位を満たしているものの、各言語 4 単位以上を満たしていないので、卒業が認められない。
- ・留学生が 2 言語コースを選択する場合、第 2 言語として母語を選択することはできない。
- ・留学生が 2 言語コースを選択する場合、英語選択科目は「英語 1」～「英語 4」に代替できる。
- ・選択した言語コースは原則変更できない。3 年次以降、正当な理由がある場合に限り 1 回の変更を認める。なお、言語コース・組合せの変更を希望する場合には、あらかじめ学部担当教員（学年担任等）に相談のうえ、教務課で申請手続きを行う。
- ・選択した言語コースにないその他の言語（第 3 言語）は、外国語科目の卒業所要単位 8 単位を取得し終えた後に履修することができ、学部ごとに以下の扱いとなる。

政経学部：「その他の外国語」として共通教育科目と外国語科目の 30 単位の区分あるいは自由選

択枠

理工学部：自由選択枠

法学部：自由選択枠

文学部：共通教育科目

経営学部：自由選択枠

履修を希望する場合は、「他学部・他学科・第3言語科目履修申込書」に記入し、教務課で申請する。

(3) 外国語科目

外国語科目は以下の通り。開講学期や科目の詳細については、『外国語学習情報サイト』(<https://homepage.kokushikan.ac.jp/gaikokugo/index/html>) およびシラバスで確認する。

① 必修科目

[1 年次配当必修科目]

言語	科目名	単位	先修条件・その他
英語	英語 1*	1	なし 政経学部では選択科目
	英語 2*	1	英語 1 (理工学部のみ) 政経学部では選択科目
ドイツ語	ドイツ語 1	1	なし
	ドイツ語 2	1	「ドイツ語 1」の単位を取得済み
フランス語	フランス語 1	1	なし
	フランス語 2	1	「フランス語 1」の単位を取得済み
中国語	中国語 1	1	なし
	中国語 2	1	「中国語 1」の単位を取得済み
韓国語	韓国語 1	1	なし
	韓国語 2	1	「韓国語 1」の単位を取得済み
スペイン語	スペイン語 1	1	なし
	スペイン語 2	1	なし
ロシア語	ロシア語 1	1	なし
	ロシア語 2	1	なし
日本語	日本語リーディング 1*	1	なし・留学生のみ履修可
	日本語リーディング 2*	1	なし・留学生のみ履修可
	日本語ライティング 1*	1	なし・留学生のみ履修可
	日本語ライティング 2*	1	なし・留学生のみ履修可

・*の付された科目はクラス指定。履修登録時には、指定されたクラスを履修登録する。

・それ以外の科目は、時間割に掲載されているクラスの中から選択して履修する。なお、「〇〇語 1」「〇〇語 2」に代えて、「〇〇語インテンシヴ 1」を履修してもよい。

〔2 年次配当必修科目〕

言語	科目名	単位	先修条件・その他
英語	英語 3	1	英語 2（理工学部のみ） 政経学部では選択科目
	英語 4	1	英語 3（理工学部のみ） 政経学部では選択科目

・* の付された科目はクラス指定。履修登録時には、指定されたクラスを履修登録する。

② 選択科目

〔1～4 年次配当選択科目〕

言語	科目名	単位	先修条件・その他
英語	TOEIC Listening & Reading 1	1	なし・レベル別クラス設定
	TOEIC Listening & Reading 2	1	なし・レベル別クラス設定
	英会話 1	1	なし
	英会話 2	1	なし
	英語プレゼンテーション・スキル	1	なし
	英語ライティング・スキル	1	なし
	英語リスニング・スキル	1	なし
	英語リーディング・スキル	1	なし
ドイツ語	ドイツ語インテンシヴ 1	2	なし
	ドイツ語インテンシヴ 2	2	「ドイツ語インテンシヴ 1」または「ドイツ語 2」の単位を取得済み
	ドイツ語会話 1	1	なし
	ドイツ語会話 2	1	なし
フランス語	フランス語インテンシヴ 1	2	なし
	フランス語インテンシヴ 2	2	「フランス語インテンシヴ 1」または「フランス語 2」の単位を取得済み
	フランス語会話 1	1	なし
	フランス語会話 2	1	なし
中国語	中国語インテンシヴ 1	2	なし
	中国語インテンシヴ 2	2	「中国語インテンシヴ 1」または「中国語 2」の単位を取得済み
	中国語会話 1	1	なし
	中国語会話 2	1	なし
韓国語	韓国語インテンシヴ 1	2	なし
	韓国語インテンシヴ 2	2	「韓国語インテンシヴ 1」または「韓国語 2」の単位を取得済み
	韓国語会話 1	1	なし
	韓国語会話 2	1	なし
スペイン語	スペイン語会話 1	1	なし
	スペイン語会話 2	1	なし
日本語	日本語スピーキング 1	1	なし・留学生のみ履修可
	日本語スピーキング 2	1	なし・留学生のみ履修可

- ・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語のインテンシヴ科目は週2回の授業を履修することで、それぞれの外国語の速習を目指すクラスである。「〇〇語インテンシヴ1」は「〇〇語1」および「〇〇語2」に相当し、「〇〇語インテンシヴ2」は「〇〇語3」および「〇〇語4」に相当する。したがって、インテンシヴ科目の単位を取得した場合は、「〇〇語1」～「〇〇語4」を履修しても重複しての単位認定は行われない。
- ・「TOEIC Listening & Reading 1」および「TOEIC Listening & Reading 2」には先修条件はないが、レベル別のクラス設定になっているので、各自の TOEIC Bridge®（または TOEIC®）のスコアを確認し、適切なレベルのクラスを履修する。

〔2 年次配当選択科目〕

言語	科目名	単位	先修条件・その他
ドイツ語	ドイツ語 3	1	「ドイツ語 2」または「ドイツ語インテンシヴ 1」の単位を取得済み
	ドイツ語 4	1	「ドイツ語 3」の単位を取得済み
フランス語	フランス語 3	1	「フランス語 2」または「フランス語インテンシヴ 1」の単位を取得済み
	フランス語 4	1	「フランス語 3」の単位を取得済み
中国語	中国語 3	1	「中国語 2」または「中国語インテンシヴ 1」の単位を取得済み
	中国語 4	1	「中国語 3」の単位を取得済み
韓国語	韓国語 3	1	「韓国語 2」または「韓国語インテンシヴ 1」の単位を取得済み
	韓国語 4	1	「韓国語 3」の単位を取得済み
スペイン語	スペイン語 3	1	なし
	スペイン語 4	1	なし
ロシア語	ロシア語 3	1	なし
	ロシア語 4	1	なし

〔2～4 年次配当選択科目〕

言語	科目名	単位	先修条件・その他
ドイツ語	ドイツ語スキルアップ A	1	ドイツ語科目 4 単位を取得済み
	ドイツ語スキルアップ B	1	
	ドイツ語スキルアップ C	1	
	ドイツ語スキルアップ D	1	
フランス語	フランス語スキルアップ A	1	フランス語科目 4 単位を取得済み
	フランス語スキルアップ B	1	
	フランス語スキルアップ C	1	
	フランス語スキルアップ D	1	
中国語	中国語スキルアップ A	1	中国語科目 4 単位を取得済み
	中国語スキルアップ B	1	
	中国語スキルアップ C	1	
	中国語スキルアップ D	1	

韓国語	韓国語スキルアップ A	1	韓国語科目 4 単位を取得済み
	韓国語スキルアップ B	1	
	韓国語スキルアップ C	1	
	韓国語スキルアップ D	1	
日本語	時事日本語 1	1	なし・留学生のみ履修可
	時事日本語 2	1	なし・留学生のみ履修可
	ビジネス日本語 1	1	なし・留学生のみ履修可
	ビジネス日本語 2	1	なし・留学生のみ履修可
	日本語スキルアップ 1	1	なし・留学生のみ履修可
	日本語スキルアップ 2	1	なし・留学生のみ履修可

(4) 先修条件（科目履修順）

以下の科目については、単位取得の順番が定められている。これを先修条件という。

- ・理工学部の「英語 1～4」
- ・全学部のドイツ語・フランス語・中国語・韓国語の「〇〇語 1～4」「〇〇語インテンシヴ 1～2」「〇〇語スキルアップ」

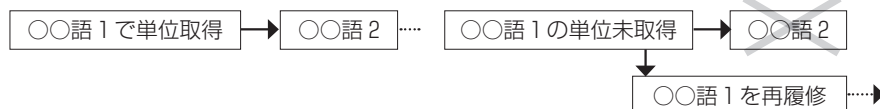
先修条件のある科目は以下の順番で履修し単位を取得すること。順番を飛び越えた履修や単位取得は認められていない。

「〇〇語 1」単位取得→「〇〇語 2」単位取得→「〇〇語 3」単位取得→「〇〇語 4」

「〇〇語インテンシヴ 1」単位取得→「〇〇語インテンシヴ 2」

4 単位取得 → 「〇〇語スキルアップ」

* 先修条件のある科目の履修順序例



政経学部・法学部・文学部・経営学部では、「英語 1～4」に先修条件はない。例えば、1 年次春期に「英語 1」が不合格だった場合、1 年次秋期に「英語 2」を指定クラスで履修すると並行して、「英語 1」の再履修科目を登録し履修することができる。

(5) 海外演習（1～4 年次配当科目）

国際交流センターが実施する「海外演習」に参加し所定の成績を修めることにより単位を認定する。（1 科目 2 単位を卒業所要単位に算入する。）なお、学部ごとに以下の扱いとなる。

政経学部：自由選択枠

理工学部：自由選択枠

法学部：自由選択枠

文学部：共通教育科目

経営学部：自由選択枠

言語	科目名	研修先	研修時期	単位
英語	海外演習（英語）	米・ニューヨーク	夏季	2
		米・カリフォルニア	春季	2
		カナダ	夏季	2
		オーストラリア	春季	2
中国語	海外演習（中国語）	中国	夏季	2
韓国語	海外演習（韓国語）	韓国	夏季	2

- ・学年が異なれば、複数回履修し、その都度単位を取得できる。その際、科目名は単位を取得した研修の回数に応じて「海外演習 1（〇〇語）」「海外演習 2（〇〇語）」というように順に番号が付される。
- ・春季に実施される研修は、4 年次には卒業所要単位として認定されない。
- ・研修の詳細については、国際交流センターに問い合わせる。

(6) 外国語検定試験による単位認定（1～4 年次配当科目）

- ・外国語の検定試験で一定の成績を収めることにより単位を認定する。（1 科目 1 単位（最大 4 科目 4 単位）を卒業所要単位に算入する。）なお、学部ごとに以下の扱いとなる。

政経学部：自由選択枠

理工学部：外国語選択科目

法学部：自由選択枠

文学部：共通教育科目

経営学部：自由選択枠

- ・認定対象は、入学後、かつ過去 1 年間に受験し取得した資格とする（ただし、学内で受験した TOEIC® のスコアは単位認定の対象としない）。
- ・評価は行わず「合否」による単位認定とする。
- ・同一言語で、同一の基準の資格を複数取得しても、重複しての認定は行わない。
- ・認定を受ける当該学生が検定結果の証明書を提示の上、教務課に申請する。申請期限を 7 月末、1 月末とする。
- ・認定された単位は年間履修単位に含まれる。

◆認定対象科目（各1単位）及び認定基準

認定者：教務主任

認定科目名	認定対象検定試験とレベル	TOEFL			英検	IELTS	ケンブリッジ英検	国連英検
		iBT	CBT	PBT				
検定英語 1	400以上	40以上	120以上	433以上	準2級	4.0以上	-	D級
検定英語 1, 2	450以上	45以上	135以上	455以上	2級	-	PET	-
検定英語 1, 2, 3	500以上	50以上	150以上	470以上	-	4.5以上	-	C級
検定英語 1, 2, 3, 4	550以上	55以上	163以上	487以上	準1級、1級	5.5以上	FCE	B級, A級, 特A級

認定科目名	認定対象検定試験とレベル
検定ドイツ語 1	独検 4級 Start Deutsch 1
検定ドイツ語 1, 2	独検 3級 Start Deutsch 2
検定ドイツ語 1, 2, 3	独検 2級 Goethe-Zertifikat B1
検定ドイツ語 1, 2, 3, 4	独検 1級以上 Goethe-Zertifikat B2以上

認定科目名	認定対象検定試験とレベル
検定フランス語 1	仏検 4級
検定フランス語 1, 2	仏検 3級 DELF A1
検定フランス語 1, 2, 3	仏検準2級 DELF A2
検定フランス語 1, 2, 3, 4	仏検 2級以上 DELF B1以上

認定科目名	認定対象検定試験とレベル
検定中国語 1	中国語検定 4級 HSK 筆記試験 2級
検定中国語 1, 2	中国語検定 3級 HSK 筆記試験 3級
検定中国語 1, 2, 3	中国語検定 2級 HSK 筆記試験 4級 HSK 口頭試験中級
検定中国語 1, 2, 3, 4	中国語検定準1級以上 HSK 筆記試験 5級以上 (180点以上) HSK 口頭試験高級

認定科目名	認定対象検定試験とレベル
検定韓国語 1	ハングル検定 4級 TOPIK (韓国語能力試験) 2級
検定韓国語 1, 2	ハングル検定 3級 TOPIK (韓国語能力試験) 3級
検定韓国語 1, 2, 3	ハングル検定 準2級 TOPIK (韓国語能力試験) 4級
検定韓国語 1, 2, 3, 4	ハングル検定 2級 TOPIK (韓国語能力試験) 5級以上

■外国語科目の配当表

		1年次		2年次		3年次		4年次		卒業 所要 単位	
		科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位		
外国語科目	英語	註1参照	英語1	1	英語3	1					
			英語2	1	英語4	1					
		選択	TOEIC Listening & Reading 1							1	
			TOEIC Listening & Reading 2							1	
			英会話1							1	
			英会話2							1	
			英語プレゼンテーション・スキル							1	
			英語ライティング・スキル							1	
			英語リスニング・スキル							1	
		英語リーディング・スキル							1		
	註2参照	海外演習(英語)							2		
	ドイツ語	必修	通常	ドイツ語1	1						
			速修	ドイツ語2	1						
		選択	ドイツ語インテンシヴ1		2						
			ドイツ語インテンシヴ2		2	ドイツ語3	1				
			ドイツ語会話1		1	ドイツ語4	1				
			ドイツ語会話2		1						
				ドイツ語スキルアップA・B・C・D					各1		
	フランス語	必修	通常	フランス語1	1						
			速修	フランス語2	1						
選択		フランス語インテンシヴ1		2							
		フランス語インテンシヴ2		2	フランス語3	1					
		フランス語会話1		1	フランス語4	1					
		フランス語会話2		1							
			フランス語スキルアップA・B・C・D					各1			
中国語	必修	通常	中国語1	1							
		速修	中国語2	1							
	選択	中国語インテンシヴ1		2							
		中国語インテンシヴ2		2	中国語3	1					
		中国語会話1		1	中国語4	1					
		中国語会話2		1							
註2参照	海外演習(中国語)			中国語スキルアップA・B・C・D				各1			
韓国語	必修	通常	韓国語1	1							
		速修	韓国語2	1							
	選択	韓国語インテンシヴ1		2							
		韓国語インテンシヴ2		2	韓国語3	1					
		韓国語会話1		1	韓国語4	1					
		韓国語会話2		1							
註2参照	海外演習(韓国語)			韓国語スキルアップA・B・C・D				各1			
スペイン語	必修	スペイン語1		1							
		スペイン語2		1							
	選択	スペイン語会話1		1	スペイン語3	1					
		スペイン語会話2		1	スペイン語4	1					
ロシア語	必修	ロシア語1		1							
	選択	ロシア語2		1							
日本語 (註3参照)	必修	日本語リーディング1		1							
		日本語リーディング2		1							
		日本語ライティング1		1							
		日本語ライティング2		1							
	選択	日本語スピーキング1							1		
		日本語スピーキング2							1		
					時事日本語1				1		
					時事日本語2				1		
			ビジネス日本語1				1				
			ビジネス日本語2				1				
			日本語スキルアップ1				1				
			日本語スキルアップ2				1				

8単位

註1 政経学部では選択科目、理工・法・文・経営学部では必修科目。
 註2 政経・理工・法・経営学部では自由選択枠、文学部では共通教育科目。
 註3 日本語は留学生のみ履修可。

3 専門科目

- ①専門科目の授業科目構成は、コース独自の専門課程、およびコース枠にとらわれず任意に選択できる学部共通科目で配当されている。
- ②授業科目は、1年次から4年次までに開講されており、必修科目と選択必修科目および選択科目に分けられる。
- ③科目名の末尾につけられている算用数字（123…）は段階を意味する。
また、「1」の単位を修得しなければ「2」を履修及び単位修得できない先修条件科目である。
- ④配当表には、必修・選択の区分や、教職課程の科目との関連、その他の諸資格取得に必要な科目とのつながりも表示しているので、各年次の履修計画の目安に従いながら適宜、選択して履修すること。

■専門科目配当表の凡例

区 分	記 号	摘 要
授業形態	L	講義中心の科目
	S	演習中心の科目
	P	実習中心の科目
授業期別	半	半期開講科目（春期・秋期）
	通	通年開講科目
	集	集中授業
必修・選択	必修	コースの必修科目
	選択	コースの選択科目（選択必修科目は備考欄参照）
教職 / 資格	職	教職に関する科目
	社	中学校社会科の教科に関する科目
	保	中・高の保健体育科の教科に関する科目
	地	高等学校地理歴史科の教科に関する科目
	公	高等学校公民科の教科に関する科目
	小	小学校の教科に関する科目
	幼	幼稚園の教科に関する科目
	国	中・高の国語科の教科に関する科目
	書	高等学校の書道科の教科に関する科目
	養	養護に関する科目
	特支	特別支援学校に関する科目
	社教主事	社会教育主事資格の科目
	学芸員	博物館学芸員資格の科目
	司書	図書館司書資格の科目
	司書教諭	学校図書館司書教諭の科目
学校司書	学校司書資格の科目	

■教育学コース科目配当表

(2023 年度以降入学生に適用)

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必修	選択	年次及び単位数					備考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
LEE11001	教育学の基礎A	L	半	2		2				2	
LEE11002	教育学の基礎B	L	半	2		2				2	
LEE12001	人間と教育	L	半	2			2			2	
LEE12002	教育学研究	L	半	2			2			2	
LEE12003	学校安全	L	半	2			2			2	
LEE13001	教育学	L	半	2				2		2	
LEE13002	キャリアデザイン実習	L	半	2				2		2	
LEE13003	教育学演習 1	S	通	2				2		2	
LEE14001	教育学演習 2	S	通	2					2	2	
LEE14002	卒業論文	卒	—	8					8	8	
LEE12004	教育心理学	L	半		2		2			2	職・学校司書
LEE13004	教育哲学	L	半		2			2		2	社・公
LEE11003	教育社会学	L	半		2	2				2	社・公
LEE12005	日本教育史	L	半		2		2			2	社・地
LEE12006	西洋教育史	L	半		2		2			2	社・地
LEE13005	教育行財政	L	半		2			2		2	職
LEE13006	教育方法論 (情報通信技術の活用を含む)	L	半		2		2			2	職
LEE13007	教育経営論	L	半		2			2		2	
LEE13008	教育課程論	L	半		2			2		2	職・学校司書
LEE13009	教育法規研究	L	半		2			2		2	社・公
LEE11004	教育評価	L	半		2	2				2	
LEE11005	国際理解教育	L	半		2	2				2	
LEE12007	環境教育論	L	半		2		2			2	
LEE11006	道徳教育の理論と実践	L	半		2	2				2	職・独自
LEE11007	特別活動の理論と実践	L	半		2	2				2	職
LEE11008	教職論	L	半		2	2				2	職
LEE12008	生徒・進路指導論	L	半		2		2			2	職
LEE12009	生徒指導論 (養)	L	半		2		2			2	職
LEE12010	教育相談	L	半		2		2			2	職
LEE13010	キャリア教育論	L	半		2			2		2	
LEE11009	心理学概説	L	半		2	2				2	公
LEE11010	発達心理学	L	半		2	2				2	
LEE13011	人格心理学	L	半		2			2		2	
LEE13012	臨床心理学	L	半		2			2		2	
LEE12011	社会科・地歴科教育論	L	半		2		2			2	職
LEE12012	社会科・公民科教育論	L	半		2		2			2	職
LEE12013	保健体育科教育論 I	L	半		2		2			2	職
LEE12014	保健体育科教育論 II	L	半		2		2			2	職
LEE11011	人間関係論	L	半		2	2				2	社・公
LEE11012	哲学概説	L	半		2	2				2	社・公
LEE11013	倫理学概説	L	半		2	2				2	社・公
LEE11014	宗教学概説	L	半		2	2				2	社・公
LEE11015	日本倫理想史	L	半		2	2				2	社・地
LEE11016	生涯学習概論A	L	半		2	2				2	社教主事・学芸員・司書
LEE11017	生涯学習概論B	L	半		2	2				2	社教主事
LEE11018	社会的平等と社会教育	L	半		2	2				2	社教主事
LEE11019	多文化共生と社会教育	L	半		2	2				2	社教主事
LEE12015	社会教育経営論 A	L	半		2		2			2	社教主事

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数				備 考	
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次		計
LEE12016	社会教育経営論 B	L	半		2		2			2	社教主事
LEE13013	生涯学習支援論 A	L	半		2			2		2	社教主事
LEE13014	生涯学習支援論 B	L	半		2			2		2	社教主事
LEE11020	体育・スポーツ哲学	L	半		2	2				2	保
LEE11021	体育・スポーツ心理学	L	半		2	2				2	保
LEE11022	体育・スポーツ経営学	L	半		2	2				2	保
LEE11023	体育・スポーツ社会学	L	半		2	2				2	保
LEE12017	運動学（運動方法学を含む）	L	半		2		2			2	保
LEE11024	学校保健	L	半		2	2				2	保・養
LEE13015	精神保健	L	半		2			2		2	保・養
LEE12018	救急処置（学校安全を含む）	L	半		2		2			2	保・養
LEE12019	衛生学	L	半		2		2			2	保・養
LEE12020	公衆衛生学	L	半		2		2			2	保・養
LEE13016	生理学（運動生理学を含む）	L	半		2			2		2	保・養
LEE13017	発育発達論	L	半		2			2		2	保・養
LEE12021	体育・スポーツ測定評価	L	半		2		2			2	保
LEE13018	バイオメカニクス	L	半		2			2		2	保
LEE11025	栄養学	L	半		2	2				2	保・養
LEE13019	健康教育論	L	半		2			2		2	保・養
LEE13020	健康相談活動論	L	半		2			2		2	養
LEE12022	養護教職論	L	半		2		2			2	職
LEE12023	養護概説	L	半		2		2			2	養
LEE11026	解剖学	L	半		2	2				2	養
LEE12024	生化学・微生物学（免疫学を含む）	L	半		2		2			2	養
LEE11027	基礎看護学	L	半		2	2				2	養
LEE13021	思春期・成人保健	L	半		2			2		2	養
LEE13022	小児保健	L	半		2			2		2	養
LEE11028	特別支援教育論	L	半		2	2				2	特支
LEE12025	知的障害者の心理・生理・病理	L	半		2		2			2	特支
LEE12026	知的障害者教育論	L	半		2		2			2	特支
LEE13023	知的障害者指導法 1	L	半		2			2		2	特支
LEE13024	知的障害者指導法 2	L	半		2			2		2	特支
LEE12027	発達障害者支援論	L	半		2		2			2	特支
LEE12028	言語障害教育総論	L	半		2		2			2	特支
LEE13025	視覚障害教育論	L	半		1			1		1	特支
LEE13026	聴覚障害教育論	L	半		1			1		1	特支
LEE13027	病弱者教育論	L	半		2			2		2	特支
LEE13028	肢体不自由者教育論	L	半		2			2		2	特支
LEE12029	知的障害教育総論	L	半		2		2			2	特支
LEE12030	障害児の発達と健康	L	半		2		2			2	特支
LEE12031	病弱者の心理・生理・病理	L	半		2		2			2	特支
LEE12032	肢体不自由者の心理・生理・病理	L	半		2		2			2	特支
LEE13029	重複障害・LD等の心理・生理・病理	L	半		2			2		2	特支
LEE13030	視覚障害者の心理・生理・病理	L	半		1			1		1	特支
LEE13031	聴覚障害者の心理・生理・病理	L	半		1			1		1	特支
LEE12033	情報メディアの活用	L	半		2		2			2	独自・司書教諭
LEE13032	情報サービス演習 (2)	S	半		1			1		1	司書・学校司書
LEE12034	アダプテッド・スポーツ	P	半		1			1		1	保

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数					備考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
LEE11029	ストレンクス&コンディショニング	P	半		1	1				1	保
LEE11030	人間と社会Ⅰ (哲学)	L	半		2	2				2	社・公
LEE11031	人間と社会Ⅱ (倫理学)	L	半		2	2				2	社・公
LEE11032	人間と社会Ⅲ (宗教学)	L	半		2	2				2	社・公
LEE11033	人間と社会Ⅳ (心理学)	L	半		2	2				2	公

教科に関する専門的事項に関する科目 (卒業所要単位に含めない) 教職受講者のみ履修可能科目

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数					備考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
LEX11001	日本歴史A	L	半		2	2				2	社・地
LEX11002	日本歴史B	L	半		2	2				2	社・地
LEX11003	外国史A	L	半		2	2				2	社・地
LEX11004	外国史B	L	半		2	2				2	社・地
LEX12001	グローバルヒストリーA	L	半		2	2				2	社・地
LEX12002	グローバルヒストリーB	L	半		2	2				2	社・地
LEX11005	西洋哲学史入門	L	半		2	2				2	社・地
LEX12003	人間生活の地理学	L	半		2	2				2	社・地
LEX12004	現代地理学と自然環境	L	半		2	2				2	社・地
LEX12005	地誌	L	半		2	2				2	社・地
LEX12006	食と農の地理学	L	半		2	2				2	社・地
LEX12007	防災の地理	L	半		2	2				2	社・地
LEX12008	江戸東京の歴史地理	L	半		2	2				2	社・地
LEX12009	地理情報システム入門	L	半		2	2				2	社・地
LEX13001	法学概論 (国際法を含む)	L	半		2		2			2	社・公
LEX11006	政治学概論 (国際政治を含む)	L	半		2	2				2	社・公
LEX13002	社会学概論	L	半		2		2			2	社・公
LEX11007	経済学概論 (国際経済を含む)	L	半		2	2				2	社・公
LEX11008	体操	P	通		2	2				2	保
LEX11009	水泳	P	通		2	2				2	保
LEX11010	陸上競技	P	通		2	2				2	保
LEX12010	器械運動	P	通		2	2				2	保
LEX11011	柔道	P	通		2	2				2	保
LEX12011	剣道	P	通		2	2				2	保
LEX13003	ダンス	P	通		2		2			2	保
LEX11012	野外活動	P	半		1	1				1	保
LEX13004	バレーボール	P	半		1		1			1	保
LEX13005	バスケットボール	P	半		1		1			1	保
LEX12012	ソフトボール	P	半		1	1				1	保
LEX12013	サッカー	P	半		1	1				1	保
LEX12014	スキー	P	半		1	1				1	保
LEX12015	看護実習1 (事前指導)	P	半		1	1				1	養
LEX13006	看護実習2 (事後指導を含む)	P	半		1		1			1	養

■初等教育コース科目配当表

(2023 年度以降入学生に適用)

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数					備考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
LEE11201	教育学の基礎 A	L	半	2		2				2	
LEE11202	教育学の基礎 B (初等教育)	L	半	2		2				2	独自
LEE11203	教育基礎論	L	半	2		2				2	職・学校司書
LEE13201	教育課程論 (小)	L	半	2				2		2	職・学校司書
LEE12201	教育心理学	L	半	2			2			2	職・学校司書
LEE12202	発達心理学	L	半		2	2				2	職
LEE13202	特別支援教育概論 (幼・小)	L	半		2			2		2	職・学校司書
LEE13203	教育行財政	L	半		2			2		2	職
LEE13204	教育経営論	L	半		2			2		2	
LEE13205	日本教育史	L	半		2			2		2	
LEE11204	西洋教育史	L	半		2	2				2	
LEE11205	教育社会学	L	半		2	2				2	
LEE12203	教育方法と情報技術	L	半		2		2			2	職
LEE12204	国際理解教育	L	半		2		2			2	
LEE12205	環境教育論	L	半		2		2			2	
LEE11206	生涯学習概論 A	L	半		2	2				2	社教主事・学芸員・司書
LEE11207	生涯学習概論 B	L	半		2	2				2	社教主事
LEE12206	教科教育法 (国語)	L	半		2		2			2	職
LEE13206	教科教育法 (社会)	L	半		2			2		2	職
LEE12207	教科教育法 (算数)	L	半		2		2			2	職
LEE13207	教科教育法 (理科)	L	半		2			2		2	職
LEE12208	教科教育法 (生活)	L	半		2		2			2	職
LEE13208	教科教育法 (音楽)	L	半		2			2		2	職
LEE13209	教科教育法 (図画工作)	L	半		2			2		2	職
LEE13210	教科教育法 (家庭)	L	半		2			2		2	職
LEE13211	教科教育法 (体育)	L	半		2			2		2	職
LEE13212	教科教育法 (英語)	L	半		2			2		2	職
LEE12209	道徳教育の理論と実践 (小)	L	半		2		2			2	職
LEE11208	特別活動の理論と実践 (小)	L	半		2	2				2	職
LEE13213	生徒・進路指導論 (小)	L	半		2			2		2	職
LEE13214	教育相談 (小)	L	半		2			2		2	職
LEE12210	教職論	L	半		2		2			2	職
LEE14201	教職実践演習 (幼・小)	S	半		2				2	2	職
LEE13215	総合的な学習の時間の指導法 (小)	L	半		2			2		2	職
LEE11209	幼児教育課程論 A	L	半		2	2				2	職
LEE11210	幼児教育課程論 B	L	半		2	2				2	職
LEE13216	保育内容 (健康)	L	半		2			2		2	職
LEE12211	保育内容 (人間関係)	L	半		2		2			2	職
LEE12212	保育内容 (環境)	L	半		2		2			2	職
LEE13217	保育内容 (言葉)	L	半		2			2		2	職
LEE13218	保育内容 (表現)	L	半		2			2		2	職
LEE13219	幼児教育法 A	L	半		2			2		2	職
LEE13220	幼児教育法 B	L	半		2			2		2	職
LEE12213	幼児と健康	L	半		1		1			1	幼
LEE11211	幼児と人間関係	L	半		1	1				1	幼
LEE11212	幼児と環境	L	半		1	1				1	幼
LEE12214	幼児と言葉	L	半		1		1			1	幼
LEE12215	幼児と表現	L	半		2		2			2	幼
LEE12216	幼児教育相談 (幼児理解を含む)	L	半		2		2			2	職
LEE13221	教育実習 I (事前指導)	P	半		1			1		1	職
LEE14202	教育実習 II (事後指導を含む)	P	半		4				4	4	職

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授 業 期 別	必 修	選 択	年次及び単位数				備 考	
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次		計
LEE14203	教育実習Ⅳ（事後指導を含む）	P	半		2				2	2	職
LEE14204	特別教育実習（事後指導を含む）	P	半		6				6	6	職 注1
LEE11213	国語概論	L	半	2		2				2	小
LEE12217	国語の理論と実践	L	半	2			2			2	小
LEE13222	国語演習（教材研究と授業）	S	半		1			1		1	
LEE13223	国語演習（授業構成と評価）	S	半		1			1		1	
LEE13224	文章表現法	L	半		2			2		2	
LEE11214	書写実習	P	半	1		1				1	小
LEE12218	社会科概論	L	半	2			2			2	小
LEE12219	社会科の理論と実践	L	半	2			2			2	小
LEE13225	社会科演習（学習活動）	S	半		1			1		1	
LEE13226	社会科演習（教材開発）	S	半		1			1		1	
LEE11215	算数概論	L	半	2		2				2	小
LEE12220	算数の理論と実践	L	半	2			2			2	小
LEE13227	算数演習（基礎）	S	半		1			1		1	
LEE13228	算数演習（応用）	S	半		1			1		1	
LEE11216	理科概論	L	半	2		2				2	小
LEE12221	理科の理論と実践	L	半	2			2			2	小
LEE13229	理科演習（理科教育論）	S	半		1			1		1	
LEE13230	理科演習（観察・実験）	S	半		1			1		1	
LEE11217	生活科概論	L	半	2		2				2	小
LEE11218	音楽の基礎	L	半	2		2				2	小
LEE11219	音楽の理論と実践	L	半		2	2				2	小
LEE12222	こどもと音楽	P	半		1		1			1	独自
LEE12223	器楽	P	半		1		1			1	独自
LEE11220	図工の基礎	L	半	2		2				2	小
LEE11221	図工の理論と実践	L	半		2	2				2	小
LEE12224	こどもと造形	P	半		1		1			1	独自
LEE12225	美術	P	半		1		1			1	独自
LEE12226	家庭科概論	L	半	2			2			2	小
LEE13231	家庭科実習	P	半		1			1		1	小
LEE12227	体育科の基礎	L	半	2			2			2	小
LEE12228	体育科の理論と実践	L	半		2		2			2	小
LEE13232	体育運動方法A	P	半		1			1		1	小
LEE13233	体育運動方法B	P	半		1			1		1	小
LEE12229	英語概論	L	半	2			2			2	小
LEE12230	学校インターンシップ	P	通		2		2			2	
LEE13234	卒業研究Ⅰ	S	通	2				2		2	注2
LEE14205	卒業研究Ⅱ	S	通	2					2	2	注2

注1 「特別教育実習」は、東京教師養成塾生及び埼玉教員養成セミナー受講生に適用される。

注2 「卒業研究」は、国語、社会・総合、算数、理科、音楽、図画工作、体育、健康、道徳・特別活動、幼児教育・生活のうち1つを選択し、2年間にわたって履修するものとする。

■考古・日本史学コース科目配当表

(2024年度以降入学生に適用)

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数					備考
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	計	
LEH14301	卒業論文	卒	一	8					8	8	
LEH11301	日本歴史A	L	半	2		2				2	社・地
LEH11302	日本歴史B	L	半	2		2				2	社・地
LEH11303	日本史学の基礎(前近代)	L	半	2		2				2	社・地
LEH11304	日本史学の基礎(近現代)	L	半	2		2				2	社・地
LEH11305	外国史A	L	半		2	2				2	社・地
LEH11306	外国史B	L	半		2	2				2	社・地
LEH12301	グローバルヒストリーA	L	半		2		2			2	社・地
LEH12302	グローバルヒストリーB	L	半		2		2			2	社・地
LEH11307	考古学の基礎	L	半		2	2				2	社・地・学芸員
LEH13301	日本考古学A	L	半		2			2		2	
LEH13302	日本考古学B	L	半		2			2		2	
LEH13303	日本古代史A	L	半		2			2		2	
LEH13304	日本古代史B	L	半		2			2		2	
LEH13305	日本中世史A	L	半		2			2		2	
LEH13306	日本中世史B	L	半		2			2		2	
LEH13307	日本近世史A	L	半		2			2		2	
LEH13308	日本近世史B	L	半		2			2		2	
LEH13309	日本近代史A	L	半		2			2		2	
LEH13310	日本近代史B	L	半		2			2		2	
LEH13311	日本現代史A	L	半		2			2		2	
LEH13312	日本現代史B	L	半		2			2		2	
LEH13313	ヨーロッパ近現代史A	L	半		2			2		2	
LEH13314	ヨーロッパ近現代史B	L	半		2			2		2	
LEH13315	中国近世史A	L	半		2			2		2	
LEH13316	中国近世史B	L	半		2			2		2	
LEH11308	日本文化の歴史A	L	半		2	2				2	学芸員
LEH11309	日本文化の歴史B	L	半		2	2				2	学芸員
LEH12303	日本の民俗	L	半		2		← 2 →			2	
LEH12304	文化と伝承	L	半		2		← 2 →			2	
LEH11310	歴史の中のジェンダーA	L	半		2	2				2	
LEH13317	歴史の中のジェンダーB	L	半		2			2		2	
LEH11311	地域と歴史A	L	半		2	2				2	
LEH13318	地域と歴史B	L	半		2			2		2	
LEH12305	国際交流の歴史	L	半		2		← 2 →			2	
LEH12306	産業と流通の歴史	L	半		2		← 2 →			2	
LEH13319	史料と史料学A	L	半		2			2		2	
LEH13320	史料と史料学B	L	半		2			2		2	
LEH13321	アーカイブズ学1	L	半		2			2		2	学芸員
LEH13322	アーカイブズ学2	L	半		2			2		2	学芸員
LEH11312	地理学総論	L	半		2	2				2	
LEH11313	人文地理学入門	L	半		2	2				2	
LEH11314	自然地理学入門	L	半		2	2				2	
LEH12307	東京の自然環境	L	半		2		2			2	
LEH12308	地表環境の生い立ち	L	半		2		2			2	
LEH12309	防災の地理	L	半		2		2			2	社・地
LEH12310	日本の水環境	L	半		2		← 2 →			2	
LEH12311	沖縄の自然環境	L	半		2		← 2 →			2	
LEH13323	グローバルな気候環境	L	半		2			2		2	
LEH13324	地域の気候と災害	L	半		2			2		2	
LEH13325	第四紀の自然史	L	半		2			2		2	

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数				備 考
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
LEH13326	日本の植生環境	L	半		2			2	2	
LEH13327	地域の生態環境	L	半		2			2	2	
LEH13328	地生態の地理	L	半		2			2	2	
LEH11315	自然保護と環境アセスメント	L	半		2	2			2	
LEH12312	江戸東京の歴史地理	L	半		2				2	社・地
LEH12313	交通の発達と環境	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12314	経済と人間生活	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12315	世界の社会と経済	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12316	食と農の地理学	L	半		2	2			2	社・地
LEH12317	農村空間と社会	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12318	都市空間と社会	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12319	社会環境と人間	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12320	レクリエーションと環境	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12321	旅の地理学	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12322	環境イメージ論	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12323	民俗と文化の地理学	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12324	環境と文化	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12325	持続可能な地域づくり	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12326	地球環境保全論	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH13329	歴史景観と環境	L	半		2			2	2	
LEH13330	地域計画と住民参加	L	半		2			2	2	
LEH13331	地域の環境と防災	L	半		2			2	2	
LEH11316	日本の地誌	L	半		2	2			2	
LEH11317	日本の景観と社会	L	半		2	2			2	
LEH12327	アジアの環境と人間生活	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12328	ヨーロッパの環境と人間生活	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12329	北アメリカの環境と人間生活	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12330	オセアニアの環境と人間生活	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12331	熱帯・乾燥地域の環境と人間生活	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH11318	地図学	L	半		2	2			2	
LEH11319	地形図判読法	L	半		2	2			2	
LEH11320	地図製作法	L	半		2	2			2	
LEH12332	空中写真判読	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12333	環境データ分析法	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH13332	社会調査とデータ分析法	L	半		2			2	2	
LEH13333	計量地理学	L	半		2			2	2	
LEH12334	環境リモートセンシング	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12335	環境リモートセンシング応用	L	半		2		← 2	→ 2		
LEH12336	地理情報システム入門	L	半		2	2			2	社・地
LEH13334	地理情報システム	L	半		2			2	2	
LEH13335	地理情報システム応用	L	半		2			2	2	
LEH12337	人間生活の地理学	L	半		2	2			2	社・地
LEH12338	現代地理学と自然環境	L	半		2	2			2	社・地
LEH12339	地誌	L	半		2	2			2	社・地
LEH11321	人間と社会Ⅰ（哲学）	L	半		2	2			2	社
LEH11322	人間と社会Ⅱ（倫理学）	L	半		2	2			2	社
LEH11323	人間と社会Ⅲ（宗教学）	L	半		2	2			2	社
LEH11324	日本倫理思想史	L	半		2	2			2	社・地
LEH11325	西洋哲学史入門	L	半		2	2			2	社・地
LEH12340	考古学資料を読む1	L	半		2	2			2	
LEH12341	古代史料を読む1	L	半		2	2			2	

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数					備考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
LEH12342	中世史料を読む 1	L	半		2		2			2	
LEH12343	近世史料を読む 1	L	半		2		2			2	
LEH12344	近代史料を読む 1	L	半		2		2			2	5科目以上選択必修
LEH12345	現代史料を読む 1	L	半		2		2			2	
LEH12346	外国史料を読む 1	L	半		2		2			2	
LEH12347	考古学資料を読む 2	L	半		2		2			2	
LEH12348	古代史料を読む 2	L	半		2		2			2	
LEH12349	中世史料を読む 2	L	半		2		2			2	
LEH12350	近世史料を読む 2	L	半		2		2			2	1科目以上選択必修
LEH12351	近代史料を読む 2	L	半		2		2			2	
LEH12352	現代史料を読む 2	L	半		2		2			2	
LEH12353	外国史料を読む 2	L	半		2		2			2	
LEH11326	史科学実習 I	P	通		2	2				2	
LEH12354	史科学実習 II	P	通		2		2			2	
LEH13339	史科学実習 III	P	半		1			1		1	
LEH13340	史科学実習 IV	P	半		1			1		1	
LEH11327	考古学実習 I	P	通		2	2				2	
LEH12355	考古学実習 II	P	通		2		2			2	
LEH13336	考古学実習 III	P	通		2			2		2	
LEH14302	考古学実習 IV	P	通		2				2	2	
LEH13337	歴史学演習 1	S	通		2			2		2	1科目選択必修
LEH13338	考古学演習 1	S	通		2			2		2	
LEH14303	歴史学演習 2	S	通		2				2	2	1科目選択必修
LEH14304	考古学演習 2	S	通		2				2	2	

教科に関する専門的事項に関する科目（卒業所要単位に含めない） 教職受講者のみ履修可能科目

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数					備考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
LEX13301	法学概論（国際法を含む）	L	半		2			2		2	社
LEX11301	政治学概論（国際政治を含む）	L	半		2	2				2	社
LEX13502	社会学概論	L	半		2			2		2	社
LEX11502	経済学概論（国際経済を含む）	L	半		2	2				2	社

■地理・環境コース科目配当表

(2023 年度以降入学生に適用)

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必修	選択	年次及び単位数					備考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
											※印の 58 科目 113 単 位のうち 28 科目 56 単位以上選択必修
LEH14501	卒業論文	卒	—	8					8	8	
LEH11501	日本歴史 A	L	半		2	2				2	社・地
LEH11502	日本歴史 B	L	半		2	2				2	社・地
LEH11503	日本史学の基礎 (前近代)	L	半		2	2				2	社・地
LEH11504	日本史学の基礎 (近現代)	L	半		2	2				2	社・地
LEH11505	外国史 A	L	半		2	2				2	社・地
LEH11506	外国史 B	L	半		2	2				2	社・地
LEH12501	グローバルヒストリー A	L	半		2		2			2	社・地
LEH12502	グローバルヒストリー B	L	半		2		2			2	社・地
LEH11507	考古学の基礎	L	半		2	2				2	社・地・学芸員
LEH13501	日本考古学 A	L	半		2			2		2	
LEH13502	日本考古学 B	L	半		2			2		2	
LEH13503	日本古代史 A	L	半		2			2		2	
LEH13504	日本古代史 B	L	半		2			2		2	
LEH13505	日本中世史 A	L	半		2			2		2	
LEH13506	日本中世史 B	L	半		2			2		2	
LEH13507	日本近世史 A	L	半		2			2		2	
LEH13508	日本近世史 B	L	半		2			2		2	
LEH13509	日本近代史 A	L	半		2			2		2	
LEH13510	日本近代史 B	L	半		2			2		2	
LEH13511	日本現代史 A	L	半		2			2		2	
LEH13512	日本現代史 B	L	半		2			2		2	
LEH13513	ヨーロッパ近現代史 A	L	半		2			2		2	
LEH13514	ヨーロッパ近現代史 B	L	半		2			2		2	
LEH13515	中国近世史 A	L	半		2			2		2	
LEH13516	中国近世史 B	L	半		2			2		2	
LEH11508	日本文化の歴史 A	L	半		2	2				2	学芸員
LEH11509	日本文化の歴史 B	L	半		2	2				2	学芸員
LEH12503	日本の民俗	L	半		2		← 2	→		2	
LEH12504	文化と伝承	L	半		2		← 2	→		2	
LEH11510	歴史の中のジェンダー A	L	半		2	2				2	
LEH13517	歴史の中のジェンダー B	L	半		2			2		2	
LEH11511	地域と歴史 A	L	半		2	2				2	
LEH13518	地域と歴史 B	L	半		2			2		2	
LEH12505	国際交流の歴史	L	半		2		← 2	→		2	
LEH12506	産業と流通の歴史	L	半		2		← 2	→		2	
LEH13519	史料と史料学 A	L	半		2			2		2	
LEH13520	史料と史料学 B	L	半		2			2		2	
LEH13521	アーカイブズ学 1	L	半		2			2		2	学芸員
LEH13522	アーカイブズ学 2	L	半		2			2		2	学芸員
LEH11512	地理学総論	L	半	2	2					2	
LEH11513	人文地理学入門	L	半	2	2					2	
LEH11514	自然地理学入門	L	半	2	2					2	
LEH12507	東京の自然環境	L	半		2		2			2	※
LEH12508	地表環境の生い立ち	L	半		2		2			2	※
LEH12509	防災の地理	L	半		2		2			2	社・地
LEH12510	日本の水環境	L	半		2		← 2	→		2	※
LEH12511	沖縄の自然環境	L	半		2		← 2	→		2	※

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数				備考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
LEH13523	グローバルな気候環境	L	半		2			2	2	※
LEH13524	地域の気候と災害	L	半		2			2	2	※
LEH13525	第四紀の自然史	L	半		2			2	2	※
LEH13526	日本の植生環境	L	半		2			2	2	※
LEH13527	地域の生態環境	L	半		2			2	2	※
LEH13528	地生態の地理	L	半		2			2	2	※
LEH11515	自然保護と環境アセスメント	L	半		2	2			2	※
LEH12512	江戸東京の歴史地理	L	半		2		2		2	社・地 ※
LEH12513	交通の発達と環境	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12514	経済と人間生活	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12515	世界の社会と経済	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12516	食と農の地理学	L	半		2		2		2	社・地 ※
LEH12517	農村空間と社会	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12518	都市空間と社会	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12519	社会環境と人間	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12520	レクリエーションと環境	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12521	旅の地理学	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12522	環境イメージ論	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12523	民俗と文化の地理学	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12524	環境と文化	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12525	持続可能な地域づくり	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12526	地球環境保全論	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH13529	歴史景観と環境	L	半		2			2	2	※
LEH13530	地域計画と住民参加	L	半		2			2	2	※
LEH13531	地域の環境と防災	L	半		2			2	2	※
LEH11516	日本の地誌	L	半		2	2			2	※
LEH11517	日本の景観と社会	L	半		2	2			2	※
LEH12527	アジアの環境と人間生活	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12528	ヨーロッパの環境と人間生活	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12529	北アメリカの環境と人間生活	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12530	オセアニアの環境と人間生活	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12531	熱帯・乾燥地域の環境と人間生活	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH11518	地図学	L	半		2	2			2	※
LEH11519	地形図判読法	L	半		2	2			2	※
LEH11520	地図製作法	L	半		2	2			2	※
LEH12532	空中写真判読	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12533	環境データ分析法	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH13532	社会調査とデータ分析法	L	半		2			2	2	※
LEH13533	計量地理学	L	半		2			2	2	※
LEH12534	環境リモートセンシング	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12535	環境リモートセンシング応用	L	半		2		← 2 →		2	※
LEH12536	地理情報システム入門	L	半		2	2			2	社・地 ※
LEH13534	地理情報システム	L	半		2			2	2	※
LEH13535	地理情報システム応用	L	半		2			2	2	※
LEH12537	人間生活の地理学	L	半		2	2			2	社・地 ※
LEH12538	現代地理学と自然環境	L	半		2	2			2	社・地 ※
LEH12539	地誌	L	半		2	2			2	社・地 ※
LEH11521	人間と社会Ⅰ（哲学）	L	半		2	2			2	社
LEH11522	人間と社会Ⅱ（倫理学）	L	半		2	2			2	社
LEH11523	人間と社会Ⅲ（宗教学）	L	半		2	2			2	社
LEH11524	日本倫理思想史	L	半		2	2			2	社・地

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数					備考
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	計	
LEH11525	西洋哲学史入門	L	半		2	2				2	社・地
LEH11526	地理学野外実習A	P	集	2		2				2	
LEH12540	地理学野外実習B	P	集	2			2			2	
LEH13536	地理学野外実習C	P	集	2				2		2	
LEH12541	地理学野外実習D	P	集		2	2				2	※
LEH11527	地理学入門ゼミ	S	半	1		1				1	
LEH13537	地理学演習1	S	半	1				1		1	
LEH13538	地理学演習2	S	半	1				1		1	
LEH14502	地理学演習3	S	半	1					1	1	
LEH14503	地理学演習4	S	半	1					1	1	
LEH12542	測量学1	L	半		2	2				2	※
LEH13539	測量学2	L	半		2		2			2	※
LEH12543	測量実習1	P	半		1	1				1	※
LEH13540	測量実習2	P	半		1		1			1	※
LEH13541	測量実習3	P	集		1		1			1	※
LEH12544	地域調査法	L	半	2			2			2	
LEH12545	自然環境調査法	L	半	2			2			2	

教科に関する専門的事項に関する科目（卒業所要単位に含めない） 教職受講者のみ履修可能科目

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数					備考
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	計	
LEX13501	法律学概論（国際法を含む）	L	半		2			2		2	社
LEX11501	政治学概論（国際政治を含む）	L	半		2	2				2	社
LEX13502	社会学概論	L	半		2			2		2	社
LEX11502	経済学概論（国際経済を含む）	L	半		2	2				2	社

■日本文学・文化コース科目配当表

(2024年度以降入学生に適用)

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必修	選択	年次及び単位数					備考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
LEL11701	日本文学・文化入門 A	L	半	2		2				2	
LEL11702	日本文学・文化入門 B	L	半	2		2				2	
LEL11703	日本文学史(上代)	L	半	2		2				2	国・書
LEL11704	日本文学史(中古)	L	半	2		2				2	国・書
LEL12701	日本文学史(中世)	L	半	2			2			2	国・書
LEL12702	日本文学史(近世)	L	半	2			2			2	国・書
LEL13701	日本文学史(近代前期)	L	半	2				2		2	国・書
LEL13702	日本文学史(近代後期)	L	半	2				2		2	国・書
LEL11705	日本語学概論(文字・音声)	L	半	2		2				2	国
LEL11706	日本語学概論(文法・語彙)	L	半	2		2				2	国
LEL13703	日本文学・文化演習Ⅰ	S	通	2				2		2	
LEL14701	日本文学・文化演習Ⅱ	S	通	2					2	2	
LEL14702	卒業論文	卒	一	8					8	8	
LEL11707	日本上代文学を読む(奈良前期)	L	半		2	2				2	
LEL11708	日本上代文学を読む(奈良後期)	L	半		2	2				2	
LEL11709	日本中古文学を読む(平安前中期)	L	半		2	2				2	
LEL11710	日本中古文学を読む(平安中後期)	L	半		2	2				2	
LEL11711	日本中世文学を読む(鎌倉期)	L	半		2	2				2	
LEL11712	日本中世文学を読む(室町期)	L	半		2	2				2	
LEL11713	日本近世文学を読む(江戸前期)	L	半		2	2				2	
LEL11714	日本近世文学を読む(江戸後期)	L	半		2	2				2	
LEL11715	日本近代文学を読む(明治・大正期)	L	半		2	2				2	
LEL11716	日本近代文学を読む(昭和戦前期)	L	半		2	2				2	6科目
LEL11717	日本現代文学を読む(昭和戦後期)	L	半		2	2				2	12単位以上
LEL11718	日本現代文学を読む(平成以降)	L	半		2	2				2	選択必修
LEL11719	日本漢文学を読む(古代・中世)	L	半		2	2				2	
LEL11720	日本漢文学を読む(近世・近代)	L	半		2	2				2	
LEL11721	日本思想を読む(古代・中世)	L	半		2	2				2	
LEL11722	日本思想を読む(近世・近代)	L	半		2	2				2	
LEL11723	日本語学講読(基礎)	L	半		2	2				2	国
LEL11724	日本語学講読(応用)	L	半		2	2				2	国
LEL12703	日本語の歴史(上代～中世)	L	半		2		2			2	国
LEL12704	日本語の歴史(近世～現代)	L	半		2		2			2	国
LEL12705	日本文学概論(基礎)	L	半		2		2			2	国・書
LEL12706	日本文学概論(応用)	L	半		2		2			2	国・書
LEL11725	情報文化論(基礎)	L	半		2	2				2	
LEL11726	情報文化論(応用)	L	半		2	2				2	
LEL13704	日本中古文化論(平安前中期)	L	半		2			2		2	国・書
LEL13705	日本中古文化論(平安中後期)	L	半		2			2		2	国・書
LEL13706	日本中世文化論(鎌倉期)	L	半		2			2		2	国・書
LEL13707	日本中世文化論(室町期)	L	半		2			2		2	国・書
LEL13708	日本近世文化論(江戸前期)	L	半		2			2		2	国・書
LEL13709	日本近世文化論(江戸後期)	L	半		2			2		2	国・書
LEL13710	日本近代文化論(明治・大正期)	L	半		2			2		2	国・書
LEL13711	日本近代文化論(昭和戦前期)	L	半		2			2		2	国・書

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数				備考
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
LEL13712	日本現代文化論(昭和戦後期)	L	半		2			2	2	国・書
LEL13713	日本現代文化論(平成以降)	L	半		2			2	2	国・書
LEL13714	古典文学の世界(作家)	L	半		2			2	2	
LEL13715	古典文学の世界(作品)	L	半		2			2	2	
LEL13716	近代文学の世界(作家)	L	半		2			2	2	
LEL13717	近代文学の世界(作品)	L	半		2			2	2	
LEL13718	現代文学の世界(作家)	L	半		2			2	2	
LEL13719	現代文学の世界(作品)	L	半		2			2	2	
LEL13720	日本語学特講(文字・音声)	L	半		2			2	2	
LEL13721	日本語学特講(文法・語彙)	L	半		2			2	2	
LEL11727	漢文学概説(中国古典)	L	半		2	2			2	国・書
LEL11728	漢文学概説(日本漢文)	L	半		2	2			2	国・書
LEL13722	日本漢文学史(古代、中世)	L	半		2			2	2	国・書
LEL13723	日本漢文学史(近世、近代)	L	半		2			2	2	国・書
LEL11729	比較文化A	L	半		2	2			2	
LEL11730	比較文化B	L	半		2	2			2	
LEL13724	現代文化の表現(理論)	S	半		1			1	1	
LEL13725	現代文化の表現(実践)	S	半		1			1	1	
LEL12707	現代日本文化(サブカルチャー)	L	半		2		2		2	
LEL12708	日本語の文法(現代)	L	半		2		2		2	国
LEL12709	日本語の文法(古典)	L	半		2		2		2	国
LEL12710	文章表現(標準)	L	半		2		2		2	
LEL12711	文章表現(応用)	L	半		2		2		2	
LEL11731	国語科基礎論	L	半		2	2			2	
LEL11732	書の歴史	L	半		2	2			2	書
LEL12712	書道実習	P	半		2		← 2 →		2	国・書
LEL12713	書道の今昔	L	半		2		2		2	国・書
LEL12714	児童文学	L	半		2		2		2	
LEL12715	映像文化(前期)	L	半		2		← 2 →		2	
LEL12716	映像文化(後期)	L	半		2		← 2 →		2	
LEL12717	言語情報論	L	半		2		2		2	
LEL13726	日本文化データベース	L	半		2			2	2	
LEL13727	日本文化画像処理	L	半		2			2	2	
LEL13728	武士の思想と文化(中世)	L	半		2			2	2	
LEL13729	武士の思想と文化(近世)	L	半		2			2	2	
LEL13730	日本芸能史(前期)	L	半		2			2	2	国・書
LEL13731	日本芸能史(後期)	L	半		2			2	2	国・書
LEL13732	日本美術史(前期)	L	半		2			2	2	書・学芸員
LEL13733	日本美術史(後期)	L	半		2			2	2	書・学芸員
LEL13734	異文化コミュニケーションA	L	半		2			2	2	
LEL13735	異文化コミュニケーションB	L	半		2			2	2	
LEL13736	書誌学	L	半		2			2	2	書
LEL12718	書の名筆を学ぶ	L	半		2		← 2 →		2	書
LEL12719	文字を学ぶ(候文を読む)	L	半		2		2		2	書
LEL12720	文字を学ぶ(くずし字を読む)	L	半		2		2		2	書
LEL13737	中国古典を学ぶ	L	半		2			2	2	

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数				備考
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
LEL13738	江戸儒学を学ぶ	L	半		2			2	2	
LEL11733	日本歴史A	L	半		2	2			2	
LEL11734	日本歴史B	L	半		2	2			2	
LEL11735	日本文化の歴史A	L	半		2	2			2	学芸員
LEL11736	日本文化の歴史B	L	半		2	2			2	学芸員
LEL12721	日本の民俗	L	半		2		← 2	→	2	
LEL12722	文化と伝承	L	半		2		← 2	→	2	
LEL11737	歴史の中のジェンダーA	L	半		2	2			2	
LEL13739	歴史の中のジェンダーB	L	半		2			2	2	
LEL11738	地域と歴史A	L	半		2	2			2	
LEL13740	地域と歴史B	L	半		2			2	2	
LEL12723	国際交流の歴史	L	半		2		← 2	→	2	
LEL12724	江戸東京の歴史地理	L	半		2	2			2	
LEL13741	歴史景観と環境	L	半		2			2	2	
LEL11739	日本の景観と社会	L	半		2	2			2	

■教育学科・史学地理学科・文学科（共通）科目配当表

(2023年度以降入学生に適用)

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必修	選択	年次及び単位数					除コース
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
LEZ11801	国際理解教育	L	半		2	2				2	教・初
LEZ11802	哲学概説	L	半		2	2				2	教
LEZ11803	倫理学概説	L	半		2	2				2	教
LEZ11804	宗教学概説	L	半		2	2				2	教
LEZ11805	日本倫理思想史	L	半		2	2				2	教・考・地
LEZ11806	初めてのギリシヤ哲学	L	半		2	2				2	
LEZ11807	名著で学ぶギリシヤ哲学	L	半		2	2				2	
LEZ11808	初めてのドイツ哲学	L	半		2	2				2	
LEZ11809	名著で学ぶドイツ哲学	L	半		2	2				2	
LEZ11810	環境倫理学の挑戦	L	半		2	2				2	
LEZ11811	ともに考える環境倫理学	L	半		2	2				2	
LEZ11812	生涯学習概論A	L	半		2	2				2	教・初
LEZ11813	生涯学習概論B	L	半		2	2				2	教・初
LEZ12801	環境教育論	L	半		2		2			2	初・教
LEZ13801	日本考古学A	L	半		2			2		2	考・地
LEZ13802	日本考古学B	L	半		2			2		2	考・地
LEZ13803	日本古代史A	L	半		2			2		2	考・地
LEZ13804	日本古代史B	L	半		2			2		2	考・地
LEZ13805	日本中世史A	L	半		2			2		2	考・地
LEZ13806	日本中世史B	L	半		2			2		2	考・地
LEZ13807	日本近世史A	L	半		2			2		2	考・地
LEZ13808	日本近世史B	L	半		2			2		2	考・地
LEZ13809	日本近代史A	L	半		2			2		2	考・地
LEZ13810	日本近代史B	L	半		2			2		2	考・地
LEZ13811	日本現代史A	L	半		2			2		2	考・地
LEZ13812	日本現代史B	L	半		2			2		2	考・地
LEZ11814	日本文化の歴史A	L	半		2	2				2	考・地・日
LEZ11815	日本文化の歴史B	L	半		2	2				2	考・地・日
LEZ12802	日本の民俗	L	半		2		← 2 →			2	考・地・日
LEZ12803	文化と伝承	L	半		2		← 2 →			2	考・地・日
LEZ11816	歴史の中のジェンダーA	L	半		2	2				2	考・地・日
LEZ13813	歴史の中のジェンダーB	L	半		2			2		2	考・地・日
LEZ11817	地域と歴史A	L	半		2	2				2	考・地・日
LEZ13814	地域と歴史B	L	半		2			2		2	考・地・日
LEZ12804	国際交流の歴史	L	半		2		← 2 →			2	考・地・日
LEZ12805	産業と流通の歴史	L	半		2		← 2 →			2	考・地
LEZ13815	史料と史料学A	L	半		2			2		2	考・地
LEZ13816	史料と史料学B	L	半		2			2		2	考・地
LEZ13817	アーカイブズ学1	L	半		2			2		2	考・地
LEZ13818	アーカイブズ学2	L	半		2			2		2	考・地
LEZ12806	東京の自然環境	L	半		2		2			2	地・考
LEZ12807	地表環境の生い立ち	L	半		2	2				2	地・考
LEZ12808	日本の水環境	L	半		2		← 2 →			2	地・考
LEZ12809	沖縄の自然環境	L	半		2		← 2 →			2	地・考
LEZ13819	グローバルな気候環境	L	半		2			2		2	地・考
LEZ13820	地域の気候と災害	L	半		2			2		2	地・考
LEZ13821	第四紀の自然史	L	半		2			2		2	地・考
LEZ13822	日本の植生環境	L	半		2			2		2	地・考
LEZ13823	地域の生態環境	L	半		2			2		2	地・考
LEZ12810	交通の発達と環境	L	半		2		← 2 →			2	地・考
LEZ12811	経済と人間生活	L	半		2		← 2 →			2	地・考

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授 業 期 別	必 修	選 択	年次及び単位数				除コース
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
LEZ12812	世界の社会と経済	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ12813	農村空間と社会	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ12814	都市空間と社会	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ12815	社会環境と人間	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ12816	レクリエーションと環境	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ12817	旅の地理学	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ12818	環境イメージ論	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ12819	民俗と文化の地理学	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ12820	環境と文化	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ12821	持続可能な地域づくり	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ12822	地球環境保全論	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ13824	歴史景観と環境	L	半		2			2	2	地・考・日
LEZ13825	地域計画と住民参加	L	半		2			2	2	地・考
LEZ13826	地域の環境と防災	L	半		2			2	2	地・考
LEZ11818	日本の地誌	L	半		2	2			2	地・考
LEZ11819	日本の景観と社会	L	半		2	2			2	地・考・日
LEZ12823	アジアの環境と人間生活	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ12824	ヨーロッパの環境と人間生活	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ12825	北アメリカの環境と人間生活	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ12826	オセアニアの環境と人間生活	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ12827	熱帯・乾燥地域の環境と人間生活	L	半		2		← 2 →		2	地・考
LEZ13827	武士の思想と文化（中世）	L	半		2			2	2	日
LEZ13828	武士の思想と文化（近世）	L	半		2			2	2	日
LEZ13829	日本芸能史（前期）	L	半		2			2	2	日
LEZ13830	日本芸能史（後期）	L	半		2			2	2	日
LEZ13831	日本美術史（前期）	L	半		2			2	2	日
LEZ13832	日本美術史（後期）	L	半		2			2	2	日
LEZ13833	異文化コミュニケーションA	L	半		2			2	2	日
LEZ13834	異文化コミュニケーションB	L	半		2			2	2	日
LEZ13835	書誌学	L	半		2			2	2	日
LEZ12828	書の名筆を学ぶ	L	半		2		← 2 →		2	日
LEZ12829	文字を学ぶ（候文を読む）	L	半		2	2			2	日
LEZ12830	文字を学ぶ（くずし字を読む）	L	半		2	2			2	日
LEZ13836	中国古典を学ぶ	L	半		2			2	2	日
LEZ13837	江戸儒学を学ぶ	L	半		2			2	2	日
LEZ13838	文芸創作1（理論）	S	半		1			1	1	
LEZ13839	文芸創作2（実践）	S	半		1			1	1	
LEZ12831	文学理論の探求	L	半		2	2			2	
LEZ12832	日本文学の海外伝播	L	半		2	2			2	
LEZ12833	中国語会話	L	半		2	2			2	
LEZ12834	中国の思想入門	L	半		2	2			2	
LEZ12835	中国の文学入門	L	半		2	2			2	
LEZ11820	比較文学A	L	半		2	2			2	
LEZ11821	比較文学B	L	半		2	2			2	
LEZ11822	現代外国事情A	L	半		2	2			2	
LEZ11823	現代外国事情B	L	半		2	2			2	

※学部共通科目とは、コース枠にとられず、どのコースの学生でも共通に受講（選択履修）できる授業科目である。学部共通科目は、学問研究の学際的傾向に伴って、高度で幅広い専門的基礎的知識を身につけた人材育成が求められており、こうした社会的ニーズに対応して導入されたものである。

履修にあたっては、各自の履修目的の必要性に応じて選択履修することが望ましく、修得単位については、各コースの卒業に必要な専門科目の選択科目として、12単位（上記科目のなかで自コース授業科目以外）を上限に算定され、12単位を越えた単位については随意科目扱いとなり卒業所要単位にならないので注意する。

■ 随意科目（卒業所要単位にならない）

（2024年度以降入学生に適用）

科目 ナンバー	授業科目	授業 期別	必修	選択	年次及び単位数					備考
					1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
OTH01005	災害とドローン	半		1	←	1	→	1		

4 科目ナンバリングについて

科目ナンバリングは、授業科目に適切な番号「科目ナンバー」を付し分類することで、学修の段階や順序などを表し、教育課程の体系的性を明示する仕組みであり、体系的な学修計画を立てる時の参考となる。

本学では、科目の分類を3桁のアルファベットで表し、科目の段階や学修領域等を5桁の数字で記し、これらを組み合わせ、運用している。

各科目ナンバー及び詳しい説明は、大学ホームページにて公開しているので確認すること。

5 首都圏西部大学単位互換

首都圏西部大学単位互換制度とは、本制度に加盟する他大学の開講科目を履修することができ、修得した単位を所属する大学の単位として認定する制度である。詳細については、教務課で実施するガイダンスで確認すること。

① 受講資格

首都圏西部大学単位互換科目を受講するためには、説明会に参加し出願書類の提出が必要。

② 説明会日程

通年科目及び春期科目：4月のガイダンス期間中

秋期科目：6月中旬頃（予定）

※詳細な日程等は manaba 等で連絡する。

③ 問い合わせ先

世田谷キャンパス 教務部教務課（5号館1階）

TEL：03-5481-3312

E-Mail：tannigokan@kokushikan.ac.jp

なお、他学部履修科目、第3言語科目、海外演習科目と合わせて8単位まで共通教育科目の選択単位として卒業所要単位とすることができる。

6 世田谷6大学コンソーシアム連携授業

本連携授業は、世田谷区内に所在する6つの大学で締結されている協定に基づき実施されている。各大学の特色を活かした授業科目を協定大学が相互に提供し、教育・研究の交流による自己啓発と教育の質向上に資することを目的としている。

①協定大学

国土館大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京都市大学、東京農業大学

②提供科目

開講される科目は、通常の場合、半期科目で毎年度変更される。詳しくは時間割表等で確認すること。

7 入学前に他大学等で修得した単位について

入学前に他の教育機関等で修得した単位は、単位認定を申請し、審査により認められれば、本学部の卒業に必要な単位として算入することができる。

4月の履修時に、既修得単位の記載された証明書を持参して教務課学部担当窓口にご相談すること。なお、必修科目・実習等を伴う科目・演習科目は、原則として認定されない。

8 副専攻について

所属する学部・学科等の学び（主専攻）に加え、多様な関心や目的に応じて学部等の枠を超えた様々な知識や技能を体系的に幅広く修得することができる制度で、各副専攻において所定の要件を満たすと卒業時に修了証が発行できます。

【開設している副専攻】

◆防災リーダー副専攻

災害に対応するための知識と技術を習得し、震災に際し迅速な初期行動や被災支援活動が行えることができるとともに、地域社会への貢献ができるリーダー的人材を養成することを目的としています。

◆A I・データサイエンス副専攻

A Iやデータサイエンスの知識と技能、創造的思考力を身につけ、卒業後の社会におけるA Iやデータサイエンス活用の基礎力を育成します。また、統計学、プログラミング、データサイエンスについての基礎的な教養を基礎として、データに基づく問題解決の手法を学ぶことを目的とします。

【副専攻の受講方法】

副専攻の受講を希望する学生は、あらかじめ申請が必要です。詳しくは、学生ポータルサイト(Kaede-i)や講義支援システム(manaba)に掲載するお知らせや、年度初めのガイダンス等の説明資料で確認してください。

文学部で取得できる教員免許状

本学部では、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭および幼稚園の教育職員（以下教員という）の免許状を取得しようとする者のため、所定の教職課程を設けている。本学部で取得できる教員免許状の種類と教科およびこれに必要な資格は、各コースの教育の専門性にもとづいて次のとおり定められている。

教職課程の履修については「教職課程履修要項」を参照すること。

(2019年度以降入学生に適用)

コース	免許状の種類	免許教科・領域
教育学	中学校1種	社会
		保健体育
	高等学校1種	地理歴史
		公民
		保健体育
特別支援学校1種	知的障害者 肢体不自由者 病弱者	
養護教諭1種		
初等教育	小学校1種	
	幼稚園1種	
考古・日本史学	中学校1種	社会
	高等学校1種	地理歴史
地理・環境	中学校1種	社会
	高等学校1種	地理歴史
日本文学・文化	中学校1種	国語
	高等学校1種	国語
		書道

■史学地理学科における高等学校1種公民免許取得について

① 実施の範囲等

- ア. 史学地理学科の学生が高等学校1種公民免許の取得を希望する場合、中学校1種社会と高等学校1種地理歴史の教員免許を取得予定であることが条件となる。
- イ. 教員免許状の交付については、卒業後に教育委員会において個人申請を行う。

② 履修科目・単位

○教科及び教科の指導法に関する科目

授業科目	単位数
法律学概論（国際法を含む）	2単位
政治学概論（国際政治を含む）	2単位
社会学概論	2単位
経済学概論（国際経済を含む）	2単位
人間と社会Ⅰ（哲学）	2単位
人間と社会Ⅱ（倫理学）	2単位
人間と社会Ⅲ（宗教学）	2単位
哲学概説	2単位
倫理学概説	2単位
宗教学概説	2単位
社会科・公民科教育論	2単位
公民科指導法	2単位
計	24単位

③ 受講料

「国士舘大学聴講生規程」（学内聴講）により、1単位5,000円とする。

対象となる科目は、史学地理学科に開設されていない「公民科指導法」（3年次開講）である。

※公民の受講登録及び受講料の納入はせず、3年次4月に「公民科指導法」の聴講料（10,000円）を納入すること。

■副免許の受講

① 実施の範囲等

- ア. 文学部内において実施するが、世田谷キャンパスの他学部生にも開講される。第6時限目
に開講する場合もある。
- イ. 学生は主免許の外に、1種類の「副免許」に係る科目を受講できる。
- ウ. 「副免許」の受講は、原則として個人の志望に対する対応とする。

② 「副免許」の種類

- 「副免許」の種類は、小学校2種免許とする。
- 「副免許」は初等教育コース以外の4コースの学生が受講できる。
- なお「副免許」とは別に、初等教育コースの学生については中学校の教員免許状（国語科・社会科）の取得も可能な場合がある。

③ 受講資格

- 「副免許」取得のための受講資格は、教職課程の履修者とする（養護教諭免許のみの履修者を除く）。ただし、収容定員等の都合により履修者を制限することがある。

④ 履修科目・単位

- 主免許（初等教育以外のコース＝中学校1種）で修得する教職科目単位を基本として、小学校2種免許取得に必要な科目を受講する。詳しくは、受講開始学年（2年次）の年度始めに、文学部教育学科初等教育課程において履修指導を行う。

また、「副免許」とは別に、初等教育コースは小学校1種の教員免許で修得する教職科目単位を基本として、中学校の教員免許（国語科・社会科）取得に必要な科目を受講することにより中学校の教員免許状の取得が可能な場合がある。これについても受講開始学年（2年次）前に履修指導等を通じて説明する。

なお、取得に必要な科目については、次頁の【参考】副免許の取得に必要な科目一覧（平成31年度以降入学生適用）を参照のこと。

⑤ 履修単位の制限

- 「副免許」の科目の履修できる単位は、1年間に16単位を超えない程度とする。

⑥ 教育実習実施の時期

- 「副免許」等取得のための教育実習は、大学在学中に行うものとする。

⑦ 受講開始学年

- 第2年次からとする。

⑧ 「副免許」の開講

- 平成8年度からとする。但し、小学校2種は平成23年度から世田谷キャンパスの他学部生にも開講する。

⑨ 受講料

- 「聴講に関する内規」を準用し（学内聴講）、1単位5,000円とする。

⑩ 教育実習費

- 「諸資格取得の為の受講料等に関する内規」を準用し、小学校（17,000円）、中学校（12,000円）とする。

【参考】副免許の取得に必要な科目一覧（2022年度以降入学生適用）

■小学校2種〈教育学科（初等教育課程）〉

授業科目		学年	単位	必要単位	
小学校 2種免許	教育課程論（小）	3	2	2	
	教育方法と情報技術	2	2	2	
	道德教育の理論と実践（小）	2	2	4単位 選必	
	総合的な学習の時間の指導法（小）	3	2		
	特別活動の理論と実践（小）	1	2		
	生徒・進路指導論（小）	3	2		
	教育相談（小）	3	2		
	教育実習Ⅰ（事前指導）	3	1	3	
	教育実習Ⅳ（事後指導を含む）	4	2		
	教育の基礎的理解に関する科目等		10単位		
	国語概論	1	2	4単位 選必	
	書写実習	1	1		
	算数概論	1	2		
	生活科概論	1	2		
	音楽の基礎	1	2		
	図工の基礎	1	2		
	体育科の基礎	2	2		
	社会科概論	2	2		
	理科概論	1	2		
	家庭科概論	2	2		
英語概論	2	2			
教科に関する科目		4単位			
教科教育法（国語）	2	2	音楽・ 図工・ 体育の うち2 科目を 含む 12単位 選択 必修		
教科教育法（社会）	3	2			
教科教育法（算数）	2	2			
教科教育法（理科）	3	2			
教科教育法（生活）	2	2			
教科教育法（音楽）	3	2			
教科教育法（図画工作）	3	2			
教科教育法（家庭）	3	2			
教科教育法（体育）	3	2			
教科教育法（英語）	3	2			
教科の指導法に関する科目		12単位			

履修上の注意

- 時間割との兼ね合い等、場合によっては在学中に履修しきれないこともあるのでその旨了解の上、手続きすること。
- 履修科目・必要単位数については、流用規定を適用した場合のもので、副免許取得の前提となる主免許を取得しない場合は適用されない。
- 履修科目や必要単位は、省令改正等による変更に伴い、追加履修が必要となる場合があるので、各年度初めのガイダンスに必ず出席し、履修科目について確認すること。

■中学校2種〈(社会)教育学科（中等教育課程） 国語:文学科〉

授業科目		学年	単位	必要単位
中学校 2種免許 (社会) (国語) 共通	教育課程論	3-4	2	2
	教育方法論（情報通信技術の活用を含む）	2-3	2	2
	道德教育の理論と実践	1	2	2単位 選必
	総合的な学習の時間の指導法	3	2	
	特別活動の理論と実践	1	2	
	生徒・進路指導論	2	2	
	教育相談	2	2	
	教育実習Ⅰ（事前指導）	3	1	3
	教育実習Ⅲ（事後指導を含む）	4	2	
	教育の基礎的理解に関する科目等		9単位	
日本歴史A	1	2	12	
日本歴史B	1	2		
グローバルヒストリーA	2	2		
グローバルヒストリーB	2	2		
外国史A	1	2		
外国史B	1	2		
人間生活の地理学	2	2	6	
現代地理学と自然環境	2	2		
地誌	2	2		
法律学概論（国際法を含む）	3	2	2単位 選必	
政治学概論（国際政治を含む）	1	2		
社会学概論	3	2	2単位 選必	
経済学概論（国際経済を含む）	1	2		
人間と社会Ⅰ（哲学）	1-2	2	2単位 選必	
人間と社会Ⅱ（倫理学）	1-2	2		
人間と社会Ⅲ（宗教学）	1-2	2		
教科に関する専門的事項		24単位		
社会科・地歴科教育論	2	2	6	
社会科・公民科教育論	2	2		
社会科指導法Ⅰ	3	2		
教科の指導法に関する科目		6単位		
日本語学概論（文字・音声）	1	2	4	
日本語学概論（文法・語彙）	1	2		
日本文学概論（基礎）	2	2	4	
日本文学概論（応用）	2	2		
漢文学概論（中国古典）	1	2	4	
漢文学概論（日本漢文）	1	2		
書道実習	2-4	2	2	
教科に関する専門的事項		14単位		
国語科教育論Ⅰ	2	2	6	
国語科教育論Ⅱ	2	2		
国語科指導法Ⅰ	3	2		
教科の指導法に関する科目		6単位		

本学部では、諸資格の取得にあたり各コースの授業科目配当によって、修得した科目と単位が所定の条件を満たせば次に示す資格を取得することができる。

諸資格を取得するには、卒業の条件となる専門科目や教員免許状を得るに必要な科目などとの関連において効率的に、そして総合的に履修科目を選択することが必要である。

これら諸資格取得のための科目を受講するためには、履修登録時に所定の受講登録と受講料が必要な科目がある。

1 受講登録にあたって

諸資格には、それぞれ法律で定められた規程に則った目的・役割があり、受講の際には、それぞれの資格を認識した上で、各希望者の将来展望に沿って受講することが望ましい。

諸資格取得のための科目は、関連学科コースを主に配当開講されているため、コースごとに履修に難易がある。また、卒業所要単位とは別に履修しなければならない科目もある。

資格	関連学科コース
社会教育主事	……教育学科
博物館学芸員	……史学地理学科
考古調査士（受講登録不要）	……考古・日本史学コースのみ
測量士補（受講登録不要）、GIS 学術士（受講登録不要）	……地理・環境コースのみ
地域調査士（受講登録不要）	……地理・環境コースのみ
図書館司書、学校司書	……文学科

2 受講登録の手続

諸資格の受講を希望する者は、新規登録者のみ以下の手順で登録しなければならない。

- ① 諸資格の受講登録は、「諸資格取得のための受講料等に関する内規」に基づき、科目履修の初年度の指定された期日までに行う。前述した諸資格設置の趣旨を含みながら検討し、意志決定に基づき受講選択をする。受講登録手続きを怠ると、履修登録しても履修不能科目として判別される。
- ② 受講登録者は、諸資格の説明会（ガイダンス）等に出席し、各自任意で時間割案を作成する。
- ③ 受講登録は、各自所属するコースに開かれた諸資格を指定された期日に Web 履修登録する。
- ④ 受講登録の際は、定められた受講料（新規登録時のみ）を証明書自動発行機で納入し、納入票に必要事項を記入して、4 月末日までに教務課教職担当窓口へ提出する（受講料の納入がない場合、登録は取消となる）。

受講料について

教職課程

1 校種 1 教科につき 10,000 円
(初等教育コースは免除)

諸資格

社会教育主事	15,000 円	図書館司書	15,000 円
博物館学芸員	15,000 円	学校司書	10,000 円
学校図書館司書教諭	10,000 円		

- ⑤履修登録において、受講課程内容や授業科目等の確認を行う。
修正が必要な場合は、直ちに教務課学部担当窓口にて確認する。

3 受講についての注意事項

- ①受講登録された後は、諸資格に必要な科目単位のチェックが自動的に行われる。異常等があれば、直ちに教務課学部担当窓口まで連絡相談すること。
- ②各自の都合で一旦登録した各受講を取り止める際は、今後の履修電算処理の都合上、教務課学部担当窓口まで届け出ること。なお、すでに納入された受講料等は返却されない。
- ③1年次以降諸資格の履修については、独自の制約（ハードル科目、先修条件等）がある。履修及び科目修得にあたっては、特に注意を要する。
- ④受講の際には、受講料とは別に受講科目毎に実習費を要する場合があります、受講料と並行して納入しなければならない。
- ⑤各自コースの卒業に必要な科目配当表にない諸資格専用の授業科目単位は、卒業の単位は勿論のこと、進級判定（主に2年次）の単位としては算定されない場合があるので、十分な注意を払うことが必要である。あくまでも卒業に必要な単位を優先させ履修計画を組むことが望ましい。

1 社会教育主事の資格

この資格を得るには、社会教育法第9条の4（社会教育主事の資格）第3号に次のように規定されている。『大学に2年以上在学して、62単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者で、第1号イからハまでに掲げる期間を通算した期間が1年以上になるもの』。この「大学において文部省令で定める社会教育に関する科目の単位」については、社会教育主事講習等規程（昭和26年文部省令第12号）第3章（社会教育に関する科目の単位）第11条に規定されている。

本学においては、前記規程及び「社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令」（平成30年、文部科学省令第5号）に基づき次表により必修科目14科目24単位取得するものとする。

■社会教育主事資格科目配当表

（2020年度以降入学生に適用）

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必修	選択	年次及び単位数				備考	
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		計
LEX11001	生涯学習概論 A	L	半	2		2			2	学芸員・司書	
LEX11002	生涯学習概論 B	L	半	2		2			2		
LEX13001	生涯学習支援論 A	L	半	2				2	2		
LEX13002	生涯学習支援論 B	L	半	2				2	2		
LEX12001	社会教育経営論 A	L	半	2			2		2		
LEX12002	社会教育経営論 B	L	半	2			2		2		
LEX11601	図書館概論	L	半	2		2			2	司書	
LEX12301	博物館概論	L	半	2			2		2	学芸員	
LEX11003	社会的平等と社会教育	L	半	2		2			2		
LEX11004	多文化共生と社会教育	L	半	2		2			2		
LEX13003	社会教育実習	P	半	1				1	1		
LEX14001	社会教育演習 A	S	半	1					1	1	
LEX14002	社会教育演習 B	S	半	1					1	1	
LEX13004	社会教育課題研究	S	半	1				1	1		
計				24		10	6	6	2	24	

2 博物館学芸員の資格

①博物館には、専門的職員として学芸員が置かれる。学芸員は、博物館資料の収集、保管展示及び調査研究、その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどるものである（博物館法第4条、3、4項）。この資格を得るには同法第5条（学芸員の資格）第1項に次のように規定されている。

次の各号の一に該当する者は、学芸員となる資格を有する。

1. 学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの
- ②本学においては、前記規定に基づき次表により必修科目で10科目19単位、選択科目で1科目2単位以上を修得するものとする。
- ③前記所定の単位を修得した者に対し、「学芸員資格に必要な単位を有する者」であることの修了書を卒業時に交付する。

■博物館学芸員資格科目配当表

(2023年度以降入学生に適用)

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数					備考
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	計	
LEX12301	博物館概論	L	半	2			2			2	社教主事
LEX12302	博物館教育論	L	半	2			2			2	
LEX13301	博物館経営論	L	半	2				2		2	先修条件あり
LEX13302	博物館資料論	L	半	2				2		2	
LEX11001	生涯学習概論A	L	半	2		2				2	社教主事・司書
LEX13303	博物館情報・メディア論	L	半	2				2		2	
LEX13304	博物館実習1	P	通	2				2		2	
LEX14301	博物館実習2	P	通	1					1	1	先修条件あり
LEX14302	博物館展示論	L	半	2					2	2	
LEX14303	博物館資料保存論	L	半	2					2	2	
LEX11301	日本文化の歴史A	L	半		2	2				2	
LEX13302	日本文化の歴史B	L	半		2	2				2	
LEX13701	日本美術史（前期）	L	半		2				2	2	1科目以上
LEX13702	日本美術史（後期）	L	半		2				2	2	選択必修
LEX11303	考古学の基礎	L	半		2	2				2	
LEX13305	アーカイブズ学1	L	半		2				2	2	
LEX13306	アーカイブズ学2	L	半		2				2	2	
計					19	14	4	4	8	5	33
							4		8		

履修について

卒業要件には含まれない科目、先修条件のある科目があるので注意する。科目履修、単位修得と共に、博物館実習に参加しなければならない。

先修条件

3年次に「博物館実習1」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館情報・メディア論」を履修するためには2年次の「博物館概論」「博物館教育論」を、4年次に「博物館実習2」「博物館展示論」「博物館資料保存論」を履修するためには3年次の「博物館実習1」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館情報・メディア論」を修得していなければならない。

■博物館実習1・2の履修計画

3年	4月	博物館実習1、博物館経営論、博物館資料論、博物館情報・メディア論の履修登録 「博物館実習事前調査書」の提出（4年次の実習先の希望等） （実習時期・期間・内容は実習をする博物館と相談し、その指示に従い、大学担当者に報告する）
	12月	
	1月	
4年	4月	博物館実習2、博物館展示論、博物館資料保存論の履修登録 実習費（15,000円）の納入 当該学生の「博物館実習学生資料」を添え、学長名で「依頼書」を送付 博物館実務実習実施（実習時期・期間・内容は実習をする博物館と相談し、その指示に従う） （実習修了届・実習費・実習日誌・実習修了届用返信封筒切手付を持参する）
	5月	

博物館実習について

- ①「博物館実習1」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館情報・メディア論」を修得していて、実習年次に「博物館実習2」を履修していること。
- ②3年次の12月に「博物館実習調査書」用紙を受領し、実習を希望する博物館の事前調査を行い、所定の事項を記入し、提出する。
- ③3年次の1月から4年次の4月にかけて希望する博物館に連絡、あるいは訪問し内諾を得る。
- ④内諾を得たならばその旨、担当者に連絡し、指示をおおぐ。
- ⑤それを受けて、担当者が2月から4年次の4月にかけて、学長名で正式な「依頼書」を相手方博物館長宛に送付する。
- ⑥博物館によってはホームページで申込書をダウンロードできる場合もある。
- ⑦実務実習は夏季休業中に実施されることが多いが、受け入れる博物館に一任しているので、各自博物館側と事前に充分打ち合わせる必要がある。また実習期間中は館の職員に準じた扱いを受けるので、所蔵標本に関する遵守事項や勤務時間等すべて博物館の規則と指導に従って行動しなければならない。
- ⑧博物館実習をはじめとする諸手続及び伝達事項等はすべて掲示または、学生連絡（Kaede-i）をもって行うのでつねに掲示板等には充分注意すること。

3 考古調査士の資格

本学部考古・日本史学コース学生は、大学が設置する指定科目を受講し、定められた単位を修得することで、考古調査士資格（2級）の申請に必要な要件を満たすことができる。

単位修得したのちに、資格認定機関である「考古調査士資格認定機構」に申請し、そこでの審査を経て資格が授与される。

- (1) 課程には2級考古調査士資格を申請できる学部コースと、1級考古調査士資格に申請できる大学院コースの2コースを設置する。大学院コースについては別に定める。
- (2) 考古調査士の養成に必要な科目群を体系的に履修するために、第1科目群から第4科目群を標準科目として設置してある。

学部コースでは、第4科目群の「考古学実習Ⅰ～Ⅳ」のうちから1科目以上を必修とし※、それを含む3科目群にわたり10単位以上を修得するものとする。

※「考古学実習」を修得しない場合は、教育委員会、およびその他の発掘調査機関等が行う調査において、発掘調査や出土品の整理に40日以上参加した学生は、これに替えることができる。

①種別	2級考古調査士資格年度会費等	②種別	2級考古調査士資格申請料
金額	5,000円	金額	25,000円
対象	2級考古調査士資格希望者	対象	2級考古調査士資格申請者
納入時期	1年次および2年次	納入時期	4年次申請時

(2023年度以降入学生に適用)

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数				備考	
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次		計
	[第1科目群]										
LEH11307	考古学の基礎	L	半		2	2				2	社・地・学芸員
	[第2科目群]										
LEH12340	考古学資料を読む1	L	半		2	2				2	
LEH12347	考古学資料を読む2	L	半		2	2				2	
	[第3科目群]										
LEH13301	日本考古学A	L	半		2			2	2		
LEH13302	日本考古学B	L	半		2			2	2		
	[第4科目群]										
LEH11327	考古学実習Ⅰ	P	通	2	2					2	}
LEH12356	考古学実習Ⅱ	P	通	2		2				2	
LEH13336	考古学実習Ⅲ	P	通	2			2			2	
LEH14302	考古学実習Ⅳ	P	通	2				2	2	2	
	計			8	10	4	6	2	2	18	合わせて3科目群に わたり10単位以上を 修得する
								4			

4 測量士補の資格

測量法及び測量法施行令の定めるところにしたがい、本学部地理・環境コースの学生は、国土地理院の長が行う測量士補の試験に合格する必要なしに、測量士補の資格を取得することができる。

●測量士補となる資格

大学において文部科学大臣の認定を受けたものであって、測量に関する科目を修め、当該大学を卒業した者（測量法第51条第1号）。

●測量士となる資格

大学において文部科学大臣の認定を受けたものであって、測量に関する科目を修め、当該大学を卒業した者で、測量に関し1年以上の実務の経験を有するもの（測量法第50条第1号）。

●測量に関する科目

本学部地理・環境コースにおいては下記のとおりである。

測量士補資格を取得する上での必修科目を全て履修・取得すること。また、履修を推奨する科目もできるだけ履修することが望ましい。

(2019年度以降入学生に適用)

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必修	選択	年次及び単位数					備考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
LEH12542	測量学 1	L	半	2			2			2	必修科目
LEH13539	測量学 2	L	半	2				2		2	
LEH12543	測量実習 1	P	半	1			1			1	
LEH13540	測量実習 2	P	半	1				1		1	
LEH13541	測量実習 3	P	集	1				1		1	
LEH11512	地理学総論	L	半	2		2				2	
LEH11513	人文地理学入門	L	半	2		2				2	
LEH11514	自然地理学入門	L	半	2		2				2	
LEH12544	地域調査法	L	半	2			2			2	
LEH12545	自然環境調査法	L	半	2			2			2	
LEH12507	東京の自然環境	L	半	2			2			2	
LEH12508	地表環境の生い立ち	L	半	2			2			2	
LEH11518	地図学	L	半	2		2				2	
LEH11519	地形図判読法	L	半	2			2			2	
LEH11520	地図製作法	L	半	2			2			2	
LEH12532	空中写真判読	L	半	2			← 2	→		2	
LEH12534	環境リモートセンシング	L	半	2			← 2	→		2	
LEH12535	環境リモートセンシング応用	L	半	2			← 2	→		2	
LEH12536	地理情報システム入門	L	半	2			2			2	
LEH13534	地理情報システム	L	半	2				2		2	
LEH13535	地理情報システム応用	L	半	2				2		2	
LEH11526	地理学野外実習 A	P	集	2		2				2	

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数					備考
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	計	
LEH12510	日本の水環境	L	半		2		←	2	→	2	履修を推奨 する科目
LEH12511	沖縄の自然環境	L	半		2		←	2	→	2	
LEH13525	第四紀の自然史	L	半		2				2	2	
LEH11516	日本の地誌	L	半		2	2				2	
LEH12533	環境データ分析法	L	半		2		←	2	→	2	
LEH13532	社会調査とデータ分析法	L	半		2				2	2	
LEH13533	計量地理学	L	半		2				2	2	
計					41	14	10	13	4		
							6		10		
									12		

履修上の注意

- 1) 測量実習2・3及び測量学2は、測量実習1及び測量学1の単位を修得済みでなければ履修できない。
- 2) 測量実習2は実習開始時（3年次4月）に器材整備などの諸経費として10,000円を徴収する。卒業後測量士補に、または測量士補はとらずに1年以上の実務の経験を経たのち測量士になるには登録の手続きが必要である。

登録の手続き

●測量士及び測量士補の登録

測量士又は測量士補となる資格を有する者は、測量士又は測量士補になろうとする場合においては、国土地理院の長に対してその資格を証する書類を添えて、測量士名簿又は測量士補名簿に登録の申請をしなければならない。（測量法第49条）

●登録料

登録免許税が必要となる。詳細は国土地理院のホームページ等で確認のこと。

5 GIS 学術士の資格

本学部地理・環境コースの学生は、(公社)日本地理学会の認定により「GIS学術士」の資格を取得することができる。

1. 「GIS学術士」の定義

「GIS学術士」とは、GISの学術を保有する者として、(公社)日本地理学会から認定を受けた者をいう。「GIS」とは、地理情報科学および地理情報システムを指し、「GIS」の学術とは地理情報をコンピュータで系統的に取得・構築、管理、分析、総合、表示・伝達することに係わる学術をいう。「地理情報」とは、地理的な位置や範囲と属性情報が対になっている情報をいう（GIS学術士資格認定規程第2条）。

2. 資格認定のための修得科目とその基準

本学部地理・環境コースにおいては下記のとおりである。

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必修	選択	年次及び単位数				備考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
	[A群]									
LAI01003	コンピュータリテラシー	L	半		2	2				2
LAI01004	データリテラシー	L	半		2	2				2
LEH12533	環境データ分析法	L	半		2		← 2 →			2
	[B群]									
LEH13534	地理情報システム	L	半	2				2		2
	[C群]									
LEH12536	地理情報システム入門	L	半	2		2				2 社・地
LEH13535	地理情報システム応用	L	半	2				2		2
	[D群]									
LEH14502	地理学演習 3	S	半	1				1		1
LEH14503	地理学演習 4	S	半	1				1		1
LEH14501	卒業論文	卒	－	8					8	8
	計			16	6		2		10	
						4		4		22
							← 2 →			

履修上の注意

【A群】【B群】からはそれぞれ1科目、【C群】からは2科目、【D群】からは3科目を修得しなければならない。

3. 「GIS 学術士（見込み）」の認定

在学中に「GIS 学術士（見込み）」の認定を受けることができる。そのためには、

- ①大学在籍期間が3年以上であること。
- ②科目群【A】、【B】、【C】に対応した科目の単位を申請時まで、2科目以上修得していること。
- ③②の単位修得済み科目と今年度履修中の科目の合計が3科目以上であることが必要である。（GIS 学術士資格認定細則別表1の3）

4. 資格認定の申請

資格の認定を受けようとするものは、所定の申請書に必要事項を記載し、科目を修得したことを証明する成績証明書および大学卒業証明書と審査料を添えて、（公社）日本地理学会に提出する。

なお、資格認定（見込み証明の発行を含む）には認定手数料が必要となる。その額は申請時に（公社）日本地理学会のホームページで確認のこと。

6 地域調査士の資格

本学部地理・環境コースの学生は、(公社)日本地理学会の認定により「地域調査士」の資格を取得することができる。

1. 「地域調査士」の定義

「地域調査」とは、地域の特性の科学的な調査、分析、究明、解説、広報等を行う業務のことをいい、「地域調査士」とは、地域調査に関して高度な知識及び実務能力を有する者であって、(公社)日本地理学会から認定を受けた者をいう(地域調査士認定規程第2条)。

2. 資格認定のための修得科目とその基準

本学部地理・環境コースにおいては下記のとおりである。

(2019年度以降入学生に適用)

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必 修	選 択	年次及び単位数				備考	
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		計
LEH11512	地理学総論 +	L	半	2		2				4	必修
LEH11513	人文地理学入門	L	半	2		2					
LEH11516	日本の地誌	L	半		2	2			2		1科目選択必修
LEH11517	日本の景観と社会	L	半		2	2			2		
LEH11514	自然地理学入門	L	半		2	2			2		
LEH12508	地表環境の生い立ち	L	半		2		2		2		
LEH13524	地域の気候と災害 +	L	半		2			2		4	1科目選択必修 社・地
LEH13523	グローバルな気候環境	L	半		2			2			
LEH12510	日本の水環境	L	半		2		← 2 →		2		
LEH13532	社会調査とデータ分析法 +	L	半		2			2		4	1科目選択必修
LEH13533	計量地理学	L	半		2			2			
LEH12533	環境データ分析法	L	半		2		← 2 →		2		
LEH11518	地図学	L	半		2	2			2		
LEH11520	地図製作法	L	半		2	2			2		1科目選択必修
LEH12542	測量学1	L	半		2		2		2		
LEH13539	測量学2	L	半		2			2	2		
LEH13534	地理情報システム	L	半		2			2	2		
LEH13536	地理学野外実習C	P	集	2				2	2		必修
LEH14501	卒業論文	卒	—	8					8	8	必修
計				14	30	8	4	4	8	44	
						6		10			
							← 4 →				

授業科目欄のうち「+」で結ばれている科目は、その2科目(4単位)の両方を履修することで、必修または選択必修科目として1科目履修したと認定される。

3. 講習

資格の認定を受けようとする者は、(公社)日本地理学会が実施する、地域調査士としての基本的な素養及び自覚を具備させるために必要な講習を受講しなければならない。講習の実施時期・場所等については、(公社)日本地理学会のホームページを参照のこと。講習会は、毎年春と秋に開催されるので、どちらかを受講すること。

4. 資格認定の申請

資格の認定を受けようとするものは、上記3の講習を修了したのち、所定の申請書に必要事項を記載し、科目を修得したことを証明する資料とともに(公財)日本地理学会に提出する(地域調査士認定規定第8条)。

なお、資格認定(下記の見込み証明書の発行を含む)には認定手数料が必要となる。その額は申請時に(公社)日本地理学会のホームページで確認のこと。

5. 地域調査士認定見込み書の発行

大学に2年を超えて在籍する者であって、上記3の講習を修了し、大学において上記の修得科目のうち、「地理学野外実習C」および「卒業論文」以外の科目をすべて履修し、「地理学野外実習C」と「卒業論文」を履修中である者は、在学中に「地域調査士(見込み)」の認定を受けることができる。詳しくは(公社)日本地理学会のホームページを参照のこと。

7 図書館司書・学校司書・学校図書館司書教諭の資格

図書館司書

図書館法に基づき図書館に置かれる専門的職員を司書という。(図書館法第4条) 司書となる資格を得るには、大学を卒業した者で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したものとされている。(図書館法第5条)

本学では、司書資格取得のためには、下表の必修科目とおり、必修科目 14 科目 24 単位、選択科目 3 科目より 1 科目以上選択必修である。

■ 図書館司書資格科目配当表

(2020 年度以降入学生に適用)

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必修	選択	年次及び単位数				備考	
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		計
LEX11601	図書館概論	L	半	2		2				2	社教主事
LEX12601	情報サービス論	L	半	2			2			2	学校司書
LEX13601	情報サービス演習 (1)	S	半	1				1		1	学校司書
LEX13602	情報サービス演習 (2)	S	半	1				1		1	学校司書
LEX13603	情報資源組織演習 (分類)	S	半	1				1		1	学校司書
LEX13604	情報資源組織演習 (目録)	S	半	1				1		1	学校司書
LEX13605	図書館情報資源特論	L	半	2				2		2	
LEX12602	図書・図書館史	L	半		2		2			2	1 科目以上 選択必修
LEX13606	図書館基礎特論	L	半		2			2		2	
LEX13607	図書館サービス特論	L	半		2			2		2	
LEX11602	生涯学習概論A	L	半	2		2				2	社教主事・学芸員
LEX12603	児童サービス論	L	半	2			2			2	
LEX12604	図書館制度・経営論	L	半	2			2			2	
LEX12605	図書館サービス概論	L	半	2			2			2	
LEX12606	図書館情報資源概論	L	半	2			2			2	学校司書
LEX12607	情報資源組織論	L	半	2			2			2	学校司書
LEX12608	図書館情報技術論	L	半	2			2			2	学校司書
計				24	6	4	16	10		30	

学校司書

学校図書館法に基づき、学校の図書館において専ら学校図書館の職務に従事する職員を置くよう努めるようになっていて、この職員を「学校司書」という。(学校図書館法第6条)

本学では、学校司書資格取得のためには、下表の科目配当表のとおり、必修科目14科目24単位、選択必修科目2科目2単位の修得が必要である。また、図書館司書資格の受講者のみ受講可能であり、履修時に学校司書の受講登録も必要である。

■学校司書資格科目配当表

(2019年度以降入学生に適用)

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必修	選択	年次及び単位数				備考	
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		計
TEL12001	学校経営と学校図書館	L	半	2			2		2	司書教諭	
LEX12608	図書館情報技術論	L	半	2			2		2	司書	
LEX12606	図書館情報資源概論	L	半	2			2		2	司書	
LEX12607	情報資源組織論	L	半	2			2		2	司書	
LEX13603	情報資源組織演習(分類)	S	半	1				1	1	司書	
LEX13604	情報資源組織演習(目録)	S	半	1				1	1	司書	
LEX12605	学校図書館サービス論	L	半	2				2	2		
LEX12601	情報サービス論	L	半	2			2		2	司書	
LEX13601	情報サービス演習(1)	S	半	1				1	1	司書	
LEX13602	情報サービス演習(2)	S	半	1				1	1	司書	
LEE11203	教育基礎論	L	半	2		2			2	職	
LEE12004	教育心理学	L	半	2			2		2	職	
TEA03005	特別支援教育概論	L	半		2			2	2	1科目選択必修 職	
LEE13202	特別支援教育概論(幼・小)				2			2	2	職	
LEE13008	教育課程論	L	半		2			2	2	1科目選択必修 職	
LEE11201	教育課程論(小)	L	半		2			2	2		
TEL12003	学習指導と学校図書館	L	半	2			2		2	司書教諭	
TEL12004	読書と豊かな人間性	L	半	2			2		2	司書教諭	
計				24	8	2	10	14	6	32	

学校図書館司書教諭

学校図書館法に基づき、学校の図書館において専門的職務をつかさどる教諭に要求されている資格である。(学校図書館法第5条)

上記のとおり、学校図書館司書教諭資格を希望するものは、同時に教職課程を履修しなければならない。他に下表の必修科目5科目を修得することが必要である。(教職履修課程要項参照)

■学校図書館司書教諭資格科目配当表

(2019年度以降入学生に適用)

科目 ナンバー	授業科目	授業 形態	授業 期別	必修	選択	年次及び単位数					備考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
TEL02001	学校経営と学校図書館	L	半	2			2			2	学校司書
TEL02002	学校図書館メディアの構成	L	半	2			2			2	
TEL02003	学習指導と学校図書館	L	半	2			2			2	学校司書
TEL02004	読書と豊かな人間性	L	半	2			2			2	学校司書
TEL02005	情報メディアの活用	L	半	2			2			2	
計				10			10			10	

注1 専門科目、または教職課程の教科に関する科目に配当されている該当科目を履修した者は、その科目をもって上記に替える。

- 2 学校図書館司書教諭の資格を得るには、教員免許状をあわせて取得することが必要である。
- 3 前記所定の単位を修得した者に対し、司書資格においては「司書となる資格に必要な単位を修得した」との修了書を卒業時に交付する。学校図書館司書教諭資格については、「学校図書館司書教諭の講習を修了した」との修了証書が交付(卒業時に教務課へ申請)される。(交付時期は、翌年度の3月頃)。
- 4 学校図書館司書教諭「修了証書」については、定められた申請料を納入しなければならない。



学籍と学費

❶ 休学・復学・退学・除籍・復籍・再入学

1. 休学
2. 復学
3. 退学
4. 除籍
5. 復籍
6. 再入学

❷ 学費の納入

1. 納入期限
2. 納入方法
3. 延納制度について
4. 納入金

❸ 願出・届出の手続きについて

1. 学籍異動に関する願出
2. 身上項目変更の届出

休学・復学・退学・除籍・復籍・再入学

学期は下記の通り定められている。

春期：4月1日から9月15日まで 秋期：9月16日から3月31日まで

※国士館大学学則第6条参照

1 休学

病気その他やむを得ない理由のため1ヶ月以上にわたり欠席する場合は「休学」することができる。休学するためには「休学願」を教務課学部担当窓口へ提出し、学長の許可を得なければならない。休学の期間は、当該学年のうち1年または学期を区分とし、連続2年、通算4年を限度とする。なお、休学期間は在学年数に含まれないため、半年または1年間休学すると卒業が半年以上遅れることになる。

※国士館大学学則第18条、国士館大学学籍管理規程第7条、国士館大学納入金規程第6条・第7条参照

【休学時の学費と休学費】

休学期間	休学願の提出	前期学費等	後期学費等	休学費
年間	学期の開始から1ヶ月以内	免除	免除	20,000円
	上記を過ぎた場合	全額納入	免除	20,000円
半期休学 春期	学期の開始から1ヶ月以内	免除	全額納入 ※前期分学費 (秋期復学の場合)	20,000円
	上記を過ぎた場合	全額納入	全額納入 (秋期復学の場合)	—
半期休学 秋期	学期の開始から1ヶ月以内	全額納入	免除	20,000円
	上記を過ぎた場合	全額納入	全額納入	—

2 復学

休学していた者は、休学期間を満了する次の期に「復学」することができる。復学する場合には、休学期間満了前に「復学願」を教務課学部担当窓口へ提出しなければならない。

※国士館大学学則第18条、国士館大学学籍管理規程第7条、国士館大学納入金規程第6条・第7条参照

3 退学

病気その他理由により大学を辞めることを「退学」という。健康上の理由や経済的理由、進路変更などにより退学する場合には「退学願」を教務課学部担当窓口へ提出し、学長の許可を得なければならない。なお、退学する場合でも、退学が許可された時期に応じて学費を納入しなければならない。学費が納入されていない場合は「除籍」となる。

退学願の提出	学費等の納入
春期開始後1ヶ月以内	全額免除 (新入生・再入学生・復籍者及び当該年度に 編転入学・転部等した者を除く)
春期開始後1ヶ月を過ぎてから 秋期開始後1ヶ月以内	後期学費等は免除 (前期学費は納入)
秋期開始後1ヶ月を過ぎた場合	全額納入

学生が本大学の規則に背き又は学生の本分に反する行為をした時は、懲戒処分として退学させられることがある。

※国土館大学学則第19条・第73条、国土館大学学籍管理規程第8条、国土館大学納入金規程第8条・第9条参照

4 除籍

下記に該当する場合は、「除籍」となり学籍を失うことになる。

- ①在学年限が8年を超えた者
- ②休学期間を超えた者
- ③正当な理由がなく、無届で3日以上連続して欠席した者
- ④正当な理由がなく、所定の期日までに学費等定められた納入金を納入しない者

※国土館大学学則第20条、国土館大学学籍管理規程第9条参照

5 復籍

除籍(上記4の③の場合のみ)された者が復籍を願い出る場合は、除籍日から2ヶ月以内に「復籍願」を教務課学籍担当窓口へ提出し、学長から許可された者は復籍が認められる。

なお、除籍日から2ヶ月を超えた学生の願い出については、再入学の取扱いとなり、学長の許可を得なければならない。

※国土館大学学則第20条、国土館大学学籍管理規程第8条・第9条、国土館大学納入金規程第11条参照

6 再入学

退学・除籍となった者が、再入学を希望する場合は、学年が始まる2ヶ月前までに「再入学願」を教務課学部担当窓口へ提出し、選考の上、学長の許可を得なければならない。(ただし、退学の理由や修学の意思等を審議するため、必ず認められるとは限らない。)

再入学が認められた場合は、指定された期日までに再入学する年度の入学金及び学費を納入するものとする。また、これまでに修得した単位は有効であり、退学・除籍時の学年に戻ることができる。(ただし、単位は一部認められない場合もある。)

※国土館大学学則第19条、国土館大学学籍管理規程第8条、国土館大学納入金規程第8条、第9条参照

2

学費の納入

1 納入期限

	1回目（年間分または前期分）	2回目（後期分）
新入生 （転部・再入学 含む）	入学手続き時に納入済	10月1日 （延納制度を利用した場合 1月15日）
在学生	5月1日 （延納制度を利用した場合 8月15日）	10月1日 （延納制度を利用した場合 1月15日）

※納入期限が金融機関休業日にあたる場合は、翌営業日までに手続きをすること。

2 納入方法

大学所定の「振込依頼書」を使用して金融機関窓口から電信扱いで納入する。

※現金書留等による送金や、大学窓口での現金納入はできない。

ATM・インターネットバンキングを利用する場合は、「振込依頼書」左側中央部の太枠内に記載されている（1）識別番号および（2）学生氏名を振込依頼人名に必ず入力すること。払出口座の名義のみで振り込まれた場合、学生個人を特定できず未納扱いの原因となるので注意すること。

※（1）識別番号は、振込依頼書に記載されている「7」で始まる10桁の数字を指す。入力の際は注意すること。

※領収書が発行されないため、ATMを利用された場合はATM利用控え、インターネットバンキングの場合は、振込手続き完了画面等を印刷し保管すること。

※在学中に納入方法が変更された場合は指示に従うこと。

3 延納制度について

学業を継続する意思があり、やむを得ない事情等で納入期限までに納入できない場合は、延納制度を利用すると納入期限を下記の通り延ばすことができる。（ただし、新入生（転部・再入学含む）の前期分学費は対象とならない。）

【延納制度を利用した納入期限】

前期分	後期分
8月15日	1月15日

○延納の手続方法

各期の納入期限までにKaede-iより延納の申請を行うこと。原則オンライン申請とするが、やむをえず郵送する場合は、大学ホームページより様式をダウンロードして、教務課学費窓口に送付すること。

※各期の納入期限を過ぎて手続きを行った場合、延納は認められない。

※前期に延納申請をしている場合でも、後期分の延納を希望する場合は、後期分の延納申請を改めて行うこと。

※延納が認められた場合、納入期限を延長した振込依頼書を、前期分は7月中旬頃、後期分は12月中旬頃に教務課から再送する。

4 納入金

納入金は大学ホームページに掲載されている。下記ページから確認すること。

アクセス方法：「学生生活」→「学費等の納入について」

URL：https://www.kokushikan.ac.jp/campus_life/payment/

3

願出・届出の手続きについて

1 学籍異動に関する願出

学生が身分の変更（学籍異動）を希望する場合、次に示すとおり願出しなければならない。

異動項目	願出書類	出願方法
休学 ↕ 復学	休学願	学部担当窓口で願出書を受領（またはホームページからダウンロード） ↓
	復学願	願出書に必要事項を記入・押印の上、学部担当窓口へ提出 ↓ ※理由が病気・けがの場合は診断書を添付
退学 ↕ 再入学	復学願	学年担当等と面談 ↓
	再入学願	教授会で審議 ↓ ※内容によっては承認されない場合もある
除籍 ↕ 復籍	復籍願	保証人へ通知（除籍のみ） 異動期間、納入等に関する詳細は、「学則」「国士館大学学籍管理規程」及び「国士館大学学籍管理規程施行細則」を参照のこと

（注意）復学者で、入学時と復学時の教育課程に相違のある場合、既履修科目の単位の認定及び復学後履修する科目の指定は、教務主任がこれを行う。再入学者、編入学者についても復学者に準じる。

2 身上項目変更の届出

異動項目	届出書類	届出方法
保証人・学費納入者・学生住所の変更 納入者氏名の変更		各自で、Kaede-i 上のプロフィールを更新
本籍地の変更 学生・保証人氏名 変更	本籍地変更届 学生・保証人氏名 変更届	学部担当窓口で届出書を受領 （またはホームページからダウンロード） ↓
		届出書に必要事項を記入・押印の上、学部担当窓口へ提出 ↓ 教務課で学生証の訂正 （学生氏名変更の場合のみ） ↓ 手続き完了

IV

学則及び諸規程

国士舘大学学則・諸規程

国士舘大学学則

「国士舘大学学則」は、大学ホームページから閲覧可能です。

https://www.kokushikan.ac.jp/disclosure/educational_info/degree/



諸規程

以下の諸規程は、講義支援システム「manaba」から閲覧可能です。

- ・ 国士舘大学履修規程
- ・ 国士舘大学教職課程履修規程
- ・ 国士舘大学学籍管理規程
- ・ 国士舘大学学籍管理規程施行細則
- ・ 国士舘大学科目等履修生規程
- ・ 国士舘大学聴講生規程
- ・ 国士舘大学研究生規程
- ・ 国士舘大学納入金規程
- ・ 国士舘におけるキャンパス・ハラスメント防止等に関する規程
- ・ 諸資格取得のための受講料等に関する内規
- ・ 公欠に関する取扱要領
- ・ 自然災害等に対する全学的休講措置の申し合わせ

<https://kokushikan.manaba.jp/ct/login>

コース名「〇〇年度 全学生向け連絡・お知らせ」

※〇〇は毎年年度が更新されます。

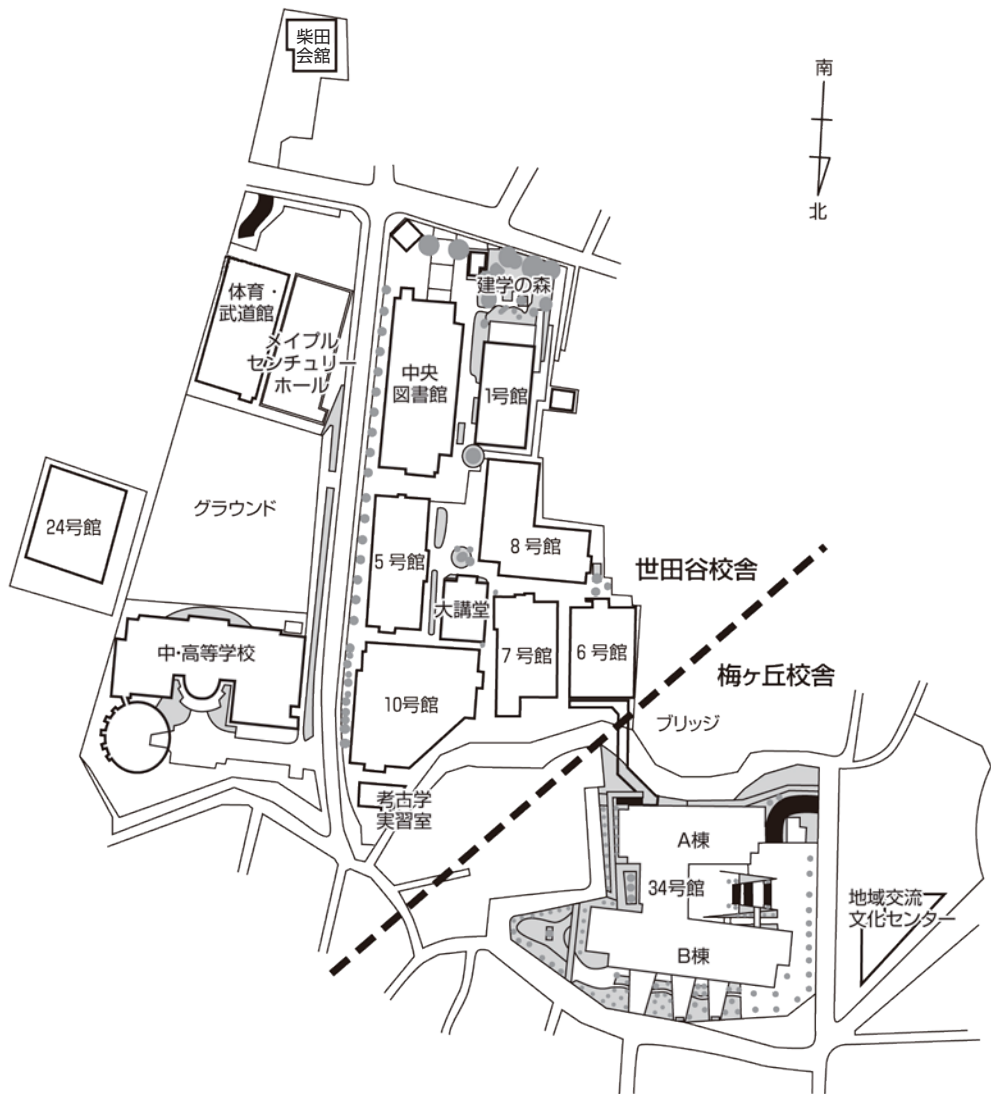




キャンパス案内

建物配置図

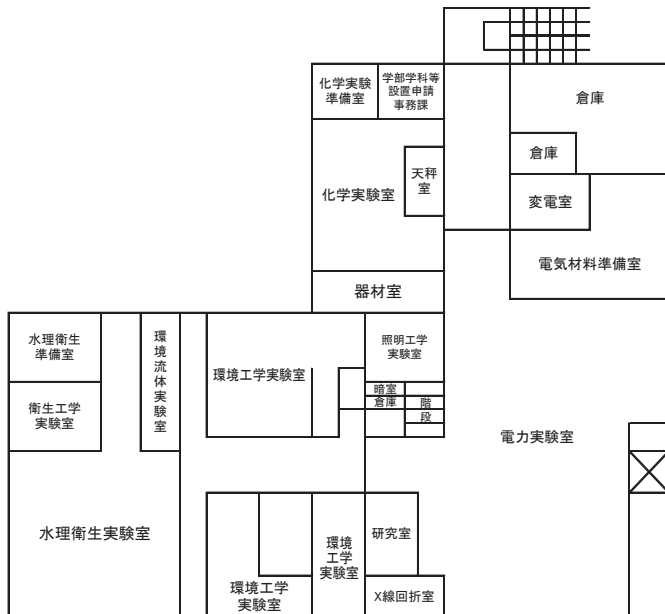
世田谷キャンパス（本部）



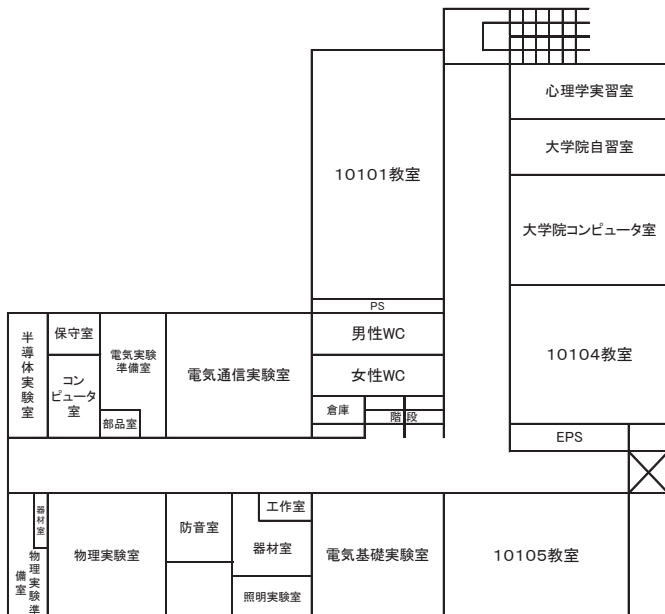
- 正門受付：受付・警備室
- 大講堂
- 1号館：理事長室、理事室、総務課、人事課、経理課、管財課、企画課、監査室、学生ラウンジ、学生食堂、国土館キャンパス環境整備計画推進室
- 5号館：学長室、副学長室、学部長室、学長課、FD推進課、IR課、教務課（学部担当・証明書・教職・教室貸出）、授業支援課、学術研究支援課、統合学部事務課、研究室、教室
- 6号館：書店、文具店、研究室、教室
- 7号館：国際交流センター、国際交流ルーム、研究室、教室、実験・実習室
- 8号館：広報課、大学院課、入学課、学生募集課、キャリア形成支援センター、学生食堂、研究室、教室
- 10号館：学部学科等設置申請事務課、多目的フロア、教員コミュニティルーム、研究室、教室、実験・実習室
- 中央図書館：図書館・情報メディアセンター、多目的ホール
- メイプルセンチュリーホール：フィットネスセンター、温水プール、柔道場、剣道場、ランニングロード、アリーナ、多目的フロア、実験・実習室、学生ラウンジ、教室
- 体育・武道館：柔道場、剣道場、アリーナ
- 中学・高校校舎
- 24号館：高校昼間定時制、クラブ部室、松陰寮
- 柴田会館：同窓会事務局、国土館史資料室、空手道場
- 34号館：学生・厚生課、学生相談室、健康管理室、募金事務室、国土館スポーツプロモーションセンター、教員コミュニティルーム、スカイラウンジ、研究室、教室、実習室、アトリウム、学生食堂、展示コーナー
- 地域交流センター：地域連携・社会貢献推進センター、イラク古代文化研究所展示室

世田谷 10 号館各室配置図

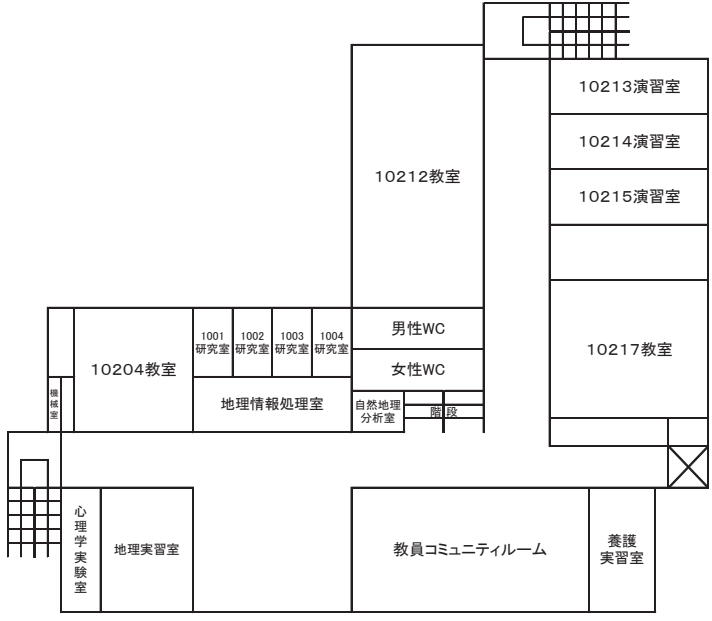
B1F



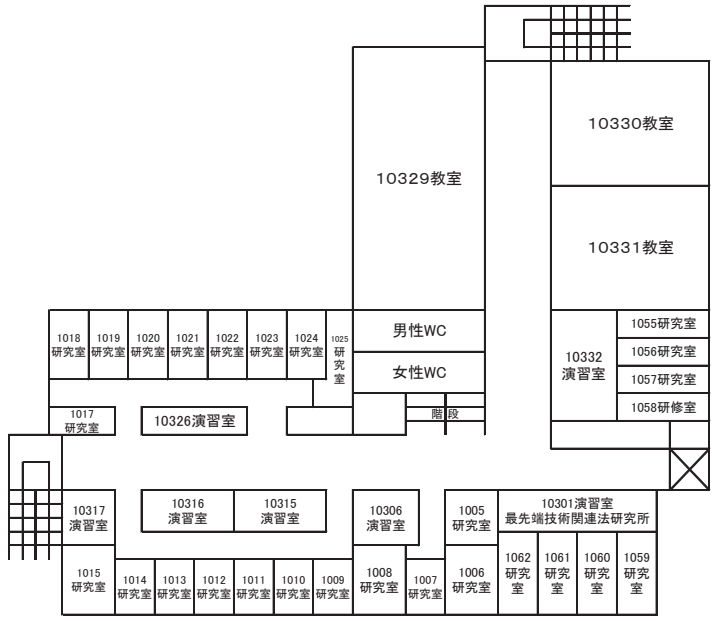
1F



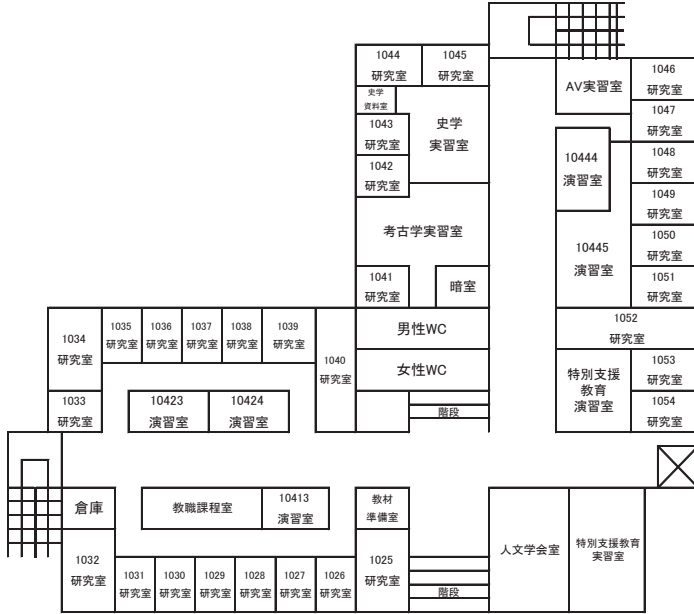
2F



3F



4F

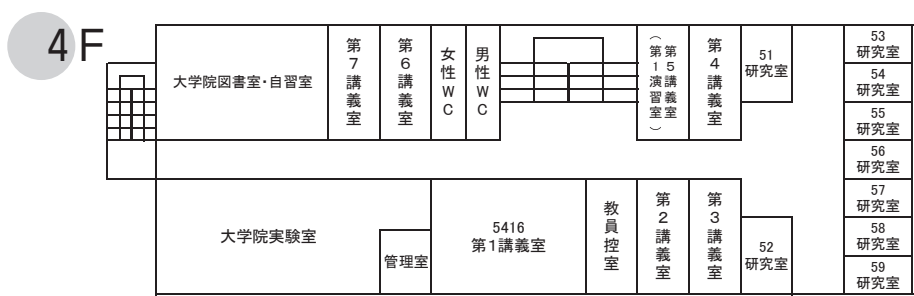
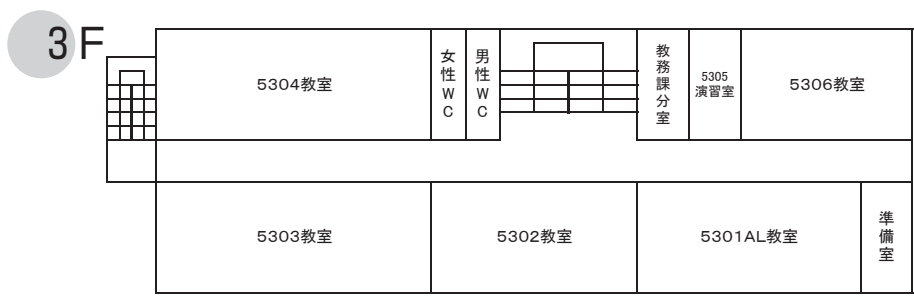
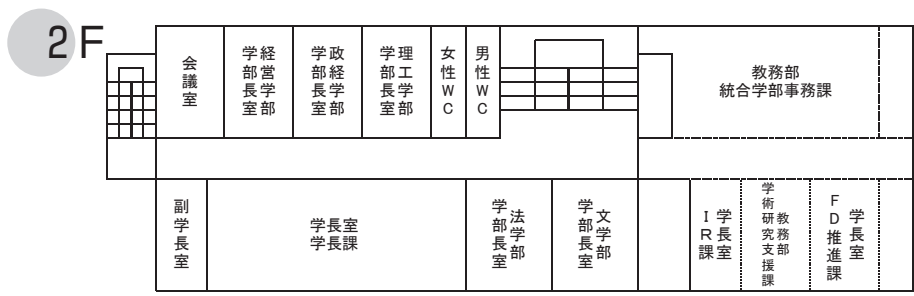
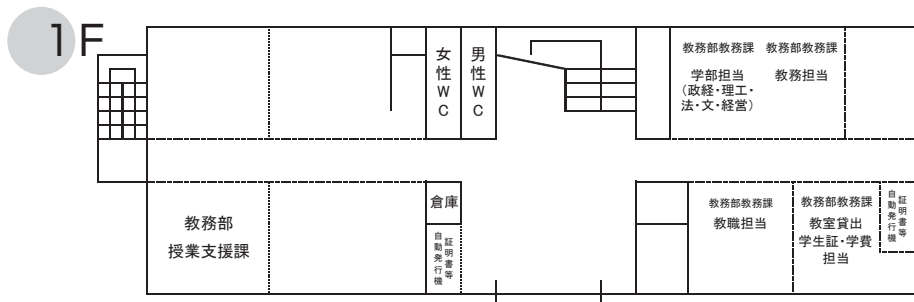


5F



世田谷5号館各室配置図

キャンパス案内

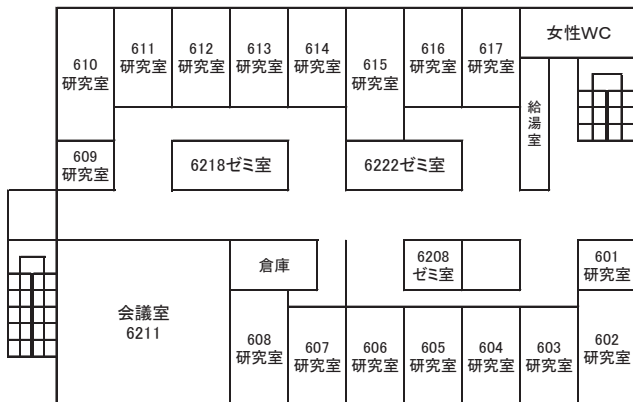


世田谷 6 号館各室配置図

1F



2F



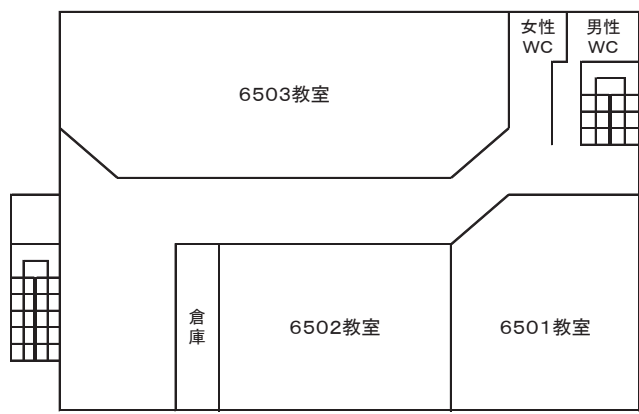
3F



4F

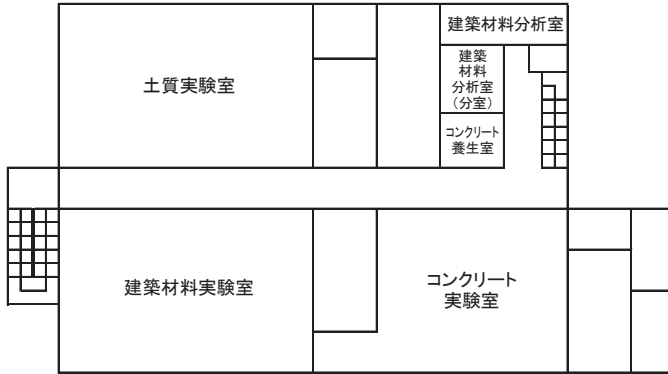


5F

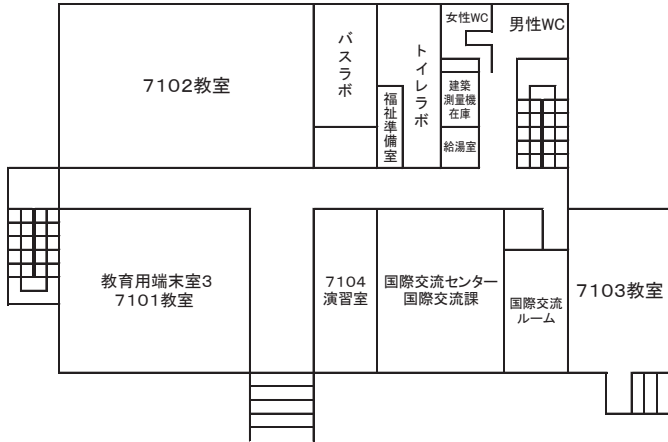


世田谷7号館各室配置図

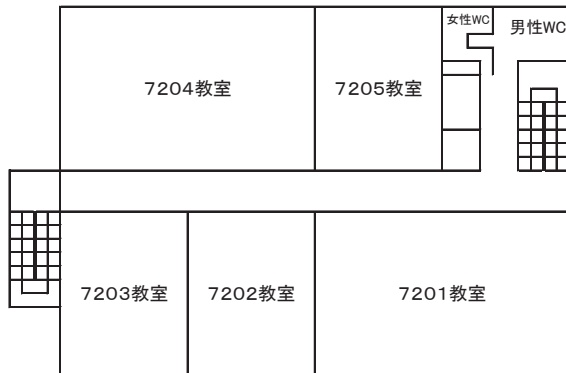
B1F



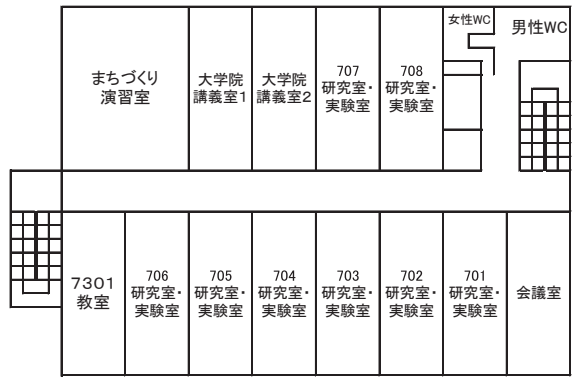
1F



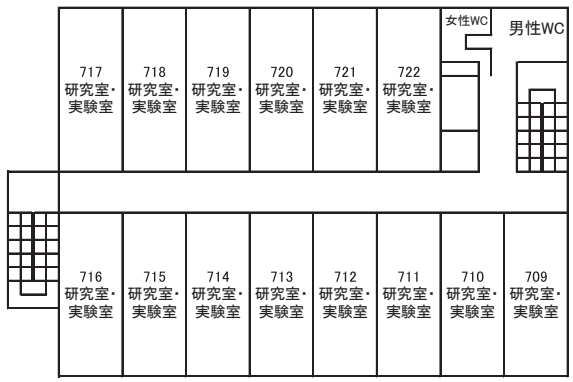
2F



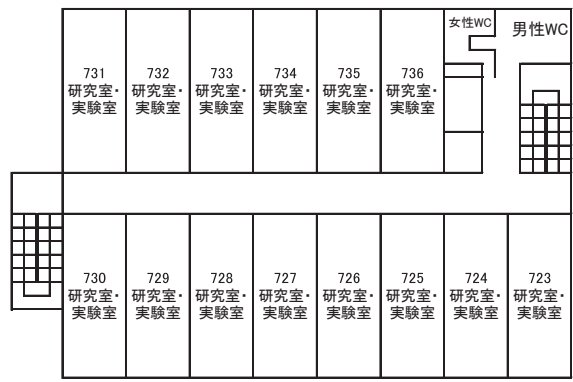
3F



4F

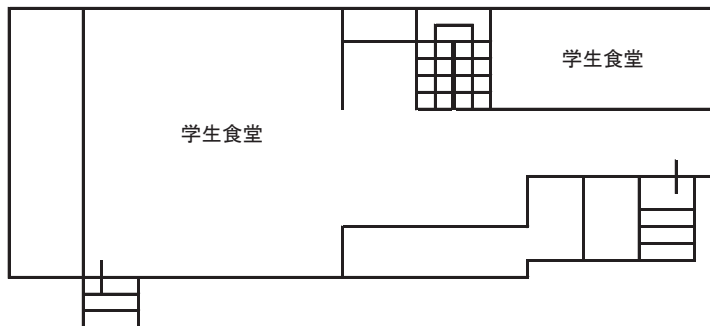


5F

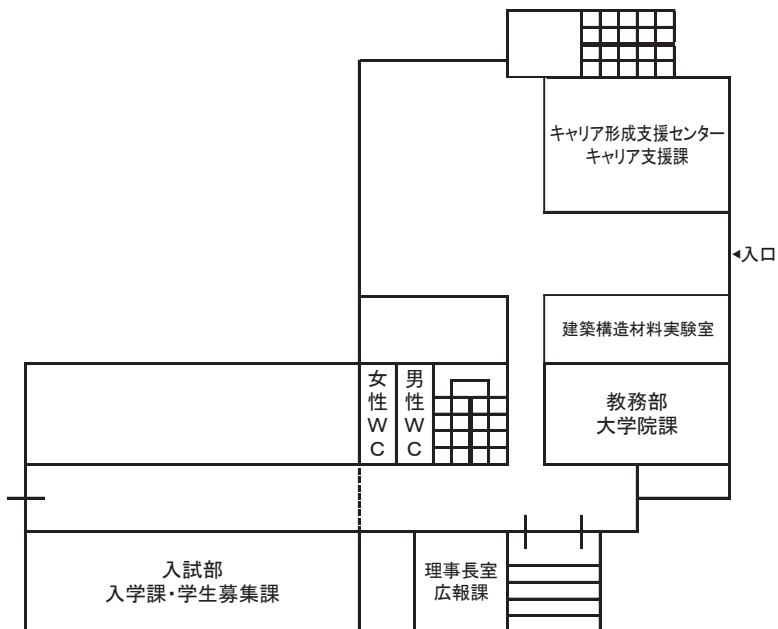


世田谷 8 号館各室配置図

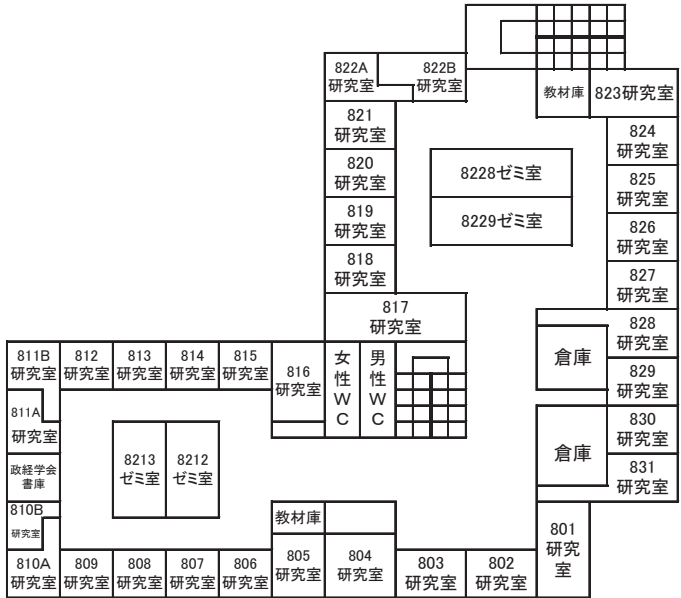
B1F



1F

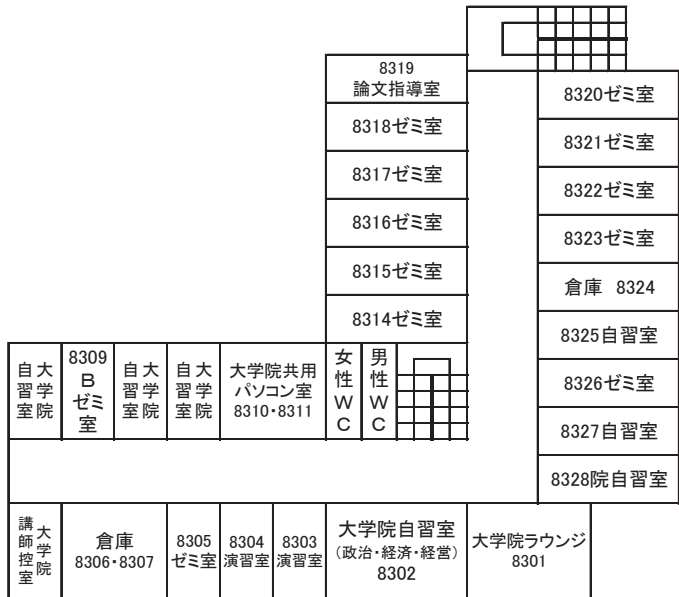


2F

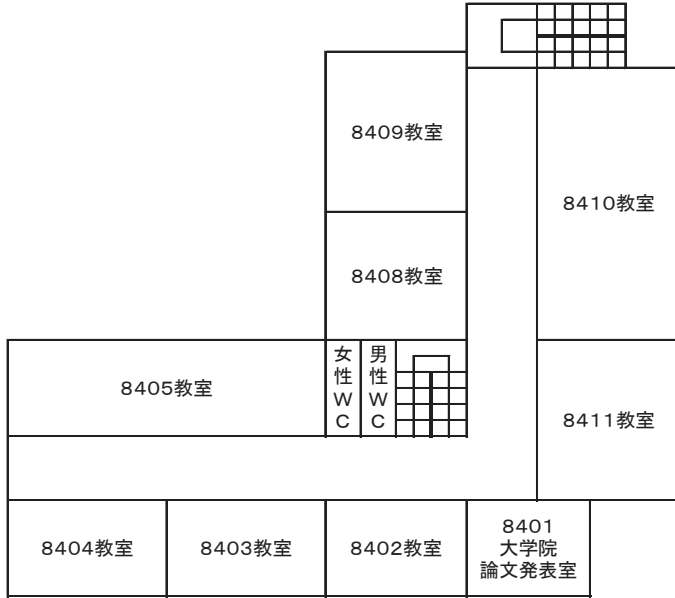


キャンパス案内

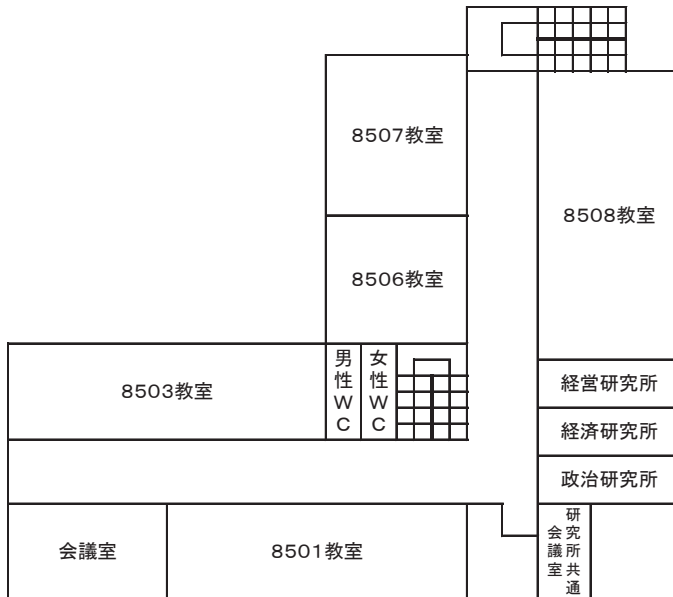
3F



4F

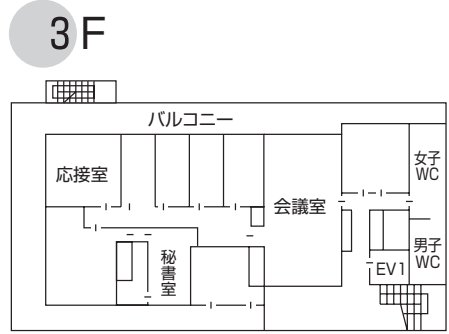
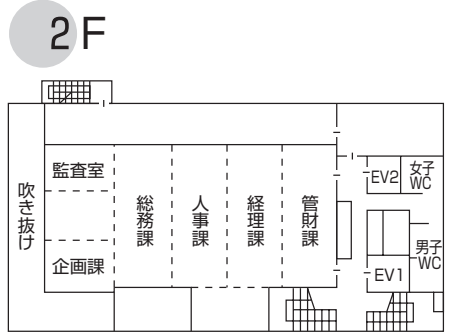
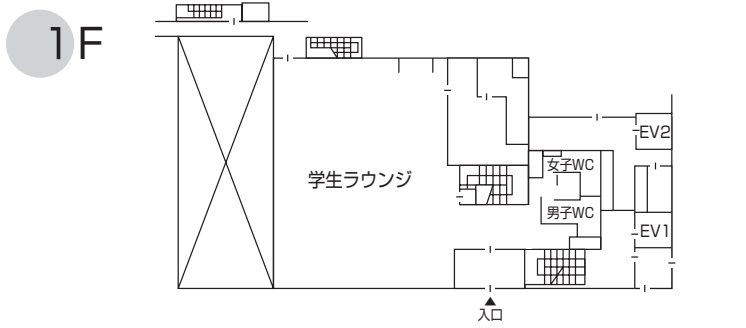
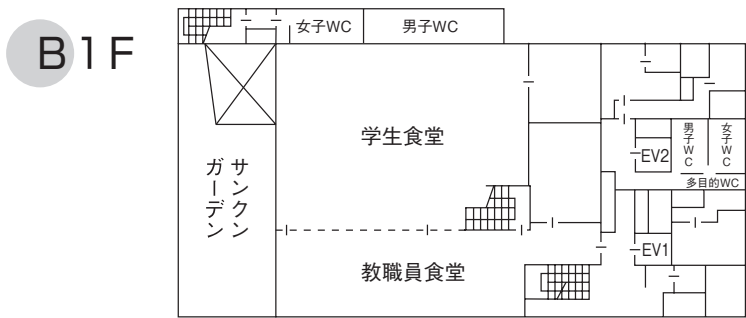
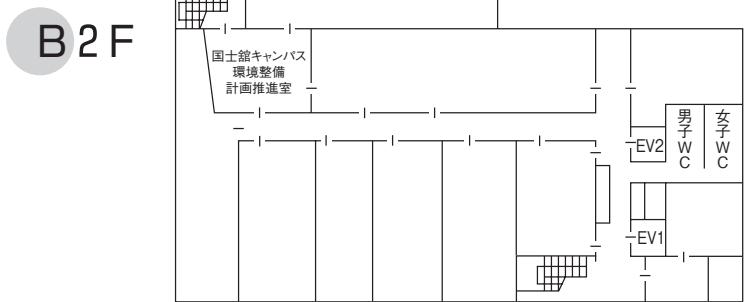


5F



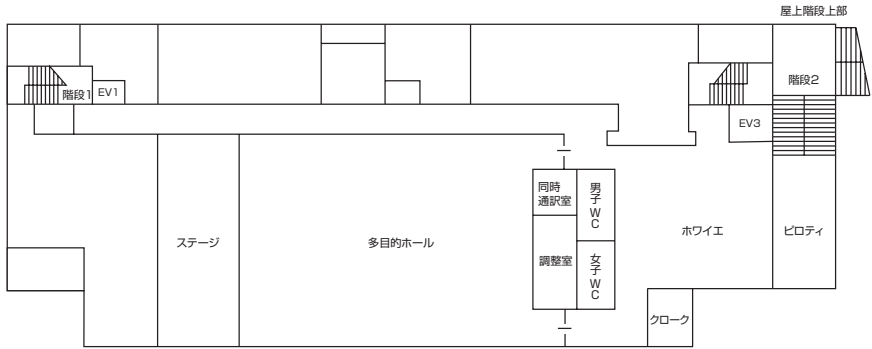
世田谷1号館各室配置図

キャンパス案内

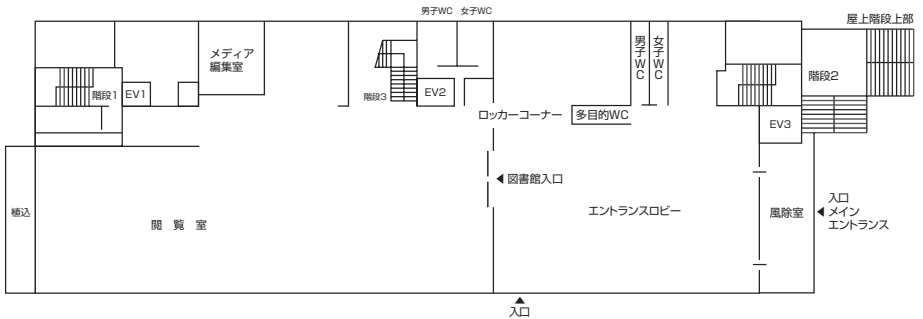


中央図書館配置図

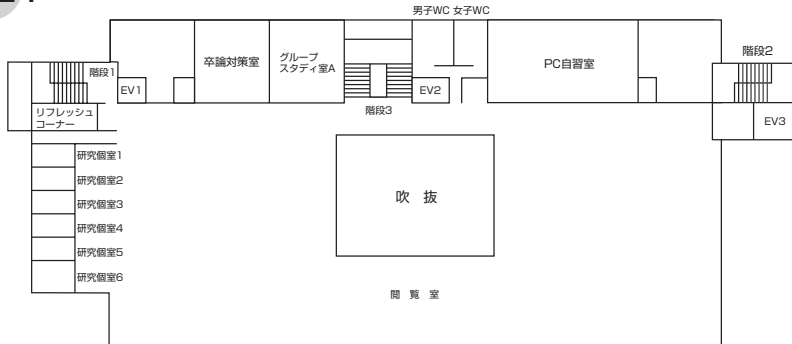
B1F



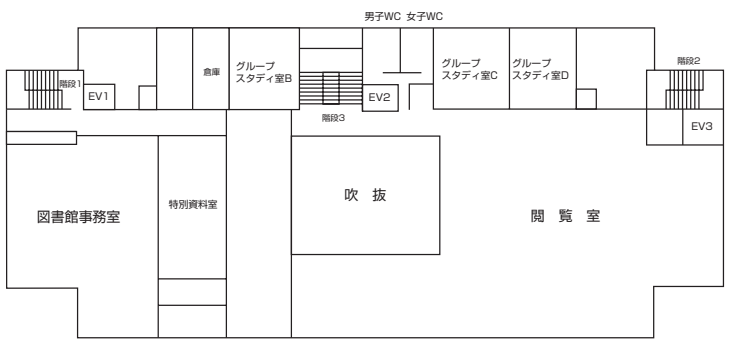
1F



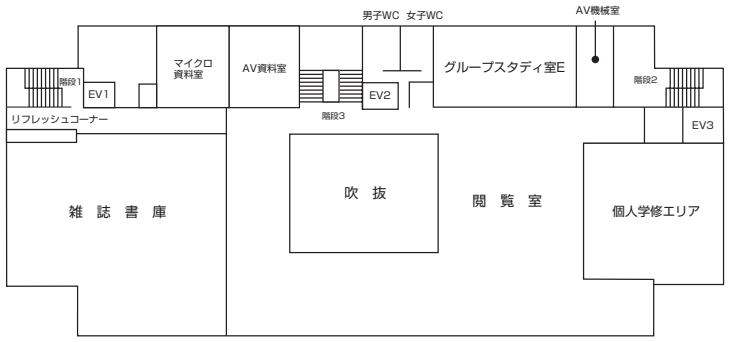
2F



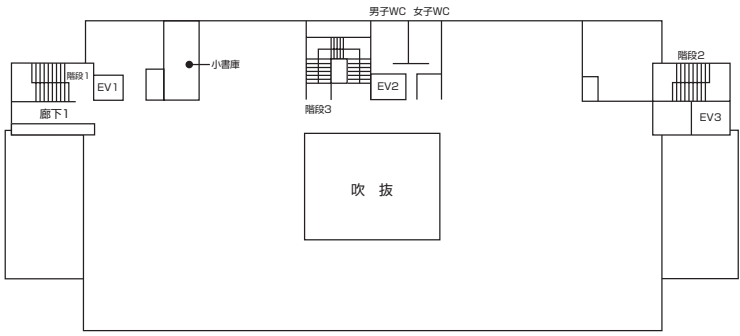
3F



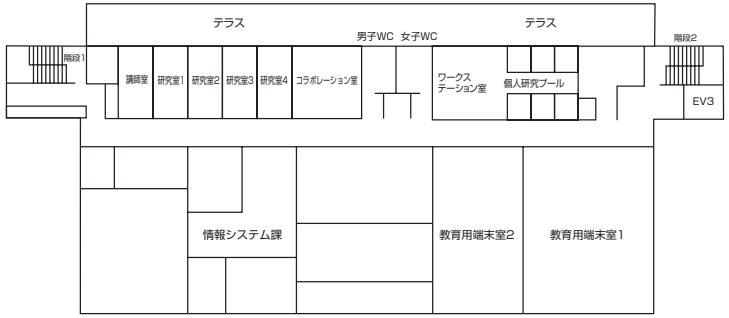
4F



5F

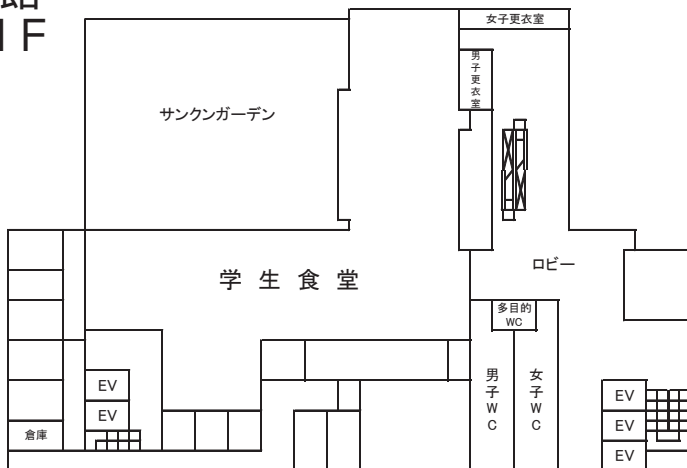


6F

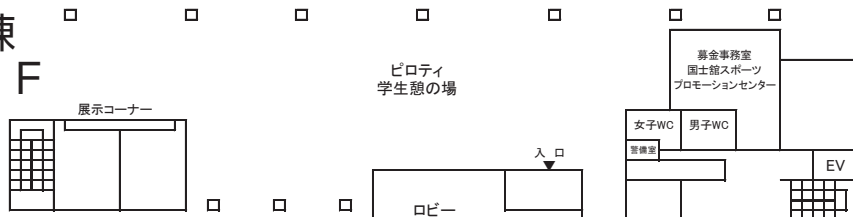


34号館A棟・B棟梅ヶ丘校舎配置図

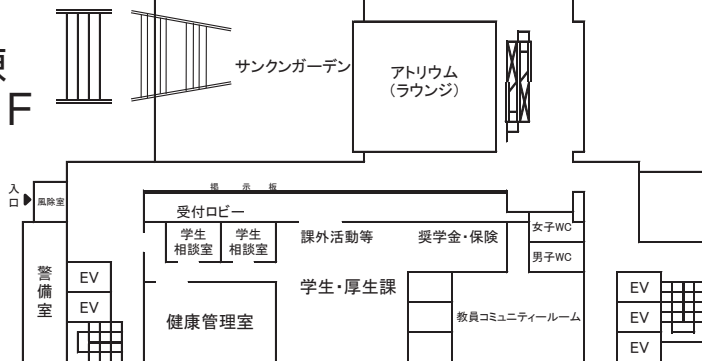
34号館 B1F



B棟 1F



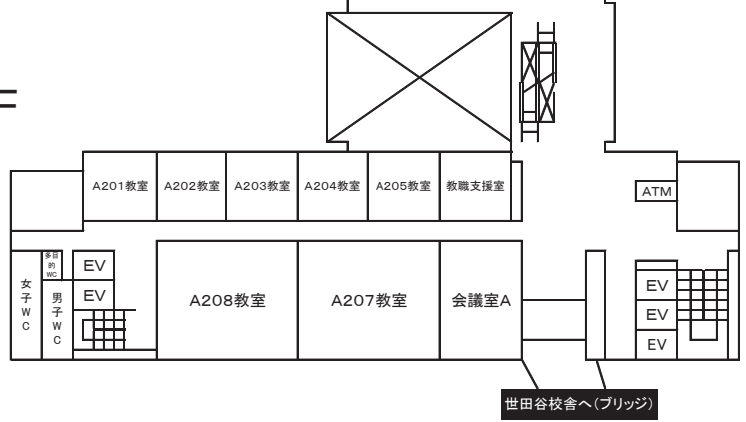
A棟 1F



B棟 2F



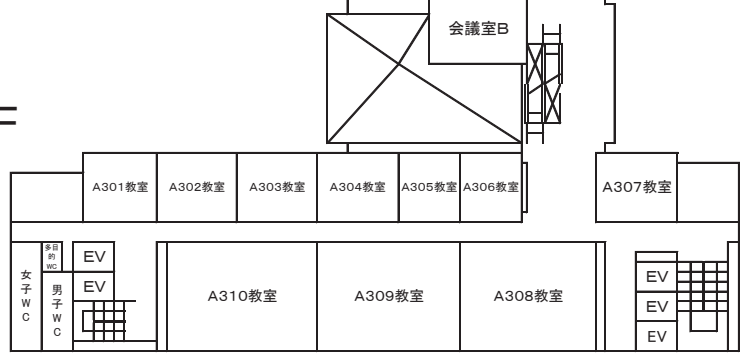
A棟 2F



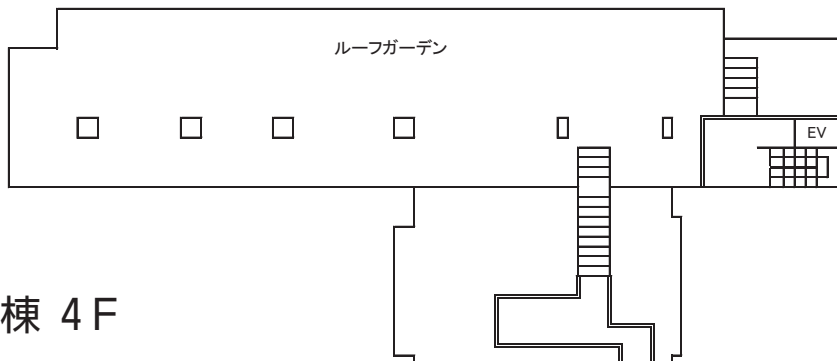
B棟 3F



A棟 3F



B 棟屋上ルーフガーデン



A 棟 4 F



A 棟 5 F



A 棟 6 F



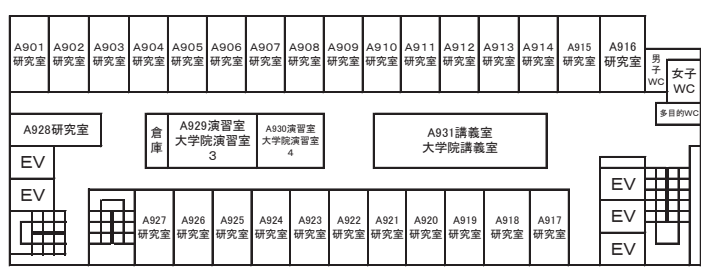
A棟 7F



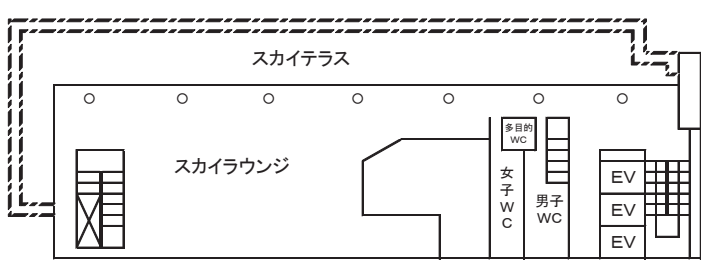
A棟 8F



A棟 9F

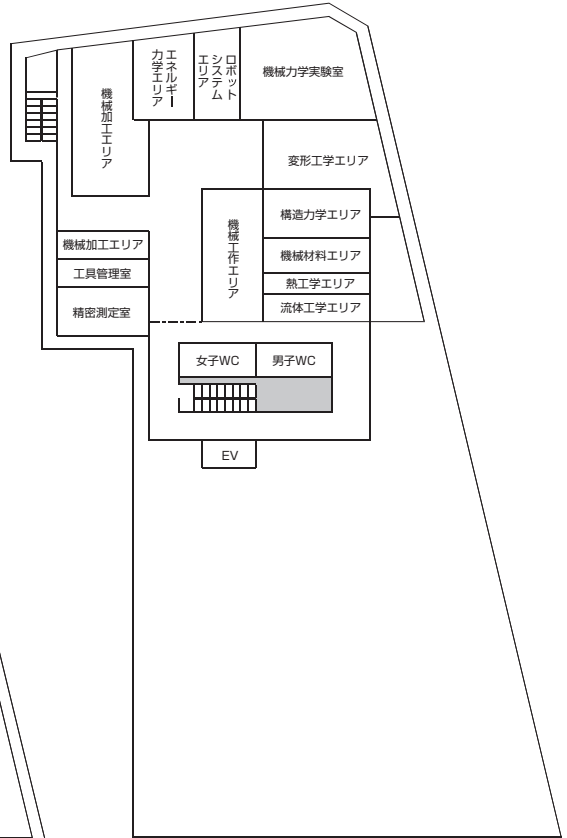


A棟 10F

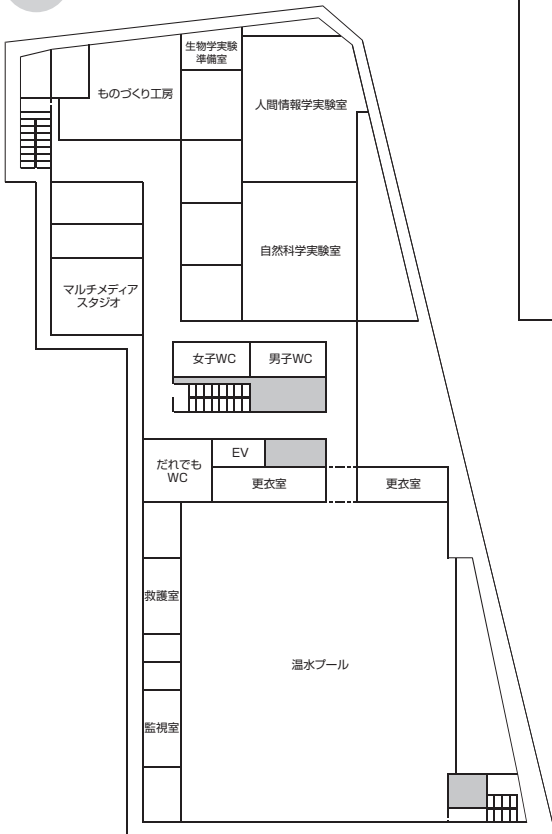


メイプルセンチュリーホール

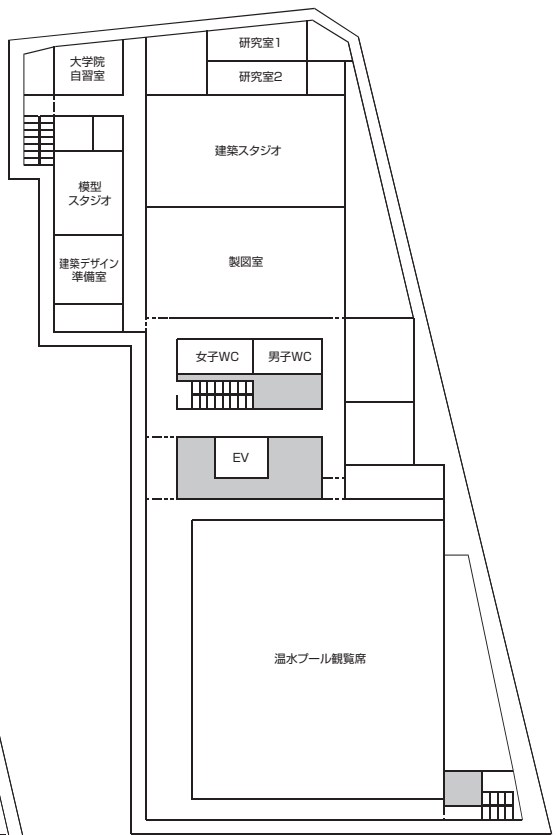
B3F



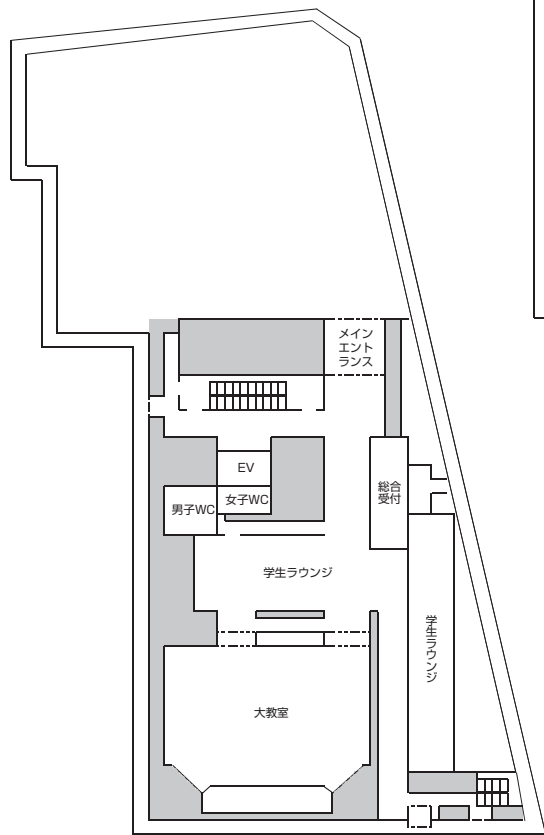
B2F



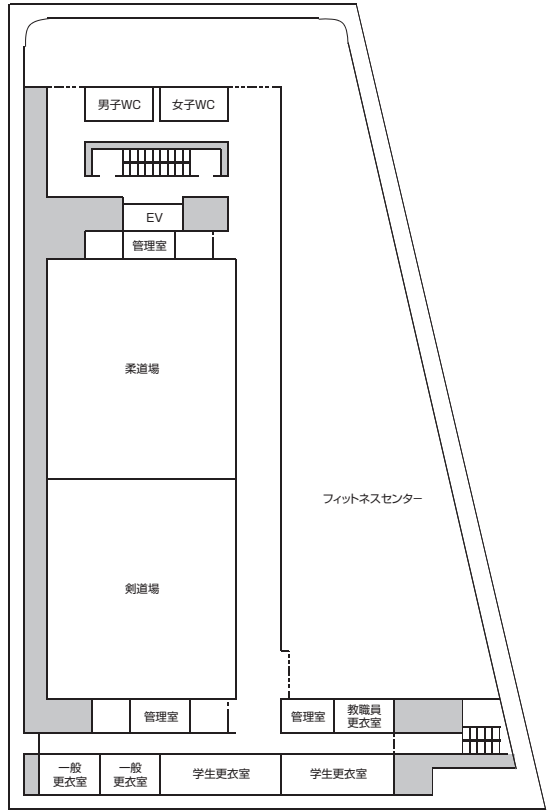
B1F



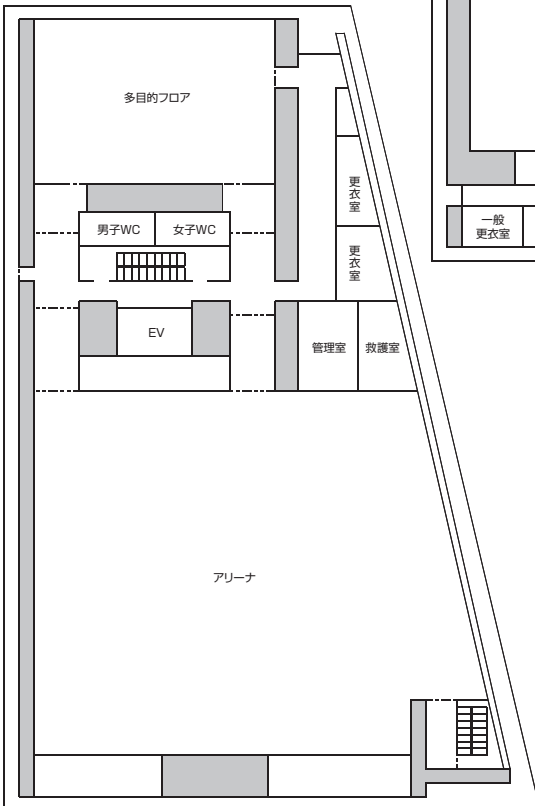
1F



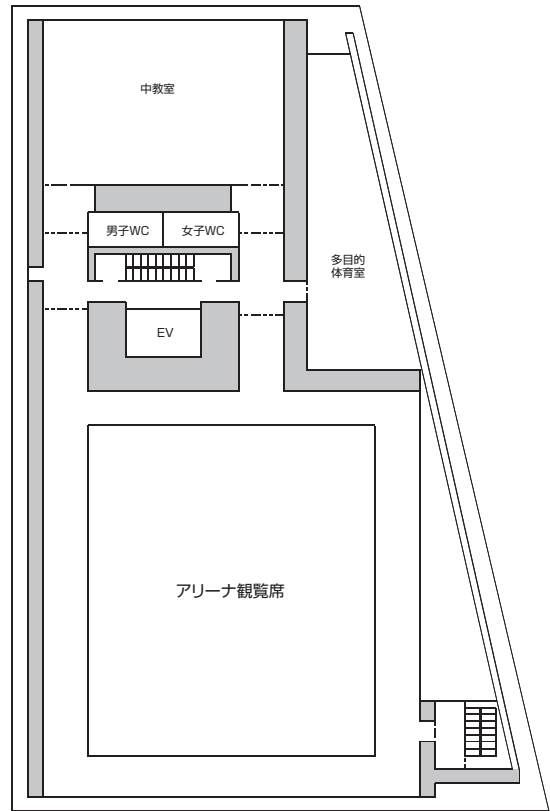
2F



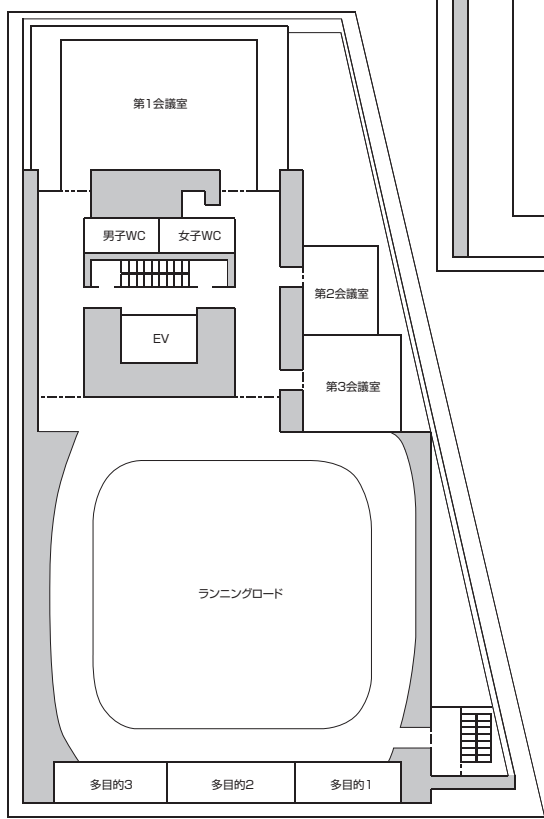
3F



4F



5F



VI

付録

1. オフィスアワーについて
2. 大学からのお知らせについて
3. 諸届及び各種証明書手続料等について
 - (1) 諸届等
 - (2) 教職及び諸資格関連の受講料の納入について
 - (3) 各種証明書及び手数料
4. 学生保険
5. 学会費について
6. 専任教員研究室一覧

1

オフィスアワーについて

■オフィスアワーについて

本学にはオフィスアワー制度が設けられている。

オフィスアワーとは、教員が学生の皆さんの授業履修や学生生活についての質問や相談等を受け付ける授業以外の時間のことをいう。

相談する際は、事前に連絡（アポイント）を取ることが望ましい。専任教員の相談時間等詳細については、別途掲示等で周知するので確認すること。なお、非常勤教員のオフィスアワーについては、授業前後の時間を利用すること。

2

大学からのお知らせについて

- ①大学から学生への連絡は、大学 HP、学生ポータルサイト（Kaede-i）および掲示により行われる。
- ②学生は常に大学からのお知らせに留意して、必要な情報を得るとともに、指示には迅速かつ的確に対応しなければならない。
- ③なお、授業についての連絡は、講義支援システム manaba の各授業で確認すること。

※文学部の掲示板は、10号館 2F 廊下（教員コミュニティールーム前）にある。

諸届および各種証明書手続料等について

1 諸届等

学生の学籍管理に基づく身上項目（氏名、国籍、本籍、保証人の氏名、続柄、住所）、また、異動項目（休学、復学、退学、再入学、復籍）に変更が生じた場合、その他必要とする願出、届出をする場合、所定の様式にて願又は届を速やかに提出しなければならない。

項目	提出要項	備考
保証人等変更届	事由発生後すみやかに	用紙は HP からダウンロードし、教務課学部担当窓口へ提出 Kaede-i にログインしプロフィール画面で修正
学生氏名変更届		
本籍地変更届		Kaede-i にログインしプロフィール画面で修正
現住所変更		

以上の諸届、諸願の様式については「IV学則・諸規程」の「3. 国士舘大学学籍管理規程施行細則」を参照する。

項目	添付書類	提出要項	備考
欠席届	診断書又は事由	欠席前後1週間以内	7日以上欠席する場合、用紙は授業支援課にて受領、科目担当教員へ提出
試験欠席届		事由発生後すみやかに提出	追試験受験希望者、教務課学部担当窓口へ提出
進路届		内定のつど 決定のつど	キャリア形成支援センターへ提出
学費延納願		納付期限前	用紙は HP からダウンロードし、教務課学部担当窓口へ提出
公欠願	理由書	事前	用紙は授業支援課にて受領、学部行事は事後に教務課学部担当窓口へ

2 教職及び諸資格関連の受講料及び実習費の納入について

証明書等自動発行機（パピルスメイト）にて納入票が発行できます。※学生証必須
ログインパスワードは、生年月日の8桁

例 2002年4月2日生⇒20020402

⇒【申請書】タブを選択 ⇒画面左下【番号で選ぶ】 ※下表参照

⇒部数を選択し購入（レシートと納入票（A4サイズ）が発行されます）

⇒発行された納入票を、期日までに提出先窓口にて持参してください。

区分	申請書・納入票 名称	番号	金額	備 考	納入票提出先
教職関係	教職課程受講料納入票（1種類）	641	10,000円	※履修初年度に納入 ※1校種・1教科につき、10,000円 例）中学・国語、高校・国語は 2種類	5号館1階 教務課 教職・諸資格 担当へ
	教職課程受講料納入票（2種類）	642	20,000円		
	教職課程受講料納入票（3種類）	643	30,000円		
	教職課程受講料納入票（4種類）	644	40,000円	※特支免許希望者（教育）は、 Kaede-iでの登録や、受講料の 納入は、2年生から	
	教育実習費納入票（文学部－幼小）	659	17,000円		
	教育実習費納入票（文学部－養護）	660	20,000円		
	教育実習費納入票（文学部－中高）	661	12,000円		
	教育実習費納入票（文学部－特支）	667	12,000円		
	介護等体験費納入票	647	13,500円	申込時	
	教員免許状申請料納入票（1種類）	648	3,500円		
	教員免許状申請料納入票（2種類）	649	7,000円		
	教員免許状申請料納入票（3種類）	650	10,500円		
	教員免許状申請料納入票（4種類）	651	14,000円		
	保健体育実技実習費納入票	739	25,000円	文・教育 保体免1～4年生毎年	
看護実習費納入票（文学部）	749	20,000円	文・教育 養護教諭 「看護実習2」履修者対象	5号館1階 教務課 学生担当へ	
副 免 等	学内聴講料納入票（1単位科目）	687	5,000円		
	学内聴講料納入票（2単位科目）	688	10,000円	※史学地理学科の「公民科指導法」 はこちら（3年生以降対象）	
諸 資 格	学校図書館司書教諭課程受講料納入票 ※「学校司書」と間違えないよう注意	645	10,000円	※2年生から登録可 （教職履修者）	5号館1階 教務課 教職・諸資格 担当へ
	学校図書館司書教諭修了証書申請料納入票	652	1,500円		
	学校司書資格受講料納入票 ※「学校図書館司書教諭」とは別	711	10,000円	※学校司書単独での登録不可 図書館司書とのセット受講	
	図書館司書資格受講料納入票	681	15,000円	単独登録可	
	社会教育主事資格受講料納入票	683	15,000円		
	博物館学芸員資格受講料納入票	684	15,000円		
	学芸員課程博物館実習費納入票（文学部）	734	15,000円	博物館実習2受講者	
測量学実習費納入票	733	10,000円	測量実習3受講年度の4月20日まで		
科 目 実 習 費	スキー実習費納入票（文学部）	740	履修時による	指示による	5号館1階 教務課 学生担当へ
	考古学実習費納入票	736	50,000円	実習年度の4月20日まで	
	地理学野外実習A（文学部）	757	10,000円	対象学年外の実習に参加する場合のみ	
	地理学野外実習B（文学部）	758	10,000円	対象学年外の実習に参加する場合のみ	
	地理学野外実習C（文学部）	759	20,000円	対象学年外の実習に参加する場合のみ	
	文学部卒業論文審査料納入票	841	2,500円	卒業論文提出時	

※金額、納入締切日等は、年度により変更の場合がある。

3 各種証明書等手数料

証明書等	番号	金額	備考
学生証再発行願	922	2,000円	納入票を教務課学籍担当へ
学割証 ★学部★	7	無料	
在籍証明書 ★学部★	4	200円	
英文在籍証明書 ★学部★	14	300円	
卒業見込証明書 ★学部★	1	200円	
英文卒業見込証明書 ★学部★	11	300円	
成績・卒業見込証明書★学部★	3	200円	
成績卒業見込健康診断証明書 ★学部★	6	300円	
単位修得見込証明書発行願	601	200円	
教員免許状取得見込証明書	8	200円	
教員免許状取得見込証明書発行願	602	200円	
人物調査書発行願	605	200円	
推薦書発行願	604	200円	
健康診断証明書 ★学部★	5	200円	
その他の証明書発行願	607	200円	

※金額等は、年度により変更の場合がある。

■証明書等自動発行機（パピルスメイト）

利用時間は大学 HP にて確認のこと。

4

学生保険

本学学生は全員が「学生教育研究災害傷害保険」及び「学生教育研究賠償責任保険」に加入している。「学生教育研究災害傷害保険」は学生が教育研究活動中（下表）に生じた事故により身体に傷害を被った場合、その都度により医療保険金（治療費、入院加算金）、後遺傷害保険金または死亡保険金の支払われ、「学生教育研究賠償責任保険」においては、学生が誤って相手側に与えた傷害や器物の損壊に対して損害賠償を保証される。

事故が発生した場合は、ただちに学生・厚生課に連絡すること。

正課中	授業、実験、実習、演習等
公式行事中	入学式、オリエンテーション、学園祭、学部行事等
大学施設利用中	上記以外で学内施設にいる間 寮内、大学が禁じた時間・場所または大学が禁じた行為を行っている間は除く
課外活動中（公認団体）	キャンパス内外での活動中
通学中	正課、公式行事の大学への往復

詳細は学生・厚生課に問合わせること。

5

学会費について

学会費は指定された口座に納入する。

種類	コース	担当者名	納入時期	金額（円）	口座名
国士舘大学 教育学会	教育学	太田 麻衣子	1年次7月	10,000 (4年分一括)	ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900 当座 店名 019 0161761 (店番 019)
国士舘大学 初等教育学会	初等教育	清水 優菜	1年次4月	10,000 (4年分一括)	ゆうちょ銀行 普 0980421 (店番 008)
国士舘大学 史学会	考古・日本史学	秋山 哲雄	1年次4月	6,000 (4年分一括)	ガイダンスにて徴収
国士舘大学 地理学会	地理・環境	加藤 幸治	1年次4月	12,000 (4年分一括)	郵便振替 00150-7-161762
国士舘大学 国文学会	日本文学・文化	松野 彩	1年次4月	16,000 (4年分一括)	郵便振替 00150-8-162136

※上記学会に関する質問等は各学会担当者まで問い合わせてください。

6

専任教員研究室一覽

教育学科

氏名	研究室	場所
青木 聡子	幼児教育準備室・研究室	34号館 A7F
江川 陽介	A816	34号館 A8F
大久保 圭介	1052	10号館 4F
太田 麻衣子	A909	34号館 A9F
小野瀬 倫也	理科準備室・研究室	34号館 A7F
金子 真人	1032	10号館 4F
河野 寛	A823	34号館 A8F
栗栖 淳	1030	10号館 4F
郡司 菜津美	1029	10号館 4F
後藤 貴浩	A920	34号館 A9F
桜井 美加	1033	10号館 4F
佐々木 浩	A925	34号館 A9F
清水 優菜	A808	34号館 A8F
助川 晃洋	1027	10号館 4F
鈴木 江理子	A921	34号館 A9F
鈴木 裕子	A901	34号館 A9F
千葉 昇	A908	34号館 A9F
野津 悌	1039	10号館 4F
菱刈 晃夫	A809	34号館 A8F
細越 淳二	A902	34号館 A9F
堀井 雅道	1031	10号館 4F
本間 貴子	1054	10号館 4F
松浦 孝明	1053	10号館 4F
松田 俊哉	美術準備室・研究室	34号館 A7F
武藤 拓也	1028	10号館 4F
村上 純一	1046	10号館 4F
山室 和也	A822	34号館 A8F

※学科音順

史学地理学科

氏名	研究室	場所
秋山 哲雄	1042	10号館 4F
石野 裕子	A810	34号館 A8F
磯谷 達宏	A824	34号館 A8F
内田 順文	1025	10号館 4F
岡島 建	1002	10号館 2F
小川 快之	A807	34号館 A8F
加藤 幸治	A904	34号館 A9F
桐越 仁美	1001	10号館 2F
久保田 裕次	1044	10号館 4F
小山 拓志	1003	10号館 2F
齊藤 紅葉	1043	10号館 4F
佐々木 明彦	1004	10号館 2F
眞保 昌弘	1041	10号館 4F
津田 資久	1026	10号館 4F
夏目 琢史	A918	34号館 A9F
仁藤 智子	1045	10号館 4F

文学科

氏名	研究室	場所
倉持 長子	1050	10号館 4F
田代 真	A814	34号館 A8F
中村 一夫	A913	34号館 A9F
平 浩一	1036	10号館 4F
藤田 梨那	1047	10号館 4F
藤森 馨	A922	34号館 A9F
松崎 史周	1035	10号館 4F
松野 彩	1037	10号館 4F
松野 敏之	1038	10号館 4F
溝上 智恵子	A801	34号館 8F
村田 裕司	A928	34号館 A9F
吉原 裕一	1048	10号館 4F

国士館 館歌

柴田徳次郎 作詞 / 東儀 鉄笛 作曲 / 石川 太郎 編曲

一 霧わけ昇る陽を仰ぎ

梢こずえに高き月を浴び

皇国に殉す大丈夫の

ここ武威野の国士館

二 松陰の祠に節を磨し

豪徳の鐘かね氣を澄すます

朝あさな夕ゆふなにつく呼吸いきは

富ふ獄かく風かぜの天てんの風かぜ

三 区々うつつしみ現身あらまきの粗薪あらまきに

大覚だいかくの火ひを打ち点とし

三世さんぜ十方じつぽう焼き盡つくくす

至心ししんの焰ほのおあふらばや

至心ししんの焰ほのおあふらばや

♩ = 104 *mf*

き り わ け の ほ る ひ を あ お ぎ
 し ゅ う い の の し に せ つ つ を ま き し
 く く う つ し み の あ ち ま き に

こ ず え に た か き つ き を あ ま び
 こ だ ず と く の の か ね を ち と も し
 だ か く の の ひ を ひ を ち と も し

み く に ゆ る す 一 ま す ら お の
 あ さ さん な げ 一 ゆ じ っ ぽ 一 う や き い つ お き は
 さ の 一 じ っ ぽ 一 う や き い つ お き は

13 (3rd time only)

こ が む さ し の の 一 こ く し か ん
 ふ し が くん の の ほ ろ の の 一 て あ くん の か か げ
 し が し ん の の ほ ろ の の 一 て あ くん の か か げ

